

『大日本古文書』等所収近世前期城郭普請関係文書一覧(稿)

及川 亘 編

・本文書一覧は『大日本古文書』家わけ既刊分、ならびに『大日本近世史料』『細川家史料』1～27より、近世前期(天正期～貞享期)の城郭普請関係文書を抽出したものである。
・豊臣政権・江戸幕府による公儀普請を中心として、戦争における陣城、大名家の江戸・京都屋敷、大名領での城郭・屋敷・河川等の普請についても対象とした。
・シリーズごとに刊本の文書番号・冊・頁、年月日・文書名・差出・充所を示した。
・年次比定による年記は()内に示した。年次比定は刊本を踏襲したほか、刊本の誤りや新たに判明したものについては適宜修正・追加を行った。
・文書名は刊本を踏襲した。
・差出・宛所は原則として史料上の表記により、適宜人名注を付けた。
・備考①に、当該文書の本文より城郭普請に関連する箇所を抄出した。
・備考②に、関連する城郭普請や事件について注記した。
・本稿は、JSPS科学研究費・基盤研究(B)「近世統一政権の成立と天下普請の展開—中近世移行期史料の研究資源化を通じて—」(2017～2021年度、課題番号17H02382、研究代表者・及川亘)、および同基盤研究(C)「徳川政権による公儀の確立と城郭建設—無年号文書から公儀普請を読み解く—」(2022～2024年度、課題番号22K00872、研究代表者・及川亘)の研究成果の一部である。
※入力には、立石了・山本一夫・宮脇啓各氏の協力を得た。厚く謝意を表する。

『大日本古文書』家わけ第二 浅野家文書										
No	書名	番号	冊	頁	年月日	文書名	差出	充所	備考①	備考②
1	大日本古文書 家わけ第二 浅野家文書	2	1	1	十一月四日	豊臣秀吉河堰堤申付状	藤吉郎秀吉	浅野弥兵衛(長政)殿	「来八日河せき堤申付候、吉川人夫百人くわをもたせ…」	
2	大日本古文書 家わけ第二 浅野家文書	3	1	2	三月十一日	関地蔵普請人夫役付写	秀吉			
3	大日本古文書 家わけ第二 浅野家文書	25	1	48	(天正十八年)五月廿日	豊臣秀吉朱印状	浅野弾正少弼・木村常陸介		「…御座所之御普請を、彼夜番日番を仕候人数ニ被仰付…」	小田原征伐における秀吉の御座所の普請
4	大日本古文書 家わけ第二 浅野家文書	38	1	61	(天正十八年)七月五日	平塚紀八書状	平塚紀八	弾正少弼様参人々御中	「…此方昼夜之御普請付而…」	小田原征伐カ
5	大日本古文書 家わけ第二 浅野家文書	43	1	66	(天正十八年)七月四日	一柳可遊書状	一柳右近可遊	浅弾正様参人々御中	「…御普請彼是不得隙故…」	小田原征伐
6	大日本古文書 家わけ第二 浅野家文書	47	1	71	(天正十八年)七月六日	式部丞吉昌書状	式部丞吉昌	浅野三十郎	「…此中者長々御普請、昼夜御苦劳奉察存候…」	小田原征伐
7	大日本古文書 家わけ第二 浅野家文書	54	1	76	(天正十八年)	氏名未詳書状			「…則一昨日二日ニ会津迄之通(道)御つくらせ可有之由候て…」 「…小田原御取纏之儀、弥丈夫被仰付…此御普請出来次第ニ、会津へ可被成 御越之由御錠候事…」 「…家康をも江戸まで被召連、江戸之御普請可被仰付之由、 御錠被成候事…」	小田原・会津間の道の普請、小田原の処理③秀吉の命による家康の江戸城普請
8	大日本古文書 家わけ第二 浅野家文書	61	1	83	(天正十九年)九月十四日	浅野長吉(長政)書状写	浅野弾正少弼長吉	長束大蔵大輔殿(正家)御陣所	「…只今南部方居城之普請…」	九戸政実の乱
9	大日本古文書 家わけ第二 浅野家文書	65	1	86	(文禄元年)二月廿五日	伊達政宗書状	羽柴侍従政宗	浅弾正様人々	「…殊屋敷被下、半普請ニくはたち申候刻…屋作普請も罷成間敷候…」	伊達政宗による葛西大崎屋敷の普請カ
10	大日本古文書 家わけ第二 浅野家文書	70	1	91	(文禄二年)八月六日	豊臣秀吉朱印状写	(秀吉)	浅野弾正少弼・増田右衛門尉(長盛)・石田治部少輔(三成)・大谷形(刑)部少輔(吉隆)	「其元仕置城々普請無由断体令言上、被聞召届候、…一、普請出来衆、城主一札を取…帰朝させ可申候、…一、普請出来候者、一日薪を仕…」	文禄の役
11	大日本古文書 家わけ第二 浅野家文書	80	1	99		浅野幸長家臣某蔚山城覚書			「…蔚山城十一月十日比方御普請…」	蔚山城の普請
12	大日本古文書 家わけ第二 浅野家文書	82	1	107	(慶長三年)正月十七日	豊臣秀吉朱印状	(秀吉)	加藤主計頭・浅野左京大夫・太田飛騨守	「…大明人雖取懸候…然者蔚山を始、諸城普請丈夫ニ申付、兵粮玉薬沢山ニ入置…」	慶長の役

13	大日本古文書 家わけ 第二 浅野家文書	83	1	109	(文禄二年)八月六日	豊臣秀吉朱印状	(秀吉)	浅野弾正少弼・羽柴伊達侍従(政宗)・浅野左京大夫・岐阜衆・鍋島加賀守(直茂)・片桐主膳正(貞隆)・毛利兵橋(重政)	「…各請取城普請於出来者、一日ばい木を仕、城中ニにほのこ とく、いく所にも積候て…」	文禄の役
14	大日本古文書 家わけ 第二 浅野家文書	85	1	110	(文禄二年)卯月廿二 日	豊臣秀吉朱印状	(秀吉)	浅野弾正少弼	「…輝元釜山浦へ相越…并加徳島普請出来之由…」	文禄の役
15	大日本古文書 家わけ 第二 浅野家文書	87	1	112	(慶長三年)正月一日	加藤清正浅野長慶(幸 長)連署状	加藤主計頭清 正・浅野左京大 夫長慶	筑前中納言様(小早川秀 秋)・安芸宰相様(毛利秀 元)・蜂須賀阿波守様(家 政)・竹中源介様(重利)・早 川主馬様(長政)・熊谷内蔵 允様(直陳)・垣見和泉様 (家純)・毛利民部大輔様 (高政)・福原右馬允様(直 高)御陣所	「当城御普請、今少不出来ニ付而、兵粮丈夫ニ不入置候」	慶長の役
16	大日本古文書 家わけ 第二 浅野家文書	103	1	131	(文禄三年)二月十八 日	徳川家康書状	家康	浅野弾正少弼	「并御普請等被仰付候間、今十八日ニ遠州中泉まで罷着候」	吉野花見
17	大日本古文書 家わけ 第二 浅野家文書	113	1	142	(慶長五年)八月十日	石田三成書状	石治少三成	真田安房守(昌幸)・同左衛 門尉(幸村)	「…臥見ニも六七千にて、掃除普請以下申付候…」	伏見城普請
18	大日本古文書 家わけ 第二 浅野家文書	146	1	184	九月廿八日	徳川秀忠書状	江戸中納言秀忠	浅野左京大夫	「木曾御材木之儀、被 仰付事、御苦劳令察候」	
19	大日本古文書 家わけ 第二 浅野家文書	155	1	196	八月二日	徳川秀忠書状	秀忠	浅野紀伊守(幸長)	「今度長々普請、苦劳之儀、無是非候…尚々普請精入候之儀、 難謝候」	慶長15年名古屋城普請 力
20	大日本古文書 家わけ 第二 浅野家文書	169	1	205	五月廿日	古田重然書状	古田織部重然	紀州様(幸長)人々御中	「今度拙子普請首尾能、今日菅清右殿御下国候間、令啓上候」	
21	大日本古文書 家わけ 第二 浅野家文書	177	1	213	(天正十九年カ)九月 十日	蒲生氏郷書状	羽忠三氏郷	浅弾さま人々御中	「今朝懸御目候而、本望此事候…則普請わり申付候、手間入申 ましく候」	会津若松城普請力
22	大日本古文書 家わけ 第二 浅野家文書	178	1	215	(天正十九年)九月十 三日	浅野長政書状案		左京	「…今度南部へ相働、悉平均ニ相随候、只今南部方居城之普 請申付候…」	奥州仕置
23	大日本古文書 家わけ 第二 浅野家文書	187	1	229	(慶長十五年)二月六 日	浅野幸長書状	浅紀伊守幸長	後庄三様(光次)人々御中	「…那古屋御普請之儀…」	名古屋城普請
24	大日本古文書 家わけ 第二 浅野家文書	194	1	238	(慶長十五年)卯月十 九日	浅野長晟書状	但馬守長晟	今中勘右衛門尉・森勝左衛 門尉	「一、池河之普請人足、四千三百三十老入…」	名古屋城普請
25	大日本古文書 家わけ 第二 浅野家文書	208	1	267	元和貳年八月十八日	浅野長晟普請條目	長晟	普請奉行中	「覚／一、大門并南之門、番之刻、役人引申間敷事、…」	
26	大日本古文書 家わけ 第二 浅野家文書	222	1	285	五月九日	老中久世広之奉書写	久世大和守(広 之)	松平安芸守	「…昨朝市場武助ニ被仰下候御中屋敷西北之方土手石垣、頃 日之大雨ニ而崩申候…今度者高三間ニ為御築被成度之由、絵 図各入披見候処、不苦候間、高三間ニ修復可被仰付之旨候間 …」	浅野家中屋敷の石垣の 普請
27	大日本古文書 家わけ 第二 浅野家文書	223	1	286	(万治三年)六月廿八 日	小出吉英書状	小出大和守(吉 英)	安芸守(光晟)	「…去十八日酉ノ下刻、大坂御城塩硝蔵へ雷落申、方々大破 之儀…中国西国四国衆へ、大坂破損之御普請あたり可申候哉 …」	大坂城焰硝蔵への落雷・ 破損に伴う普請
28	大日本古文書 家わけ 第二 浅野家文書	255	1	357	(慶長二年)十二月廿 二日～(慶長三年)正 月廿二日	浅野幸長蔚山籠城以 下万事覚書			「為御普請、中国衆蔚山ニ被相残候事」	慶長の役
29	大日本古文書 家わけ 第二 浅野家文書	256	1	377	慶長貳年十二月廿三 日	浅野幸長高麗陣雑事 覚書			「…蔚山ノ城、右如一書御普請出来ニ付而…」	慶長の役
30	大日本古文書 家わけ 第二 浅野家文書	257	1	392	(慶長三年)正月四日 ～三月十四日	浅野幸長蔚山籠城後 書状案紙			「…うるさん新城為普請…」「…釜山浦普請見及申候…」「…各 御仕置城々、致御普請候…」	慶長の役
31	大日本古文書 家わけ 第二 浅野家文書	263	1	466	文禄二年三月十日	豊臣秀吉朱印状	(秀吉)		「…右浅野弾正、増田右衛門尉釜山浦ニ在之而、城普請可申 付候…」	文禄の役、釜山城普請

32	大日本古文書 家わけ第二 浅野家文書	267	1	480	文禄四年正月三日	豊臣秀吉朱印状	(秀吉)	御普請奉行三人 浅野左京大夫・千石越前守(秀久)・石川兵蔵(光吉)	「…草津にての御座所、御ふしん(普請)可申付候…」	草津の秀吉御座所の普請
33	大日本古文書 家わけ第二 浅野家文書	270	1	483	慶長貳年二月廿一日	豊臣秀吉朱印状	(秀吉)	浅野左京大夫	「則普請等之義、為帰朝之衆令割符、丈夫ニ可申付事」	慶長の役
34	大日本古文書 家わけ第二 浅野家文書		1	553		[寛政重修諸家譜]三百九			①「…十五年尾張国名護屋に新城を築かるるとき、本丸の普請を助く…」②「…十九年西城石垣の普請を勤む…」③「八年仰をうけて加藤肥後守とおなしく、本城天守台石垣の普請をつとむ…」④「…十二年六月十四日つきに本城石垣普請の事をつとめしところ…」⑤「十四年二月仰をうけたまはりて、御天守台を築く…」⑥「…七年十月十五日代官町の普請をつとめしにより…」⑦「…四年六月十五日さきに関東川々の普請をつとめしにより…天明七年五月朔日関東をよひ、伊豆国川々の普請に預り…」	①慶長十五年の名古屋城の普請②慶長十九年の江戸城の普請③元和八年の江戸城の普請④寛永十二年の江戸城の普請⑤寛永十四年の江戸城の普請⑥宝永七年の江戸代官町の普請⑦関東の河川の普請
35	大日本古文書 家わけ第二 浅野家文書		1	590		[寛政重修諸家譜]三百十			①「…十二年六月十四日さきに宗家安芸守光晟と共に、本城石垣の普請を助け…」②「…十四年二月仰をうけたまはりて、また光晟と共に御天守台を築く…」③「宝永四年十二月二十八日浜御殿の普請を勤めしにより…」④「…十六年桜田土橋の石垣をよひ堀の普請をつとむ…」⑤「…六年西城両虎口、をよひ土橋石垣所々の普請を助造す…」⑥「九年四月大猷院殿日光山にまうてたまふるとき、今市御旅館の普請をつとめ…」	①寛永十二年の江戸城の普請②寛永十四年の江戸城の普請③宝永四年の浜御殿の普請④寛永十六年の江戸城の普請⑤寛永六年の江戸城の普請⑥寛永九年の日光社参の際の普請

『大日本古文書』家わけ第三 伊達家文書

No	書名	番号	冊	頁	年月日	文書名	差出	充所	備考①	備考②
1	大日本古文書 家わけ第三 伊達家文書之一	30	1	24	正月二日	伊達政宗書状	まさむね(伊達政宗)	くわおり(桑折)いんきよ(隠居)	「一、伏見御普請ニ点了御普請奉行仕、大閤様江御目見仕候由申伝候」	伏見城普請
2	大日本古文書 家わけ第三 伊達家文書之一	357	1	453	(天正十六年力)正月晦日	伊達政宗書状	政宗	—	「…黒森普請之事、門垣計之義ニ候者、大石近辺之人夫各召出、以代官早速可企普請候…」	黒森普請
3	大日本古文書 家わけ第三 伊達家文書之一	359	1	454	(天正十六年)二月十五日	伊達政宗書状	政宗	中伊(中島宗求)	「…其地普請之儀、近日東根之人数を以、一廉可相拵候」	
4	大日本古文書 家わけ第三 伊達家文書之一	361	1	456	(天正十六年)三月十八日	伊達政宗書状	政宗	中伊	「随而其地普請之事、近日代官可指遣候、東根之人数触出、如形も普請可申付候…」	
5	大日本古文書 家わけ第三 伊達家文書之一	364	1	459	(天正十六年)三月廿四日	伊達政宗書状	政宗	中伊(中島宗求)	「…就其地普請ニ乍少々人足指遣候…」	
6	大日本古文書 家わけ第三 伊達家文書之一	487	1	616	(天正十七年)霜月廿□日	豊臣秀吉小田原陣陣立書	—	—	「一、南海道ハ普請の衆…」	小田原征伐
7	大日本古文書 家わけ第三 伊達家文書之一	508	1	658	(天正十九年)卯月廿七日	大橋吉景伊藤勝久連署状	伊藤又兵衛勝久・大橋八蔵吉景	政宗	「…今度於京都御仕合、重々無残所旨、被仰下候、拙者式迄恐悦此事候、随而御屋敷御普請、漸出来仕由、珍重奉存候…」	伊達政宗京都屋敷
8	大日本古文書 家わけ第三 伊達家文書之二	518	2	5	(天正十八年)七月三日	和久宗是書状	和久又兵入道宗是	政宗	「…道作之五人御奉行衆へ、一人つゝニ 御朱印被遣、御法度直にこまかく被仰付候…」	
9	大日本古文書 家わけ第三 伊達家文書之二	519	2	5	天正十八年七月三日	豊臣秀吉朱印法度書写	(豊臣秀吉)	—	「…從小田原面至于会津道作御法度書 一道作之為奉行、垣見弥五郎、水原亀介、西河八右衛門尉、杉山源兵衛尉、友松次右衛門□□□人被指遣候…一道之手寄 / \、百姓召出、道普請、其国郡々見計可渡宛事…」	小田原より会津までの道普請

10	大日本古文書 家わけ 第三 伊達家文書之二	520	2	7	(天正十八年)七月九日	浅野長吉長政書状	浅野弾正少弼長吉	伊達左京大夫	「…然者其地御座所普請之儀被仰談、可然様ニ御用意尤存候…」	黒川御座所普請
11	大日本古文書 家わけ 第三 伊達家文書之二	521	2	8	(天正十八年)七月七日	木村吉清書状	木村弥一右衛門尉	政宗	「…一兩日中ニも、為及見申如此候、御普請申付候ニ、甚三郎差遣候…」	
12	大日本古文書 家わけ 第三 伊達家文書之二	522	2	9	(天正十八年)七月廿日	木村吉清書状	木村弥一右衛門尉	政宗	「一白川より会津迄、道橋并御座所かたく被仰付尤存候、…一黒川御座所御普請、大形申付候間、可被御心安思召候…」	黒川御座所普請
13	大日本古文書 家わけ 第三 伊達家文書之二	533	2	20	—	伊達政宗(?)書状案	—	—	「…伏見普請之儀付而、人足之儀、去八日被仰下候処、未相上候、隣国隣郡之人足、各京着之处、其身如在之様候…」	伏見城普請
14	大日本古文書 家わけ 第三 伊達家文書之二	543	2	29	(天正十八年)十一月廿日	蒲生氏郷書状	忠三氏	浅六右	「一当地一段可然城候間、後までも政宗可被相抱哉と存候而、普請丈夫ニ申付候事…」	蒲生氏郷名生城普請
15	大日本古文書 家わけ 第三 伊達家文書之二	556	2	42	(天正十八年)	伊達政宗覚書状	(伊達政宗)	—	「…御奉公無二存候故、拙者分領中、城々如 御諚、悉破却仕之事…」	領内の諸城破却
16	大日本古文書 家わけ 第三 伊達家文書之二	587	2	79	(天正十九年)二月廿九日	鈴木新兵衛書状	鈴木新兵衛元	石母田房(景頼)	「一、御屋敷被遣、剰浅野左京大夫様ニ被仰付、若狭之衆三千人計にて、唯今御普請専候…」	最上義光屋敷普請
17	大日本古文書 家わけ 第三 伊達家文書之二	590	2	83	(天正十九年)卯月廿七日	浅野長吉長政書状	浅野弾正少弼長吉	羽柴長井侍従(政宗)	「…御作事、当秋中台所可被仰付儀、肝要候…」	
18	大日本古文書 家わけ 第三 伊達家文書之二	591	2	84	(天正十九年)卯月廿七日	浅野久三郎書状	浅野久三郎一(成)	羽柴長井侍従(政宗)	「…其表御普請、大形首尾仕候由、珍重不浅候…雖然今度御上洛、同御普請等之儀を、其表有之而、御馳走をも不仕事…其元御普請出来付而、定近日可為御下向之条、委細其節奉期候…」	
19	大日本古文書 家わけ 第三 伊達家文書之二	602	2	94	(天正十九年)七月十八日	浅野長継幸長書状	浅野左京大夫長継	羽柴長井侍従(政宗)	「…其元之儀、御仕置等可被仰付事専一用候、御屋敷御普請之事、施薬院令談合不可有由断候…」	
20	大日本古文書 家わけ 第三 伊達家文書之二	617	2	111	(天正十九年)九月七日	大谷吉継書状	大谷刑部少輔吉継	政宗	「…仍而水沢之城…然者右普請之儀、随分堅申付候…」	水沢城、江刺城普請
21	大日本古文書 家わけ 第三 伊達家文書之二	618	2	112	(天正十九年)九月十日	徳川家康書状	家康	羽柴侍従	「…近日者普請取紛、無音相過、本望之外候、仍佐沼之儀も、人数差遣候之間、普請定廳而可為出来候…」	佐沼城普請
22	大日本古文書 家わけ 第三 伊達家文書之二	621	2	114	(天正十九年)九月廿二日	石田三成書状	石田治部少輔三成	政宗	「…気仙大原両城之儀普請出来、則任御理、最前より被付置兩人ニ相渡…御手前御普請人遣於無之者、彼家之事こほち、何之地迄成共、為此方人数相届可相進候…」	気仙城、大原城普請
23	大日本古文書 家わけ 第三 伊達家文書之二	647	22	141	(文禄二年)卯月晦日	最上義光書状写	義光	いらこ(伊良子)しなの(信濃)	「一、其元うちたてのほりふしん、いかゞ候哉、一度ニハマかりなるましく候…」	文禄の役
24	大日本古文書 家わけ 第三 伊達家文書之二	650	2	147	(文禄二年)七月廿四日	伊達政宗書状	(伊達政宗)	(保春院)	「…所々にて普請御さ候、われらニは御ゆるし候へ共、申こひ候て、いしかきの普請仕候…」	文禄の役
25	大日本古文書 家わけ 第三 伊達家文書之二	660	2	162	(文禄三年)	豊臣秀吉書状	大かう	おね(秀吉夫人杉原氏)	「…十四五日ころニわひまあき、ふしみまで参、ふしんをいそかわし可申候…」	伏見城普請
26	大日本古文書 家わけ 第三 伊達家文書之二	666	2	167	(文禄四年)九月十九日	伊達政宗書状	羽越前守政宗	□(祝力)丹州(岩井丹波守力)	「…御普請場などにて申度候、各被仰合、御指図可承候…」	伏見城普請力
27	大日本古文書 家わけ 第三 伊達家文書之二	667	2	168	拾月十日	石母田景頼書状	石母田大膳(景頼)	間宮三郎右衛門	「…当春大坂御普請ニ付而、陸奥守奉行之者為上被申候、然者去々年今井宗薫を以、石垣御普請も候ハゞ、請取申度由申者有之由…」	大坂城普請

28	大日本古文書 家わけ 第三 伊達家文書之二	669	2	171	(慶長元年)卯月朔日	伊達政宗書状	羽越政宗	江南斎(保土原行藤)	「…大間様去廿七日舟にて御下向候刻、普請場ニ相待申候処 …以御使御果子など被下、普請別而見事仕候とて、…一一昨日御普請場へ 出御候条、罷出…」	伏見向島の普請
29	大日本古文書 家わけ 第三 伊達家文書之二	720	2	272	(慶長五年)十一月八日	最上義光書状	出羽(最上義光)	政宗	「…境目普請など被申付、其仕度之由申候…」	
30	大日本古文書 家わけ 第三 伊達家文書之二	721	2	275	慶長五年霜月廿二日	伊達政宗人数書	—	—	「…鍵卅二人普請 泉田殿 馬上拾壹騎…」	
31	大日本古文書 家わけ 第三 伊達家文書之二	740	2	298	慶長七年三月四日	伊達政宗給米渡方黒印状	(伊達政宗)	茂庭石見守・湯村信濃守	「…仙台之御普請ニ付而、人足人数合七千百貳拾八人也…」	仙台城普請
32	大日本古文書 家わけ 第三 伊達家文書之二	770	2	320	(慶長十九年)五月廿七日	徳川家康黒印状	(徳川家康)	大崎少将	「…其許(高田城)就普請、昼夜被入精候段、悦思召候也」	高田城普請
33	大日本古文書 家わけ 第三 伊達家文書之二	771	2	321	(慶長十九年)六月廿三日	徳川秀忠書状	(徳川秀忠)	大崎少将	「…為普請見廻、使者差越候…」	高田城普請
34	大日本古文書 家わけ 第三 伊達家文書之二	816	2	401	(元和二年)九月十四日	藤堂高虎書状	藤和泉守	鈴木七右衛門尉	「…其元作事之儀無御油断之旨尤候…」	
35	大日本古文書 家わけ 第三 伊達家文書之二	817	2	402	(元和二年)九月五日	八十島道除書状	八十島助左入道	鈴木七郎右	「…然者大工共之儀、横井四郎右衛門尉奉行相添被進之候条、御作事之御用等可被仰付候…」	
36	大日本古文書 家わけ 第三 伊達家文書之二	820	2	407	元和四年七月十日	伊達政宗領知黒印状	(伊達政宗)	大内蔵人・平田四郎左衛門・壹岐忠次郎・木川田伊与	「…せき普請之儀者手前ニ而可仕候、費用錢上候者、人足之儀者可借下者也…」	
37	大日本古文書 家わけ 第三 伊達家文書之二	836	2	421	(元和六年)十一月廿一日	徳川秀忠書状	秀忠	仙台宰相	「…今度当城普請之義、入念依被申付、早速出来、怡覚候…」	江戸城普請
38	大日本古文書 家わけ 第三 伊達家文書之二	837	2	422	(元和六年)	伊達政宗江戸城普請役人数書	(伊達政宗)	—	「元和六年之御普請之時 伊達安房守殿…」	江戸城普請
39	大日本古文書 家わけ 第三 伊達家文書之二	838	2	425	(寛永六年)	伊達政宗江戸城普請役人数書	(伊達政宗)	—	「寛永六年之御普請之時 伊達安芸守殿…」	江戸城普請
40	大日本古文書 家わけ 第三 伊達家文書之二	905	2	571	寛永四年二月廿三日	土井利勝外三名連署奉書	永井信濃守尚政・井上主計頭正就・酒井讃岐守忠勝・土井大炊頭利勝	仙台中納言	「…就仙台屋敷構之儀、以絵図被仰上候、則歴 上覧候之处、心之尽可有普請之旨被 仰出候之間、可被成其御心得候…」	若林屋敷普請
41	大日本古文書 家わけ 第三 伊達家文書之二	908	2	573	(寛永四年)五月廿七日	伊達政宗若林普請覚書	—	—	「若林所々御普請之覚…」	若林屋敷普請
42	大日本古文書 家わけ 第三 伊達家文書之二	910	2	575	寛永五年二月廿八日	伊達政宗鮭魚役申付黒印状	(伊達政宗)	桑折豊後・犬飼隼人・犬飼清蔵・島貫正右衛門・矢内清九郎	「一、新舟之材木、古舟つくろいの材木、其所於近所、雑木入次第にきらせ候而…」	
43	大日本古文書 家わけ 第三 伊達家文書之二	916	2	581	(寛永六年)三月廿九日	藤堂高虎書状	藤堂和泉守(高虎)	松奥州	「…爰許御手前御普請、早速ニ出来申候間、是又御氣遣被成間布候…」	江戸城普請
44	大日本古文書 家わけ 第三 伊達家文書之二	917	2	582	(寛永六年)八月八日	徳川秀忠書状	秀忠	仙台中納言	「…今度就江戸普請、念之入候段、欣然候…」	江戸城普請

45	大日本古文書 家わけ 第三 伊達家文書之二	934	2	628	寛永九年七月三日	伊達政宗普請及諸役 等申付状	和田主水(為 頼)・中島監物 (貞成力)	石母田大膳・村田吉助	「一、山之根御普請之儀、 御下向之上、可被 仰付候事」	
46	大日本古文書 家わけ 第三 伊達家文書之二	967	2	675	(寛永十二年)七月十 六日	伊達政宗書状	政宗	松越前守	「…両屋敷共ニ不残火事仕候由、作事広間其外致首尾、来年 者御成可申と心懸候処…」	
47	大日本古文書 家わけ 第三 伊達家文書之二	975	2	681	(寛永十三年)三月五 日／同十三日	茂庭良綱外二名連署 状	佐々若狭元 (綱)・奥山大学 常(良)・茂庭周 防守良(綱)	石母田大膳(宗頼)・後藤下 総(近元)	「…去廿七日早飛脚を以、御普請当月七日八日比迄被相延之 旨、柳生但馬(宗矩)殿被仰付之由被申上候…」	江戸城掘普請
48	大日本古文書 家わけ 第三 伊達家文書之二	976	2	682	(寛永十三年)三月五 日／同十三日	茂庭良綱外二名連署 状	佐々若狭元 (綱)・奥山大学 常(良)・茂庭周 防守良(綱)	石母田大膳(宗頼)・後藤下 総(近元)	「…以費用(日庸)成共、御普請可被申由被申上候と、 御耳ニ 相立候…」	江戸城掘普請
49	大日本古文書 家わけ 第三 伊達家文書之二	977	2	684	(寛永十三年)三月廿 四日	茂庭良綱・奥山常良連 署状	奥山大学助常 (良)・茂庭周防 守良(綱)	石母田大膳(宗頼)・後藤下 総(近元)	「…今月十三日より渡シニ被成置之由、御普請滞申様子被為 御覧、左様ニ被 仰付候…」	江戸城掘普請
50	大日本古文書 家わけ 第三 伊達家文書之二	978	2	686	(寛永十三年)六日	奥山常良(?)覚書状	大かく助	大膳(石母田宗頼)	「一、御普請ニ江戸へ罷上人足、二月九日十日比ニ御国を罷 立候様、かたく可被申触事」	江戸城掘普請
51	大日本古文書 家わけ 第三 伊達家文書之二	979	2	688	寛永十四年二月廿八 日(寛永十三年極月九 日)	伊達政宗江戸堀普請 奉行扶持方等申付状 案	若狭・大学・近 江・監物・大膳	佐々若狭(元綱)・鶴田駿 河・和田因幡	「…当年江戸御堀御普請奉行ニ罷登相詰申候日数之事…」	江戸城掘普請
52	大日本古文書 家わけ 第三 伊達家文書之二	980	2	691	(寛永十三年)三月廿 五日	上杉佐竹両氏江戸堀 普請下奉行連署状写	佐竹修理大夫下 奉行・上杉弾正 下奉行	政宗様御下奉行	「一、火事何方ニ成共、…御普請之者者、老人も罷出間敷候… 一、御普請場ニ小簀之様成物立申間敷事…」	江戸城掘普請
53	大日本古文書 家わけ 第三 伊達家文書之二	981	2	692	(寛永十三年)三月廿 八日	茂庭良綱外三名連署 覚書状	佐々若狭元 (綱)・奥山大学 常(良)・茂庭周 防守良(綱)・中 島監物(貞成力)	石母田大膳亮(宗頼)	「…御普請御急付而之覚…一右之御くばりにても、御普請はか ゆき不申候ハ…御普請急可申事…」	江戸城掘普請
54	大日本古文書 家わけ 第三 伊達家文書之二	982	2	693	(寛永十三年)二月廿 九日／寛永十三年二 月廿七日／(寛永十三 年)三月朔日／(寛永 十三年)四月廿七日	江戸城堀普請覚書	—	—	「…若其丁場に而、御普請仕義不成内ハ、相談を以、御堀之内 何方成共はらせ、其坪を積り、重而指引可致算用事…」	江戸城掘普請
55	大日本古文書 家わけ 第三 伊達家文書之三	992	3	7	慶長十六年七月六日	片倉景綱普請役申付 状	片倉備中守景綱	笹岡与兵衛・軽辺次郎兵衛	「…我等領分之通、春秋御普請御人足、慶長十壱年御あらため 人数貳百拾九人…」	
56	大日本古文書 家わけ 第三 伊達家文書之三	1057	3	65	(元和六年)五月廿九 日	伊達政宗書状	政宗	美作守	「…弥御普請之はか可参候、房州も定而来月三日比可為着府 と令察候…」	江戸城普請
57	大日本古文書 家わけ 第三 伊達家文書之三	1118	3	112	(元和七年カ)十一月 三日	堀直寄書状	堀丹後守直寄	政宗	「…然者上御屋敷御作事出来仕ニ付て、被成御移徙之由、目 出度奉存候…」	伊達家江戸屋敷の普請
58	大日本古文書 家わけ 第三 伊達家文書之三	1121	3	114	三月廿四日	加々爪忠澄書状	加々民部少輔忠 澄	政宗	「…御普請場ニ罷出候間、少遅く可有御座候…」	
59	大日本古文書 家わけ 第三 伊達家文書之三	1124	3	116	二月三日	細川忠利書状	細川越中守忠利	松平陸奥守(伊達政宗)	「…当年江戸御普請之儀、内々御望ニ思召候処、被 仰出、御 満足之段、尤存候、爰元御普請衆、何茂事之外間敷体と相見 え申候…」	江戸城普請

60	大日本古文書 家わけ 第三 伊達家文書之三	1136	3	126	(元和六年)二月十二日	土井利勝書状	土井大炊助利勝	政宗	「…昨日御ふしん之御ふれ申入候処ニ、此中之御望ニ而、御満足之旨、奉得其意候」	江戸城普請
61	大日本古文書 家わけ 第三 伊達家文書之三	1170	3	153	—	小堀政一書状	宗甫(小堀政一)	道閑老	「一、去月初比より、二之丸御露地被仰付、土用ノウちに、大木をうへ申候、于今毎日罷出候」	
62	大日本古文書 家わけ 第三 伊達家文書之三	1200	3	174	九月廿四日	前田利光利常書状	松筑前守利光	松陸奥守	「…貴様御口切御作事故、来月末ニ可被成之旨、拙者も可為其時分と存儀候…」	
63	大日本古文書 家わけ 第三 伊達家文書之三	1242	3	226	寛永拾三年六月廿一日	伊達政宗葬礼次第書	古内喜兵衛・鶴田駿河	津田近江・古内主膳	「一、御歩小姓衆同 御普請小奉行衆…」	
64	大日本古文書 家わけ 第三 伊達家文書之三	1277	3	355	(寛永十五年七月)	伊達氏江戸詰奉行(?)書状案	—	—	「…内々被成 御意候御二丸之義、被得 上意、御前相済候間…」	仙台城二ノ丸普請
65	大日本古文書 家わけ 第三 伊達家文書之三	1278	3	356	(寛永十五年)八月十八日	伊達氏江戸詰奉行連署状案	伊賀・主膳・大膳	中島監物・茂庭周防・津田近江・奥山大学	「…今度 御二丸地割為仕、横田権之助為相上被申候、委被成御覧、大形御指図被成候…」	仙台城二ノ丸普請
66	大日本古文書 家わけ 第三 伊達家文書之三	1285	3	368	寛永十八年五月十二日	伊達忠宗法度書	片平伊勢・久世九左衛門尉	—	「一、作事場諸職人日帳、念を入可為付事…」	
67	大日本古文書 家わけ 第三 伊達家文書之三	1420	3	478	三月六日／十月廿三日	伊達忠宗書状	忠宗	古澤久巴	「返々、 御前之儀、万事能様頼申候、御普請ニ取紛…」	
68	大日本古文書 家わけ 第三 伊達家文書之三	1499	3	589	—	逢春門院御消息	御匣	松平むつの守	「…そもしさま御そくさいの御事にて、日々に御ふしんはへも御出候て、御申つけ候よし…」	
69	大日本古文書 家わけ 第三 伊達家文書之三	1500	3	591	(万治三年)	逢春門院御消息	ミくしけ	松平むつの守	「…日々にふしんはへも御いて候よし、あつき時分にて御たいき御くろうの御事…」	
70	大日本古文書 家わけ 第三 伊達家文書之四	1802	4	322	(万治四年)卯月六日	万治寛文延宝年間覚書〔須田茂右衛門書状〕	須田茂右衛門	大立目小左衛門	「…去ル廿九日四ツ時、公方様御普請場 御上覧被遊、牛込御門より還御被成置候…御普請奉行衆式拾人計、并小十郎殿周防殿 御目見被 仰付…今二日御普請御仕舞…」	写の内容表題として「同月廿九日、公方様小石川御普請場 御上覧被遊候段申来候付、須田茂右衛門所より留主居大立目小左衛門所江遣申写」とあり
71	大日本古文書 家わけ 第三 伊達家文書之四	1810	4	410	万治三年八月廿三日	富塚重信外二名連署覚書状	木村重成・奥山常辰・富塚重信	堀越甚兵衛・柳生権右衛門	「…其外何に而も、上意御普請倒之分…従 上意御普請奉行被相付、倒之分縦面々手前ニ而普請仕候共、上意御普請奉行同上廻衆見届之上…」	
72	大日本古文書 家わけ 第三 伊達家文書之四	1841	4	446	寛文五年六月十五日	伊達氏奉行連署仙台惣屋敷定書	富塚内蔵允重信・原田甲斐・茂庭周防定元・大條監物・柴田外記朝意	御屋敷奉行衆中	「一、侍屋敷之作事囲等…」	
73	大日本古文書 家わけ 第三 伊達家文書之四	1854	4	464	寛文十年三月三日	伊達氏奉行連署条目	古内志摩義如・原田甲斐宗輔・柴田外記朝意	御足輕奉行衆中	「一、竹木土石障子縄かつらの類、惣し而御作事に入用之物…以手判可通之…」	
74	大日本古文書 家わけ 第三 伊達家文書之四	1864	4	515	寛文拾貳年三月廿六日	伊達氏奉行連署條目案	古内志摩・柴田中務	御屋敷奉行衆中	「一、侍屋敷之作事囲等、応分限見苦敷無之様ニ可仕事」	
75	大日本古文書 家わけ 第三 伊達家文書之四	1867	4	549	(寛文十二年)八月七日	柴田朝成覚書状	柴田中務	矢野内記	「一、在々所々当之普請ニ付而、役人大勢毎年相出候儀…其外関堤普請等者、御郡司衆御代官衆主立…一於御国元御作事等之儀…当分達而御事不欠御普請等ハ、先以二三年も惣様一切御停止…」	

76	大日本古文書 家わけ第三 伊達家文書之四	1882	4	615	(延宝三年)極月八日	稲葉正則書状	稲葉美濃守正則	松平陸奥守(伊達綱村)	「一、御屋敷替之儀、御止御尤ニ存候…あさぶニ輕ク御普請可被成由、御尤ニ存候…」	
77	大日本古文書 家わけ第三 伊達家文書之四	1887	4	624	(延宝四年)十月廿日	稲葉正則書状	稲葉美濃守正則	松平陸奥守(伊達綱村)	「一、御気色之事、無御心元存候、当年者御普請など御用多き故と被存候」	
78	大日本古文書 家わけ第三 伊達家文書之五	1894	5	1	—	柴田朝意父子事蹟覚書写	—	—	「…右替地於浅布 御拝領、公義御普請奉行衆御出、被相渡候付、外記罷出請取之…」	
79	大日本古文書 家わけ第三 伊達家文書之五	1904	5	37	(延宝五年)六月十九日	稲葉正則意見状	稲葉美濃守正則	松平陸奥守(伊達綱村)	「一、御居城虎口を御付…城普請方々より年々窺候留書之絵図三枚…左候ハヽ、御心安普請被成可然と存候…」	
80	大日本古文書 家わけ第三 伊達家文書之五	1936	5	98	(天和元年)六月三日	稲葉正則意見状	稲葉美濃守正則	松陸奥守(伊達綱村)	「一、陳借奉行と押出シ被仰付候義、いかヽ可有御座候哉、公儀を初、御三家其外何方ニても承不申候、普請奉行之定たる役目にて御座候」	
81	大日本古文書 家わけ第三 伊達家文書之五	1942	5	119	(天和元年)八月廿八日	稲葉正則意見状	稲葉美濃守正則	松平陸奥守(伊達綱村)	「一、其元御普請之儀、御書中之趣得其意存候、是ハ先日委細申進候、相違可仕哉と無心元存候」	
82	大日本古文書 家わけ第三 伊達家文書之五	1946	5	124	(天和元年)九月十日	稲葉正則書状	稲葉美濃守正則	松平陸奥守(伊達綱村)	「…私義も無事、御普請相勤申候、石垣方、天気好御座候者、大形当月中仕廻可申と存候」	
83	大日本古文書 家わけ第三 伊達家文書之五	1978	5	178	—	奥山常辰覚書写	—	—	「一、不入事ながら存出候間書申候、先年小石川御普請之御様子も無御心元…」	
84	大日本古文書 家わけ第三 伊達家文書之五	1982	5	199	(貞享四年)五月廿三日	阿部正武覚書状	阿部豊後守(正武)	松平陸奥守(伊達綱村)	「一、白石城之外、家来衆被差置候城地之様ニ有之所、普請等御申付候刻…一此以前家来衆被差置候中絶之城地ヶ間敷所普請等之儀も、月番老中江一往御窺之上ニ而、可被御申付候」	
85	大日本古文書 家わけ第三 伊達家文書之十(追加)	3268	10	43	—	伊達輝宗書状	東(輝宗)	—	「…普請もみちくにて候間、爰元せうしニ存候て、ねまりとヽまり可申由申候…」	
86	大日本古文書 家わけ第三 伊達家文書之十(追加)	3285	10	68	慶長六年九月七日	伊達政宗普請夫丸諸役免許黒印状	(伊達政宗)	小田原天神別当	「…任佗言、弓弦五百筋、毎年可上由、申候付而、普請夫丸諸役免許候者也、仍如件」	
87	大日本古文書 家わけ第三 伊達家文書之十(追加)	3305	10	108	正保四年五月十九日	幕府老中奉書写	松平伊豆守(信綱)・阿部対馬守(重次)・阿部豊後守(忠秋)	松平陸奥守(忠宗)	「…仙台城大手西脇櫓下之石垣崩候付而築之事…如元可有普請候…」	仙台城普請
88	大日本古文書 家わけ第三 伊達家文書之十(追加)	3306	10	111	慶安五年三月廿六日	伊達忠宗黒印条目写	伊達忠宗	山口内記・真山刑部	「一、郡奉行毎年初秋より村中江相出…年々春中、郷村へ郡奉行普請奉行相出、川除堰堤普請等申付…」	
89	大日本古文書 家わけ第三 伊達家文書之十(追加)	3325	10	131	(寛文元年四月)十一日	立花忠茂書状	立花飛驒守忠茂	松陸奥守(綱宗)	「…御普請出来、先度被為 成上覧、御機嫌能、御家来衆も被致 御目見、首尾無残所御仕合ニ候…」	小石川堀普請

『大日本古文書』家わけ第五 相良家文書

No	書名	番号	冊	頁	年月日	文書名	差出	充所	備考①	備考②
1	大日本古文書 家わけ第五 相良家文書之二	699	2	117	(天正十九年)八月廿三日	石田正澄書状	石田木工正澄	相良宮内太輔殿人々御中	「…若君様(鶴松)、去五日被成御他界候…」(鶴松の死去)「…なこや(名護屋)御座所御普請…」	肥前名護屋城
2	大日本古文書 家わけ第五 相良家文書之二	708	2	125	(文禄二年)三月廿二日	石田三成書状	石治少三成	相良宮内太輔	「…其元御在津、御普請被仰付候由…」	文禄の役

3	大日本古文書 家わけ 第五 相良家文書之二	731	2	144	(文禄二年)十一月廿四日	毛利元清請書写	毛利治部大輔元清	増田右衛門尉・石田治部少輔	「…当御城御普請無緩可申付之由…」	文禄の役
4	大日本古文書 家わけ 第五 相良家文書之二	732	2	144	(文禄二年)十一月廿四日	毛利元清請書写	毛利治部大輔元清		「…此表御普請、不可存由断之通…」	文禄の役
5	大日本古文書 家わけ 第五 相良家文書之二	742	2	153	(文禄四年)二月廿五日	大村由己書状	梅庵法印由己	相良宮内大輔	「…遠国御在陣…」「…此地之衆、普請以下切々候之間…」	文禄の役
6	大日本古文書 家わけ 第五 相良家文書之二	765	2	174	(文禄五年)五月廿五日	石田正澄書状	石田木工頭正澄	相良宮内少輔	「…併従大明、ゆうけき(遊撃)頓而罷越由候之間、各御帰朝も程有間敷候間…」「…大坂伏見大普請被 仰付…」	沈惟敬の来日、大坂城普請、伏見城普請
7	大日本古文書 家わけ 第五 相良家文書之二	767	2	176	(文禄五年)六月十六日	安宅秀安書状	安宅三河守秀安	頼房	「…又可被成御渡唐旨…」「…於爰元、普請被申付候故、為私罷上儀、難成儀ニ候…」	慶長の役
8	大日本古文書 家わけ 第五 相良家文書之二	771	2	180	(文禄五年)壬七月十五日	安宅秀安書状	安宅三河守秀安	頼房様参人々御中	「…去十二日之夜、此方大地震候て、伏見京ニも家あまた損候…」「…来年者 公儀之御普請、又高麗在陣衆可為帰朝候間、各御自分之御作事…」	慶長伏見地震
9	大日本古文書 家わけ 第五 相良家文書之二	786	2	196	(慶長二年)二月拾日	相良頼兄言上状	相良兵部頼兄		「…御同前ニ御渡唐…」「…定其元御普請之儀可在之候…先年りやくさん、せつかい、石かきの御普請之刻…」	慶長の役
10	大日本古文書 家わけ 第五 相良家文書之二	791	2	207	三月五日	小西末郷書状	小西作右衛門尉末郷	稲留吉右衛門	「…爰元普請取乱申候間…」	
11	大日本古文書 家わけ 第五 相良家文書之二	794	2	209	慶長貳年二月廿一日	豊臣秀吉朱印状	(秀吉)	相良宮内太輔	「…仕置之城々所柄之義、各見及多分ニ付而城主を定、則普請等之儀、為帰朝之衆令割符…」	
12	大日本古文書 家わけ 第五 相良家文書之二	796	2	222	(慶長二年)二月廿八日	伊東祐兵書状	伊民太祐兵	相宮太様人々御中	「…御渡海遅候由承候付而…」「…此中番船此表打通申ニ付、普請等申付候条…」	慶長の役
13	大日本古文書 家わけ 第五 相良家文書之二	797	2	222	(慶長二年カ)三月九日	相良頼兄覚書	相兵部少輔頼兄	東吉内	「…いよいよ御普請御造作等御精入候之と相見えへき体之御事…」	
14	大日本古文書 家わけ 第五 相良家文書之二	807	2	233	八月十七日	毛利吉成書状	毛利壺吉成	相良宮内大輔	「…手前普請彼是取紛…」	
15	大日本古文書 家わけ 第五 相良家文書之二	827	2	249	(慶長二年カ)卯月廿七日	村尾弥七書状	村尾弥七	相良宮太	「…今晚爰元を出船させ申候間…」「…又御蔵御普請被仰付候…」	慶長の役
16	大日本古文書 家わけ 第五 相良家文書之二	839	2	258	五月十二日	井上正次書状	井上甚兵へ正次	相良宮内太	「…津守(小西行長)も手前普請ニ取乱…」	
17	大日本古文書 家わけ 第五 相良家文書之二	845	2	263	五月十五日	飯田五郎右衛門尉書状	飯田五郎右衛門尉	相郎(良)宮内大輔	「…普請彼是不私、無音之段…」	
18	大日本古文書 家わけ 第五 相良家文書之二	853	2	270	(慶長三年)正月十七日	豊臣秀吉朱印状	(秀吉)	相良宮内大輔	「…大明人蔚山へ取懸由注進ニ付而…」「…仕置之城々、普請弥丈夫ニ申付…」	慶長の役
19	大日本古文書 家わけ 第五 相良家文書之二	902-3	2	317	(慶長十一年)三月十日	相良頼房(長毎)書状案	(相良頼房)	津田長左衛門尉殿御旅宿所	「…扨々御普請いかか、各御大儀之段…」	江戸城普請
20	大日本古文書 家わけ 第五 相良家文書之二	902-4	2	319	(慶長十一年)三月十日	相良頼房(長毎)書状案	(相良頼房)	小河久太夫殿御旅宿所	「…殊更御普請ニ付、夜日之御苦劳…」	江戸城普請

21	大日本古文書 家わけ 第五 相良家文書之二	902-9	2	322	(慶長十一年)三月一日	相良頼房(長毎)書状案	(相良頼房)	神田与兵衛尉殿人々御中	「…殊当年者、御地御普請之儀共候て、各御大儀奉察候…」	江戸城普請
22	大日本古文書 家わけ 第五 相良家文書之二	902-10	2	322	(慶長十一年)卯月一日	相良頼房(長毎)書状案	(相良頼房)	黒田筑州様人々御中	「…此頃者御普請可為御最中、彼是御苦勞之段奉察迄候…」	江戸城普請
23	大日本古文書 家わけ 第五 相良家文書之二	902-11	2	323	(慶長十一年)卯月一日	相良頼房(長毎)書状案	(相良頼房)	小河喜介殿御旅宿所・黒田半左衛門殿御旅宿所	「…時分其地御普請、御大儀共自是令察候…」	江戸城普請
24	大日本古文書 家わけ 第五 相良家文書之二	902-12	2	324	(慶長十一年)卯月一日	相良頼房(長毎)書状案	(相良頼房)	寺志州様(寺沢広高)人々御中	「…其地御普請如何、可為御最中候…」	江戸城普請
25	大日本古文書 家わけ 第五 相良家文書之二	902-13	2	324	(慶長十一年)卯月一日	相良頼房(長毎)書状案	(相良頼房)	伊東修理様(祐慶)人々御中	「…御普請可為御最中事、自是奉察候…」	江戸城普請
26	大日本古文書 家わけ 第五 相良家文書之二	904	2	340	慶長十一年八月朔日	相良氏江戸屋形作日記帳	豊永五介・犬童伝五	頼安		
27	大日本古文書 家わけ 第五 相良家文書之二	905	2	362	慶長十一年丙午八月十三日	犬童伝五豊永五介江戸屋敷普請銀子勘定書	豊永五介・犬童伝五			
28	大日本古文書 家わけ 第五 相良家文書之二	906	2	363	慶長十一年丙午八月十三日	豊永五介犬童伝五江戸屋敷普請銀子勘定書	犬童伝五・豊永五介			
29	大日本古文書 家わけ 第五 相良家文書之二	917	2	374	(慶長十九年)八月廿五日	本多正信書状	本多佐渡守正信	相良左兵衛	「…高橋殿拝領之地、不殘有馬左衛門佐殿(直純)へ七月廿六日ニ御渡…」「…稲葉彦六殿ハ、御普請彼是之為ニ参上被成之由示預候…」	江戸城普請、有馬直純の延岡移封
30	大日本古文書 家わけ 第五 相良家文書之二	928	2	383	寛永二十一月十日	江戸幕府老中連署奉書	永井信濃守尚政・井上主計頭正就・酒井讃岐守忠勝・土井大炊頭利勝・酒井雅楽頭忠世	相良左兵衛佐(長毎)	「…其方居城破損之所、被致修復度之由…」	人吉城普請
31	大日本古文書 家わけ 第五 相良家文書之二	931	2	387	寛永十三年子ノ六月十日	相良長毎遺言状	相良左兵衛佐長毎	安倍四郎五郎・渡辺図書助	「…從 御三代様、御普請役をも御赦免…」	
32	大日本古文書 家わけ 第五 相良家文書之二	939	2	398	寛永十七年八月十一日	相良頼寛目安状案	相良壱岐守		「…御江戸両やしき之家共、及大破候之間、作事仕度由…」	人吉藩江戸屋敷の普請

『大日本古文書』家わけ第八 毛利家文書										
No	書名	番号	冊	頁	年月日	文書名	差出	充所	備考①	備考②
1	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之一	347	1	363	(天正十年)七月十七日	羽柴秀吉書状	羽柴筑前守秀吉	毛利右馬頭(輝元)	「…於山崎我等普請申付候…」	山崎城(現京都府乙訓郡大山崎町大山崎の天王山に存在した城)の普請
2	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之三	842	3	55	卯月三日	吉川元春外四名連署状	(小早川)隆景・(福原)貞俊・(口羽)通良・(桂)元重・(吉川)元春	粟屋内蔵丞(元種)・兼重左衛門尉(元宣)	「諸要害御普請之事…」	以前に免除を約束していたものも含めて要害普請を命じるべきことを毛利輝元に上申したもの
3	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之三	866	3	130	(天正十九年)十二月八日	豊臣秀吉朱印状	(豊臣秀吉朱印)	羽柴安芸宰相(毛利輝元)	「…随而至大明御動座路次通分国中泊々普請申付之由…」	文禄の役

4	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之三	874	3	135	(天正二十年)卯月八日	豊臣秀吉朱印状	(豊臣秀吉朱印)	羽柴安芸宰相(毛利輝元)	「…今度其方分領御泊々御座所普請作事等被入精…」	文禄の役、秀吉御座所の普請
5	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之三	875	3	136	(天正二十年)卯月十一日	豊臣秀吉朱印状	(豊臣秀吉朱印)	羽柴安芸宰相(毛利輝元)	「…広島普請作事様子被御覧候…」	広島城の普請・作事の出来栄えについて
6	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之三	885	3	143	(天正二十年)三月十三日	豊臣秀吉朱印状	(豊臣秀吉)	羽柴安芸宰相(毛利輝元)	「…馬ハ高麗へ罷渡候ても、普請之間ハ不入事候…高麗之地何之浦々へも一度ニ令着岸、陣取を固、普請丈夫に可申付候…」	文禄の役
7	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之三	891	3	153	(文禄二年)卯月十一日	豊臣秀吉朱印状	(豊臣秀吉朱印)	羽柴安芸宰相(毛利輝元)	「…其方事至釜山浦相越、船懸事、島々こもかい口城六七ヶ所被申付候由…」	文禄の役、釜山周辺での城郭普請
8	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之三	892	3	154	(文禄二年)卯月廿二日	豊臣秀吉朱印状	(豊臣秀吉朱印)	羽柴安芸宰相(毛利輝元)	「…釜山浦へ被相越、湊口城普請被申付、早速令出来候之由…加徳島城ニ被拵之由…」	文禄の役
9	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之三	893	3	155	(文禄二年)卯月廿八日	豊臣秀吉朱印状	(豊臣秀吉朱印)	羽柴安芸宰相(毛利輝元)	「其方之儀、釜山浦へ被相越、湊口城々数ヶ所被申付、令出来候由…」	文禄の役
10	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之三	896	3	157	(文禄二年)五月六日	豊臣秀吉朱印状	(豊臣秀吉朱印)	安芸宰相(毛利輝元)	「…大明勅使差渡付而、其方宿之儀被申付之由…」	文禄の役、明の勅使派遣の旅宿普請
11	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之三	898	3	158	(文禄二年)五月廿二日	豊臣秀吉朱印状	(豊臣秀吉朱印)	羽柴安芸宰相(毛利輝元)	「…もくそ城取巻、悉討果、其上、城々普請等入精可被申付候…」	文禄の役
12	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之三	900	3	160	天正廿年四月廿六日	豊臣秀吉法度	(豊臣秀吉朱印)	羽柴安芸宰相(毛利輝元)	「…高麗渡口より都までの路次通、御泊所・城々有之而、各隙明次第ニ御座所普請可仕…」	文禄の役、秀吉御座所等の普請
13	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之三	910	3	172	八月九日	豊臣秀吉朱印状	(豊臣秀吉朱印)	安芸中納言(毛利輝元)	「…其方領内大工三百人、大坂御作事ニ被遣候間…」	大坂城普請カ
14	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之三	917	3	179	(文禄二年)七月十三日	豊臣秀吉朱印状	(豊臣秀吉朱印)	羽柴安芸宰相(毛利輝元)	「…御仕置之城々、海手ニ付而普請被仰付候…」	文禄の役、仕置の城
15	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之三	925	3	186	(天正二十年)六月廿日	豊臣秀吉自筆書状	大かう(豊臣秀吉)	こや	「…なこや(名護屋)のふしん(普請)をさせ申候…」	名護屋城普請
16	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之三	926	3	187	(天正二十年)五月十六日	豊臣秀吉朱印状写	(豊臣秀吉朱印)	右之衆中(九州衆・宇喜多秀家・毛利輝元・織田秀信・蜂須賀家政・生駒親正・福島正則・細川忠興・稲葉貞通・長曾我部元親・来島兄弟(得居通幸・来島通総力)・戸田氏重・中川秀政・因幡伯耆衆・但馬衆)	「高麗都御座所御普請衆…」	文禄の役
17	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之三	927	3	189	(天正二十年カ)	豊臣秀吉高麗諸泊普請注文			「自釜山浦至京洛 太閤殿下御動座路次御座所御普請…」	文禄の役、秀吉御座所等の普請

18	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之三	928	3	192	(文禄二年)卯月十二日	豊臣秀吉朱印状写	(豊臣秀吉朱印)	羽柴備前宰相(宇喜多秀家)・羽柴安芸宰相(毛利輝元)・羽柴丹後少将(細川忠興)・羽柴東郷侍従(長谷川秀一)・羽柴小早川侍従(小早川隆景)・羽柴土佐侍従(長曾我部元親)・前野但馬守(長康)・加藤遠江守(元泰)・石田治部少輔(三成)・大谷刑部少輔(吉継)・増田右衛門尉(長盛)・加藤主計頭(清正)・小西摂津守(行長)・黒田甲斐守(長政)・毛利壱岐守(勝信)・蜂須賀阿波守(家政)・生駒雅樂頭(親正)・福島左衛門大夫(正則)・戸田民部少輔(氏重)・浅野弾正少輔(長政)・木村常陸介(重茲)・舟手衆・其外在陣中	「…後迄之城丈夫ニ普請可仕事…」	文禄の役
19	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之三	931	3	201	慶長二年二月廿一日	豊臣秀吉朱印状写		羽柴安芸宰相(毛利輝元)	「…右動相済上を以、仕置之城々所柄之儀、各見及多分ニ付而城主を定、則普請等之儀…丈夫に可申付事…」	文禄の役、仕置の城
20	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之三	936	3	218	天正十九年正月十五日	豊臣秀吉朱印状	(豊臣秀吉朱印)	羽柴安芸宰相(毛利輝元)	「中国有之大仏殿材木事…」	方広寺大仏普請
21	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之三	943	3	222	九月廿一日	豊臣秀吉朱印状	(豊臣秀吉朱印)	羽柴安芸中納言(毛利輝元)	「就伏見御作事、鉄式百駄到来…」	伏見城作事
22	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之三	945	3	223	十一月廿二日	豊臣秀吉朱印状	(豊臣秀吉朱印)	安芸中納言(毛利輝元)	「自九州大坂へ相届候引物之内四拾五本、河より御材木屋敷へ普請掲ニ曳上、家を作り可入置候…」	大坂における普請用材木の保管場所設置普請カ
23	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之三	947	3	224	(天正十一年)卯月廿七日	羽柴秀吉書状	羽柴筑前守秀吉	毛利右馬頭(輝元)	「…柴田(勝家)…数年雖拵置要害候…」	越前北之庄城を攻め落とした際の、秀吉による北之庄城についての言葉
24	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之三	949	3	227	(天正十四年)四月十日	豊臣秀吉朱印状	(豊臣秀吉朱印)	毛利右馬頭(輝元)	「…一日路々々、御座所城構事…赤間関御蔵可立事…大仏殿材木事…」	秀吉の九州征伐
25	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之三	980	3	265	(天正十一年)五月十五日	羽柴秀吉書状	(羽柴)秀吉	小早川左衛門佐(隆景)	「…柴田越州北庄居城事、数年相拵…」	柴田勝家の北之庄城普請
26	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之三	984	3	272	天正廿年卯月廿六日	豊臣秀吉法度	(豊臣秀吉朱印)	羽柴小早川侍従(隆景)	「…高麗渡口より都までの路次通、御泊所・城々有之而、各隙明次第ニ御座所普請可仕…」	文禄の役、秀吉御座所等の普請
27	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之三	1041	3	322	(天正廿年)卯月十四日	安国寺恵瓊外二名連署起請文	安国寺恵瓊・させ(佐世)三左元嘉・林肥就長	二太右(二宮就辰)・鶴新右(鶴飼元辰)	「…当城之儀、内々普請申付之由被及 聞召…」	豊臣秀吉が毛利氏による広島城築城の出来栄えを称賛した旨を伝える
28	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之三	1051	3	335	(慶安三年二月)	毛利秀就覚書案	(毛利秀就)		「一、毛利甲斐守(秀元)御普請役之儀…」	毛利家普請役遂行を巡る毛利秀就と毛利秀元との関係性を説明するもの
29	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之三	1057	3	338	六月五日	徳川秀忠御内書	(徳川)秀忠	幻庵(毛利輝元)	「就当城作事、間合鳥子千間…」	江戸城作事

30	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之三	1081	3	350	(慶長十二年)十月四日	徳川家康御内書	(徳川家康黒印)	毛利藤七郎(秀就)	「今度駿府普請付而…」	駿府城普請
31	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之三	1083	3	351	二月十九日	徳川秀忠御内書	(徳川秀忠黒印)	長門侍従(毛利秀就)	「就当地作事、銅并緑青、如目録到来…」	江戸城作事
32	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之三	1086	3	352	三月廿一日	徳川秀忠御内書	(徳川秀忠黒印)	長門少将(毛利秀就)	「就当地普請、角石如目録到来候…猶土井大炊頭可述候也」	刊本は慶長12年力とするが根拠は不明、土井利勝が大炊頭となっているので、元和9年以降であることは確実であり、いずれの年も3月の秀忠の居所は江戸なので、この普請は江戸城普請と考えられる
33	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之三	1170	3	477	(寛永十五年二月二日)	毛利氏家中武具定付立	(毛利秀就)	—	「…御陳役之時者、百石ニ貳人宛、御普請役之時者、耄人半役ニ被成御定候…」	刊本の年次比定は「毛利氏四代実録」による
34	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之三	1171	3	493	(慶長九年)正月廿八日	福原広俊国司元蔵連署覚書	国隼(国司元蔵)・福越(福原広俊)	(毛利輝元)	「…不入御普請などをハ被聞…」	領国中の城地選定に関する史料
35	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之三	1174	3	500	慶長九年正月	僧元佶閑室筈書	前南禅前学校閑室(元佶)	—	「輝元公ハギニ城ヲ可取立申吉凶…」	萩城普請
36	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之三	1175	3	502	慶長九年三月十三日	僧玄徹筠溪筈書	筠溪(玄徹)	—	「某浴居於萩城始終吉凶…」	萩城普請
37	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之三	1176	3	503		僧玄徹筠溪筈書	(玄徹)	—	—	萩城普請
38	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之三	1179	3	506	元和六(年)十月廿六日	毛利宗瑞(輝元)覚書	(毛利輝元)	(毛利秀就)	「…天下役之時者、役目可申付候…」	毛利輝元の隠居料配分を巡る覚書、天下役、すなわち幕府からの軍役・普請役について
39	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之四	1258	4	42	(慶長十一年)正月十七日	吉川広家自筆書状	吉(川)蔵人広家	井四右(井原元以)	「…御普請緩御座有間敷候…」	江戸城普請
40	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之四	1274	4	74	(慶長十年)三月廿一日	益田元祥目安状	益田玄蕃(元祥)	御奉行中	—	慶長10年の萩城普請中における石材盗難事件に係る史料
41	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之四	1275	4	79	(慶長十年)三月廿一日	栗山三郎右衛門目安状	栗山三郎右衛門	—	—	慶長10年の萩城普請中における石材盗難事件に係る史料
42	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之四	1276	4	86	(慶長十年)三月廿四日	天野元信外五名連署目安状	熊谷与右衛門(元実)・中原善兵衛尉・三輪八郎兵衛・佐波次郎左衛門尉・牧野次郎右衛門尉・天野五郎右衛門尉(元信)	井原四郎右衛門尉(元以)・佐世長門守(元嘉)・榎本中務太輔(元吉)・児玉若狭守(元兼)・渡辺飛騨守(長)	—	慶長10年の萩城普請中における石材盗難事件に係る史料
43	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之四	1277	4	91	(慶長十年)三月廿六日	宍道政慶宍戸善左衛門連署目安状	宍道五郎兵(政慶)・宍戸善左衛門	御奉行中	—	慶長10年の萩城普請中における石材盗難事件に係る史料

44	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之四	1278	4	94	慶長十(年)七月八日	佐波広忠目安状	佐波越後入道 (広忠)	井原四郎右衛門尉(元以)・ 榎本中務太輔(元吉)・佐世 長門守(元嘉)	「一、於江戸、堀尾殿普請奉行ニ被申候ハ…」	慶長10年の萩城普請中 における石材盗難事件に 係る史料
45	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之四	1279	4	96	(慶長十年)	毛利輝元自筆熊谷元 直罪状書	(毛利輝元)	(熊谷元直)	「…去々年於江戸 公儀普請申付時…」	熊谷元直を殺害した理由 を列举する中で、慶長8 年の江戸城普請の際に おける熊谷元直の行動が 問題視されているもの
46	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之四	1280	4	101	(慶長十年)	毛利輝元自筆天野元 信罪状書	(毛利輝元)	(天野元信)	「一、今度当城普請奉行申付候時、普請中緩之者…候ハ、下 知をも申きかせ…」	慶長10年の萩城普請中 における石材盗難事件に 係る史料
47	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之四	1294	4	189	(慶長十年力)	毛利宗瑞(輝元)覚書	(毛利輝元)	—	「…近年猶以我等申付候普請其外役目等相背候…」	慶長9年後半吉見広長の 出奔、萩城普請あるいは 慶長8年の江戸城普請カ
48	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之四	1305	4	221	七月十一日	毛利秀元自筆覚書	甲斐守(毛利秀 元)	井加(井原元以)	「…御作事大かた出来申候事…」	毛利家江戸屋敷の普請 カ
49	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之四	1310	4	227	(寛永十二年)二月二 日	毛利秀元書状	(毛利)甲斐守秀 元	宍道主殿助(元兼)	「…来年御普請ニ付而…」	江戸城普請
50	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之四	1311	4	228	(寛永十二年)三月八 日	毛利秀元書状	(毛利)甲斐守秀 元	宍道主殿助(元兼)	「来御普請之儀ニ付而…」	江戸城普請
51	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之四	1312	4	228	(寛永十二年力)十二 月廿日	毛利秀元書状	(毛利)甲斐守秀 元	宍主(宍道元兼)	「…来御普請之儀付而…」	刊本の年次比定が正しけ れば寛永13年の江戸城 外堀普請に係る史料とな るが、寛永期の大坂城普 請の可能性もあり
52	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之四	1314	4	231	(寛永十一年)十二月 廿一日	毛利秀就書状案	(毛利秀就)	日向守(毛利就隆)	「…来々年御普請之儀付而…」	江戸城普請
53	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之四	1315	4	232	(寛永十二年)正月十 六日	毛利就隆書状	(毛利)日向守就 隆	宍主(宍道元兼)	「…爰許来年 公儀就御普請…」	江戸城普請
54	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之四	1316	4	233	(寛永十二年)三月七 日	毛利就隆書状	(毛利)日向守就 隆	(毛利秀就)	—	江戸城普請
55	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之四	1329	4	247	(慶長十九年)七月六 日	宍戸元統書状	宍(戸)備前守元 統	井原四郎右衛門尉(元以)	「…大分之御借銀被差置、其上、公儀御普請之御役目之所ま て、従殿様被仰付…」	江戸城普請
56	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之四	1388	4	281	文禄五年七月 廿日	福原広俊外三名連署 法度	(福原)式部少輔 広俊・(毛利)大 蔵太輔元康・(毛 利)讃岐守元政・ (宍戸)備前守元 次	—	「…畢竟ハ供使普請番等之勤専用也…」	毛利氏家臣団に対する 法度における普請番規 定
57	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之四	1414	4	296	(元和七年)二月十七 日	毛利宗瑞(輝元)自筆 書状	右馬宗瑞(毛利 輝元)	(毛利)秀就・(毛利)秀元	「…また屋敷之普請延引候而も不苦事にて候はんかと存事候 …」	毛利家江戸屋敷の普請
58	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之四	1424	4	307	(慶長十九年)九月十 四日	毛利秀就自筆書状	(毛利)長門守秀 就	(毛利輝元)	「…自福越(福原広俊)可申上候、私手前町場、去六日ニ石かき 分相調申候…」	江戸城普請
59	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之四	1426	4	309	(慶長十九年)九月十 五日	毛利秀就自筆書状	(毛利)長門守秀 就	(毛利)輝元	「…御普請出来仕、辛勞申候段、被成 御意…」	江戸城普請

60	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之四	1432	4	314	(元和六年カ)卯月七日	毛利宗瑞(輝元)書状	右馬宗瑞(毛利輝元)	(毛利)秀就	「…定而頓ニ可為御着と存候…隠居所之儀…此表之古き家を一つ取越、くず屋ニ作候て…」	毛利輝元の隠居所普請構想についての史料、刊本は元和6年カとしているが、同年の毛利秀就の参勤は4月に国元出発、5月に江戸着なので、本史料の状況と合致しない、ここから、毛利輝元の隠居構想が具体化する元和6年以降で本史料と合致するのは元和8年のみ
61	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之四	1433	4	316	(元和六年)三月廿八日	毛利宗瑞(輝元)書状	右馬宗瑞(毛利輝元)	(毛利)秀就	「…仕合能御目見え被申候哉…大坂仕置ニも、柳澤(元辰)ニ先人数五百余相添、一兩日中ニ差上せ申候…」	柳澤元辰が大坂に派遣されていることから、大坂城再築普請に係る史料と判断できる。刊本は元和6年とするが、元和6年の毛利秀就は4月に萩を出発しているので、本史料の状況とは合致せず、寛永元年の秀就は3月21日に萩出発なのでやはり本史料の状況と合致しないことから、本史料は元和8年と考えられる
62	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之四	1436	4	318	六月廿六日	毛利宗瑞(輝元)書状	右馬宗瑞(毛利輝元)	長門守(毛利秀就)	「…其地屋敷作事も大方首尾候て、御年寄衆へ御振舞可被申之通…」	毛利家江戸屋敷の普請
63	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之四	1439	4	321	十一月九日	毛利宗瑞(輝元)書状	右馬宗瑞(毛利輝元)	(毛利)秀就	「…両人所へ粟肥(粟屋元貞)・児五左(児玉元恒)・山下(山田元縁)所より申越候…大坂大段之御普請…」	大坂城普請、毛利輝元は寛永2年に死去しているからそれ以前。かつ、寛永元年に毛利秀就の江戸参勤には粟屋・山田が供番をしていないので、元和8年以前に限定できる。とすれば、本史料は元和6年か同8年のもの
64	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之四	1443	4	326	(元和七年)二月七日	毛利宗瑞(輝元)書状	宗瑞(毛利輝元)	(毛利)秀就・(毛利)秀元	「…屋敷地わり…来年公儀御普請…」	大坂城普請、毛利家江戸屋敷の普請
65	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之四	1445	4	332		毛利宗瑞(輝元)覚書	(毛利輝元)		「…大坂之仕置、其許作事方之普請衆之入目…」	大坂城普請、毛利家江戸屋敷の普請、藩財政窮乏への対策について、財政再建が始まる元和9年以前カ
66	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之四	1455	4	347	慶長拾年十二月十三日	毛利宗瑞(輝元)法度	(毛利輝元黒印)	福原越後守(広俊)・益田玄蕃頭(元祥)	「江戸御普請付而申聞条々」	江戸城普請
67	大日本古文書 家わけ 第八 毛利家文書之四	1456	4	348	(慶長十二年)壬卯月十日	毛利宗瑞(輝元)法度	(毛利輝元黒印)	福原越後守(広俊)・井原四郎右衛門尉(元以)	「覚…六月朔日より御普請相始候間、駿府着、五月廿日かきりに可罷着之事…」	駿府城普請

68	大日本古文書 家わけ第八 毛利家文書之四	1457	4	350	慶長拾貳年壬卯月十日	毛利宗瑞(輝元)法度	(毛利輝元黒印)	福原越後守(広俊)・井原四郎右衛門尉(元以)	「駿府御普請付而申聞条々…」	駿府城普請
69	大日本古文書 家わけ第八 毛利家文書之四	1458	4	352	慶長拾三(年)二月十二日	毛利宗瑞(輝元)法度	(毛利輝元花押)	井原四郎右衛門尉(元以)	「…町場へ罷出候事、并晩日普請あけ候事ハ、他所之衆見合、可申付候…」	駿府城普請
70	大日本古文書 家わけ第八 毛利家文書之四	1459	4	354	慶長拾三(年)二月十二日	毛利宗瑞(輝元)法度	(毛利輝元花押)	井原四郎右衛門尉(元以)	「…普請之もの三月五日駿府可罷着之由…去年駿府へ自身罷越ものゝ役目…」	駿府城普請
71	大日本古文書 家わけ第八 毛利家文書之四	1460	4	355	(慶長十四年五月廿日)	毛利宗瑞(輝元)法度案	(毛利輝元)	—	「…普請之者六月十日丹波可罷着之由…」	丹波篠山城普請
72	大日本古文書 家わけ第八 毛利家文書之四	1461	4	357	慶長拾四年五月廿一日	奥羽宗瑞(輝元)法度案	(毛利輝元)	—	「…不可論石場事…普請中人返之儀、一切停止之訖…」	丹波篠山城普請
73	大日本古文書 家わけ第八 毛利家文書之四	1462	4	358	西(慶長十四年)五月十一日	毛利宗瑞(輝元)法度案	(毛利輝元)	—	「…自身衆、馬未申三年之内、両年江戸駿河役被仕候衆之儀…」	家臣団のうち、陪臣ではなく本人が普請場に赴く場合の負担軽減規定を定めたもの
74	大日本古文書 家わけ第八 毛利家文書之四	1463	4	359	慶長拾七(年)七月廿四日	毛利秀就(?)法度案	(毛利秀就力)	木原左近允(就重力)・児玉平右衛門尉(允房)・松田久兵衛	「(端裏書)「伊豆への御ヶ条」…石場相定候ハ、こやかへ可申付事…普請之儀、朝夕六ツ時分を限ニ可仕事…」	家臣団のうち、陪臣ではなく本人が普請場に赴く場合の負担軽減規定を定めたもの
75	大日本古文書 家わけ第八 毛利家文書之四	1464	4	363	慶長拾七(年)十月一日	毛利秀就(?)法度案	(毛利秀就力)	村上勝太郎(元武)・同八介・沓屋志摩守(元綱力)・栗屋太郎右衛門(元時)・乃美兵部丞(景継)	「…至伊豆罷着候儀…舟道具…於先様石積之儀、伊豆ニ罷居候物頭三人之者共申次第…」	家臣団のうち、陪臣ではなく本人が普請場に赴く場合の負担軽減規定を定めたもの
76	大日本古文書 家わけ第八 毛利家文書之四	1465	4	366	慶長拾九(年)二月十五日	毛利秀就法度	(毛利秀就黒印)	組頭衆	「…町場へ罷出候事、并晩日普請あけ候事者…」	江戸城普請
77	大日本古文書 家わけ第八 毛利家文書之四	1466	4	369	(慶安二年)九月九日	江戸城内桜田見付枡形間数書	—	—	「内桜田御見付升形間数」	江戸城普請
78	大日本古文書 家わけ第八 毛利家文書之四	1469	4	373	慶長拾三(年)五月十三日	毛利宗瑞(輝元)法度案	(毛利輝元)	—	「組頭申聞事…組子之者、自然普請以下付而無如在迷惑を究候もの之儀者…」	
79	大日本古文書 家わけ第八 毛利家文書之四	1470	4	375	慶長十三(年)五月十三日	組頭組子起請文前書案	(組頭)	—	「…中にも肝要之所者、武篇方御普請方之外、自然喧嘩以下之時徒党仕候儀…」	
80	大日本古文書 家わけ第八 毛利家文書之四	1557	4	465	—	益田元祥覚書	—	—	「…両国神社悉及大破…悉造営申付…大殿様(毛利輝元)御時ハ、江戸大坂御仕置などゝ候て、半役三步式役被相勸候内も、貳百石ニ一人か、三百石ニ一人かの御普請衆…去年御船蔵天樹院御普請ニ御役目衆つかい申たる外ニ終ニつかい不申候事…」	

『大日本古文書』家わけ第九 吉川家文書

No	書名	番号	冊	頁	年月日	文書名	差出	充所	備考①	備考②
1	大日本古文書 家わけ第九 吉川家文書之一	132	1	98	(文禄三年)十二月廿日	豊臣秀吉朱印状	(秀吉朱印)	羽柴吉川侍従	「…普請已下無由断申付之旨、尤候…」	文禄の役
2	大日本古文書 家わけ第九 吉川家文書之一	158	1	125	五月六日	徳川家康御内書	(家康黒印)	吉川蔵人頭	「…遠路普請、不嫌昼夜依入精…」	

3	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書之一	197	1	164	(慶長八年)二月十二日	毛利輝元自筆書状	右馬(輝元)	広家	「…江戸へ之御普請衆早々被差上せ候…」	江戸城下普請
4	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書之一	211	1	181	(元和五年)二月八日	益田元祥自筆書状	益玄蕃(益田元祥)	森志摩(森脇志摩守)・伊但馬(伊藤元利)	「…来年御普請国定候…」	大坂城普請
5	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書之一	724	1	668	(慶長三年)卯月二日	毛利輝元自筆書状	輝元	広家	「…城々普請之事…於御普請者不可有御油断候条…」	慶長の役
6	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書之一	753	1	724	(文禄二年)九月廿三日	豊臣秀吉朱印状	(秀吉朱印)	羽柴吉川侍従	「…東国北国之者共、令在洛、普請等仕儀校候へ者…」	文禄の役
7	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書之一	754	1	724	(文禄二年)九月廿四日	増田長盛石田三成連署添状	増田右衛門尉長盛・石田治部少輔三成	羽柴吉川侍従	「…弥諸城普請以下被申付…」	文禄の役
8	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書之一	759	1	728	(文禄二年)十一月十日	豊臣秀吉朱印状	(秀吉朱印)	東萊番衆中	「…普請以下丈夫ニ可申付候…」	文禄の役
9	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書之一	760	1	729	(文禄二年)十一月十日	長東正家木下吉隆連署添状	長東大蔵太輔正家・木下大膳太夫吉隆	東萊城御番衆中	「…御普請御番等、不可有御由断旨候…」	文禄の役
10	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書之一	763	1	731	(文禄三年)九月十二日	木下吉隆添状	木下大膳大夫吉隆	羽柴吉川侍従	「…伏見色々様々御普請ニて候…」	文禄の役、伏見城の普請
11	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書之一	764	1	732	(文禄三年)極月四日	豊臣秀吉朱印状	(秀吉朱印)	羽柴吉川侍従	「…普請以下無由断旨…」	文禄の役
12	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書之一	765	1	732	(文禄三年)極月四日	木下吉隆添状	木下大膳大夫吉隆	羽蔵	「…其面永々御在番…殊普請等無御由断…」「…其面永々御在番…御ひろい様(秀頼)、伏見へ被成御移候…御帰朝之砌…」	文禄の役、秀頼伏見城へ移徙
13	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書之一	767	1	736	(文禄三年)十二月廿日	豊臣秀吉朱印状	(秀吉朱印)	羽柴吉川侍従	「…永々在番…番普請等無由断…」	文禄の役
14	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書之一	770	1	738	(文禄四年)正月十六日	豊臣秀吉朱印状	(秀吉朱印)	羽柴吉川侍従	「関東・北国・出羽・奥州果迄不残令在京、普請等被仰付候」	
15	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書之一	777	1	744	(文禄四年)五月十九日	豊臣秀吉朱印状	(秀吉朱印)	羽柴吉川侍従	「…番普請等無由断旨…」	文禄の役
16	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書之一	778	1	745	(文禄四年)五月十九日	浅野長吉山中長俊連署添状	山中山城守長俊・浅野弾正少弼長吉	吉川侍従	「…御番普請無御由断段…」	文禄の役
17	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書之一	782	1	749	(慶長三年)正月十七日	豊臣秀吉朱印状	(秀吉朱印)	羽柴吉川侍従	「…始蔚山其外諸城普請、弥丈夫ニ申付…」	慶長の役
18	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書之一	790	1	756	(文禄五年カ)三月十三日	安国寺恵瓊自筆書状	安国寺恵瓊	広家	「…其元御普請無御油断候由…」	「…伯州銀山之 御朱印之事…」(吉川広家の伯州銀山経営)
19	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書之二	929	2	97	(天正十六年)卯月三日	浅野長吉長政書状	浅野弾正少弼長吉	吉川	「…小代御普請被仰付由…」	肥後小代城普請
20	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書之二	930	2	97	(天正十六年)卯月五日	浅野長吉長政書状	浅野弾正少弼長吉	吉蔵	「…小代城為普請御越…」	肥後小代城普請

21	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書之二	933	2	100	(文禄五年)八月十日	増田長盛書状	増右長盛	広家	「…就其堤御普請之儀、無御由断之由…」 「…如仰今度之大地 震大風雨打続無正体候…」	慶長地震
22	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書之二	957	2	123	(天正十六年)卯月九日	蜂須賀家政書状	蜂阿家政	吉川	「…至小代御越之由…御普請被入念…」	肥後小代城普請
23	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書之二	958	2	124	(慶長三年)二月十五日	加藤清正書状	加主計清正(加藤)	吉蔵人	「…如仰此中者御見廻可申越候処…御普請被入御情之由承届…先日西堂西円へ御越之剋…」	慶長の役
24	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書之二	959	2	124	(慶長三年)二月廿四日	加藤清正書状	清正	吉蔵	「…一入御普請等被入御情之段…」 「…昨日者致祇候、色々御馳走共、忝存候…随而御陣屋并御厩之体さりとてはきらひやかに相みえ…」	慶長の役
25	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書之二	962	2	126	(天正十六年)卯月七日	加藤清正書状	加主計清正	吉蔵	「…仍小代之城為御普請御越之由…」	肥後小代城普請
26	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書之二	963	2	127	(天正十六年)卯月八日	加藤清正書状	加主計頭清正	吉蔵	「…小代之城為御普請被御下着候由…」	肥後小代城普請
27	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書之二	964	2	128	(天正十六年)卯月七日	福島正則書状	福左太正則	吉蔵	「…小代之城御普請被仰付之由…」	肥後小代城普請
28	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書之二	965	2	129	(天正十六年)卯月八日	福島正則書状	福左太正則	吉蔵	「…小代之城御普請之由御苦劳候…」	肥後小代城普請
29	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書之二	969	2	132	(天正十六年)卯月九日	生駒近規書状	生雅楽近規	吉蔵	「…為御普請至小代御越之由…」	肥後小代城普請
30	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書之二	972	2	134	(慶長三年)五月十日	並河元景書状	並金右衛門元景(並河)	広家	「…其許御普請何程被仰付候哉…」 「…御帰朝之節ハ承合、令祇候…」	慶長の役
31	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書之二	973	2	135	三月廿日	安国寺恵瓊自筆書状	安国寺恵瓊	広家様人々御中	「…然者普請奉行衆へ被 仰渡様候とて…」	慶長の役
32	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書之二	977	2	140	(文禄五年)六月十三日	安国寺恵瓊・福原広俊 連署奉書	安国寺・福式少	広家	「…摂州堤千六百間御過上之分被仰付…」	
33	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書之二	978	2	141	九日	福原広俊自筆書状	広俊	香又	「…御普請之義ハ…公儀御普請之否…」	
34	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書之二	980	2	145	(慶長十三年)七月廿三日	益田元祥自筆書状	益玄(益田元祥)	森志(森脇志摩守)	「…来年は尾州清州之御ふしん之由候、なこや(名古屋)と申へ御とり易候するなとと申候…」	…御祝言之儀、兼日如御定十七日被相調候…御城へ 殿様(秀就)御成御出頭候へ者…」とあり、毛利秀就の祝言から慶長13年
35	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書之二	1197	2	359	十二月十五日	毛利輝元自筆書状	右馬頭輝元	広家	「大仏之木明春ハ自早々御引せあるへく」	方広寺大仏普請
36	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書之二	1205	2	368	(慶長九年)閏八月十八日	毛利宗瑞(輝元)自筆書状	宗瑞(輝元)	広家	「…少成とも御普請被仰付専一存候…」	
37	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書之二	1301	2	502	(文禄四年)二月廿日	藤堂高虎書状	藤堂佐渡守	吉川侍従	「…打続御在番御普請等…」	文禄の役

38	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書之二	1330	2	544		吉川広家自筆覚書	(広家)	美濃殿	「在郷ニ屋敷尋かまへ候て、当所ニての造作共かんりやく仕」	
39	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書之二	1343	2	562	(慶長十一年)三月五日	吉川広家自筆書状	広家		「…此地御普請も夏中二者、多分可相澄取沙汰候…」	江戸城普請
40	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書之二	1345	2	565	(慶長十一年)六月十九日	吉川広家自筆書状	広家	松三介	「…此表御普請、去十四日相調候…」	江戸城普請
41	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書之二	1346	2	565	(慶長十一年)卯月七日	吉川広家自筆書状	広家	松安・吉宗右	「…此面無別条候、藤七郎殿御町場少手おくれのやうニ成候…其地城普請…」	江戸城普請
42	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書之二	1347	2	566	(慶長十一年)十一月十一日	吉川広家留守掟書	広家	一庵・宗尤・松浦隠岐	「…普請仕候刻…」「…普請之木竹其外可入程…普請道具…」	
43	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書之二追加	2	2	789		吉川広家功臣人数帳	(広家)		「慶長十一年江戸御普請」「慶長十二年駿河御普請」「慶長十四年丹波御普請」…	江戸城・駿河城等の公儀普請
44	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書之二追加	3	2	870	元和三年卯月廿六日	吉川広家自筆申渡箇条書	広家	吉川佐介・吉見彦次郎	「…普請之事…」	
45	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	22	3	16	天正十年九月卅日	吉川元春自筆書状	元春	西禅寺(周伯惠雍)	「…従是社御普請為見舞…」	
46	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	82	3	65	(天正六年)五月晦日	吉川元長自筆書状	(吉川元長)	以徹	「…当陣普請…」	上月城攻め
47	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	88	3	73	(天正九年)十月八日	吉川元長書状	黙然(吉川元長)	周伯惠雍	「…漸普請相調候条…」	
48	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	200	3	169		吉川経言(広家)自筆書状	蔵人経言	西禅(周伯惠雍)	「…普請之儀、何成共可被仰越…」	
49	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	306	3	240	五月廿四日	毛利輝元自筆書状	右馬頭輝元		「…一此表相替儀なく候、御普請まで候、五三日中可為御帰着候…」	
50	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	354	3	269	九月十三日	吉川如劬(広家)書状	二兵介		「…普請方之儀、弥無油断之由…」	
51	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	357	3	271	(慶長六年カ)八月廿日	吉川広家自筆書状	(広家)	松安・二兵	「…普請早朝より申付候哉…」	
52	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	363	3	275	十一月十一日	吉川元資(元長)書状	元資	二宮佐渡守(俊実)	「…其元御普請過半相調之由候・・・吾等事御普請中にも上着候之様可出張之处、多分相調之由…」	
53	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	378	3	284	卯月廿日	吉川広家書状	広家	二兵介	「…頃御町場渡之由、昼夜辛勞察入候…」	
54	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	380	3	285	七月四日	吉川広家書状	広家	二兵介(二宮長実)	「…頃御普請如何被仰付候之哉…」	
55	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	381	3	286	(慶長七年カ)六月十四日	吉川広家書状	広家		「…其許辛勞之段、令察候、弥無緩可申付儀肝要ニ候、万福越相頼之通申事候間…」	伏見城普請カ

56	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	383	3	287	六月十二日	吉川広家書状	広家	二兵(二宮長実)	「…頃御町場相渡候哉…」	
57	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	384	3	287	二月十一日	吉川広家書状	家	二兵介(二宮長実)	「…普請方無緩之由肝要ニ候…」	
58	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	392	3	291	五月三日	吉川広家書状	益庵 如兼	二平介(二宮長実)・栗七郎兵衛(栗屋家林)	「…石垣之事多分相澄候由肝要候…日下部五郎八(宗好)殿其方なとニ御懇意之由候…」	大坂城普請
59	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	393	3	292	(元和六年)八月十日	吉川広家書状	如券	二平介(二宮長実)	「…日下部五郎八殿・長谷式部殿へ書状進之候…当手ニ御町場水かへなと之事相澄之由候…」	大坂城普請
60	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	400	3	297	六月一日	吉川広家書状	広家	二兵介(二宮長実)	「…御普請之様如何被仰付候之哉…」	
61	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	401	3	298	(文禄五年カ)二月二日	吉川広家書状	(広家)	松安(松岡長佳)・二兵介(二宮長実)	「…于今普請場不被相渡候…伏見儀候間…」	伏見城普請
62	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	407	3	301	十二月十八日	周防永興寺上葺入目付立	香川十郎右衛門尉・桑原久左衛門	二宮兵介	「…右ハ大工普請衆遣申飯米方…」	
63	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	408	3	303	(元和六年)三月十一日	毛利秀就書状	(毛利秀就)	二宮兵介(長実)・栗屋七郎兵衛(家林)	「…其地御普請ニ付而別而肝煎苦勞之通…濃州へも申達候…」	大坂城普請
64	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	409	3	303	(元和六年)五月廿六日	毛利秀就書状	(秀就)	二宮兵介(長実)	「…其地御普請之儀、濃州(広正)家中衆別而肝煎之通…」	大坂城普請
65	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	412	3	306	六月七日	吉川広家書状	広家	二宮兵介(長実)	「…内々仕置等無油断申付候…」	
66	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	415	3	308	九月廿八日	吉川広家自筆書状	蔵広家	左京・兵介・七郎兵衛	「…屋敷普請之者も辛勞仕由…」	
67	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	421	3	311	(元和六年)九月十一日	吉川如兼(広家)書状	如兼	二兵介(二宮長実)	「…大坂御普請場絵図差越候…」	大坂城普請
68	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	425	3	313	(慶長廿年)六月十四日	吉川広家書状	広家	吉宗右(吉田家重)・二兵介(二宮長実)	「堤普請被 仰付、普請場在之由」	「…又次郎(広正)去六日京へ上候之由…」とあり吉川広正の上洛から慶長20年
69	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	426	3	314	五月廿五日	吉川広家書状	広家	松安右(松岡長佳)・祖九右(祖式長好)・二兵介(二宮長実)	「…就其城普請之人数引、河除之材木取せ申之由…」	
70	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	427	3	315	(元和六年)十月三日	吉川如兼(広家)書状	如兼	二兵介(二宮長実)	「…御普請又滞候由…美濃殿ニも此段申事ニ候…」	大坂城普請
71	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	434	3	319		吉川広家書状	広家	二兵介(二宮長実)	「…其後者御普請之趣無到来候…」	
72	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	445	3	327	正月廿七日	吉川広家書状	広家	二宮兵介(長実)	「…普請之趣先書ニ申越通聞届候、弥無緩可申付候…」	
73	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	450	3	329	十二月十九日	吉川広正書状	広正	山木工(山縣春実)・二兵介(二宮長実)	「…就馬嶋普請、別而肝煎候者…」	

74	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	451	3	330	三月十一日	吉川広正書状	広正	二兵介(二宮長実)	「…其地永々辛勞之儀ニ候、御普請之趣如何…」	
75	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	452	3	330	九月十一日	吉川広正書状	広正	二兵介(二宮長実)	「…各普請無案内なる者共ニ候故、前後埒明かね候間…」	
76	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	456	3	333	五月十六日	吉川広正書状	広正	二宮兵介(長実)	「…其地御普請、今程之趣承度候…」	
77	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	457	3	333	十月十六日	吉川広正書状	広正	吉宗右(吉田家重)・二兵介(二宮長実)・山木工(山県春実)	「…次ニ杣助事、相津へ石積為奉行可差遣候条、早々此地可罷帰候、将亦、式間石於其地も可成様ニ其聞え候…」	
78	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	458	3	334	十一月十一日	吉川広正書状	広正	二宮兵介(長実)	「…其方事内々普請肝煎之儀、相理申之通聞届候、乍去、来年之儀者、大役之事候…」	
79	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	465	3	338	(元和六年)閏極月十九日	吉川広正書状	広正	二兵介(二宮長実)	「…大坂行合之人数罷下之由可然候…」	大坂城普請
80	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	466	3	339	(慶長廿年)閏六月九日	吉川広正書状	広正	二兵介(二宮長実)	「…其地普請多分隙明候よし…御普請…」	閏6月・吉川広正の存命期間
81	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	467	3	339	(元和六年)十月廿九日	吉川広正書状	広正	二兵介(二宮長実)	「…去十八日御普請相調、従公儀御普請奉行衆返行被差出之由可然候…先以当年中御普請無事ニ相調…」	大坂城普請
82	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	502	3	355	十月十九日	吉川広正書状	広正	二兵介(二宮長実)	「…随而三景普請之者共…」	
83	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	526	3	369	五月三日	吉見(毛利)政春就頼書状	吉彦次郎政春	二兵介(二宮長実)・栗七郎兵衛(栗屋家林)	「…御普請漸可相調候哉…」	
84	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	559	3	386	十月十九日	柳沢景祐外一名連署状	山城守元信・柳新右衛門(柳沢景祐)	(吉川)広正様人々御中	「…此地御普請相調申候間…」	
85	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	568	3	409		吉川広家自筆書状	広家	祖九右(祖式長好)	「…殊作事結構に候…」	
86	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	570	3	410	正月十三 (ママ)	吉川広家書状	家(広家)	松安右(松岡長佳)・祖九右(祖式長好)・二兵介(二宮長実)	「…其元普請之義、定而早可相給と存候…」	
87	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	571	3	411	二月九日	吉川広家書状	家	松安右(松岡長佳)・祖九右(祖式長好)・二兵介(二宮長実)	「…其元普請無緩申付之由…」	
88	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	573	3	413		吉川広家自筆書状	家	祖九右(祖式長好)	「…普請別条も有間敷候之哉…」	
89	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	575	3	414	十二月七日	吉川広家自筆書状	家(広家)	祖九右(祖式長好)	「…其後普請以下無隙候、第一濃々可申題目も無之候故ニ相過之候…」	
90	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	578	3	417	(慶長十九年)十二月廿八日	吉川広家自筆書状	家(広家)	祖九右(祖式長好)・二兵介(二宮長実)	「…石かきくすし候へと被仰出候哉…」	大坂城城割
91	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	579	3	417	(慶長廿年)正月七日	吉川広家自筆書状		祖九(祖式長好)・二兵(二宮長実)	「…重而町場之儀之申越候通之普請方儀ニ用所之事可申越候…」	大坂城城割

92	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	580	3	418	(慶長廿年)正月十日	吉川広家自筆書状	家	祖九右(祖式長好)・二兵介 (二宮長実)	「…普請なをなを太儀共候、町場相調…」	大坂城城割
93	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	583	3	420	(慶長十一年)二月九日	吉川広家書状	広家	祖九(祖式長好)	「…昨日八日、大坂着候…御普請場いつれニ相定候哉…」	江戸城普請
94	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	584	3	420	(慶長十一年)卯月十六日	吉川広家自筆書状	家		「…夜半ほとまで之普請たるへきよし候…」	江戸城普請
95	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	589	3	424	(慶長十一年)六月廿八日	吉川広家自筆書状	広家	祖九右(祖式長好)	「…又石舟追到来候哉…」	江戸城普請
96	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	597	3	433	(慶長四年)卯月廿一日	吉川広家自筆書状	(広家)	祖九右(祖式長好)	「…普請も専ニ申付半候…」	
97	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	599	3	434		吉川広家自筆書状	(広家)	可九(祖式長好)・山九(山縣春佳)	「…作事方油断候てハ不可然候…」	
98	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	601	3	436	(文禄四年)十月十六日	吉川広家自筆書状	広家	安右(松岡長佳)・祖九右 (祖式長好)・与右・助右	「…普請以下も手堅申付之由、御感にて候…」	文禄の役
99	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	605	3	439	(文禄四年)卯月廿日	吉川広家書状	(広家)	松安(松岡長佳)・二兵(二宮長実)・祖九(祖式長好)	「其城普請之事見合、可有校了ためニ」	文禄の役
100	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	606	3	440	(慶長三年カ)十月九日	吉川広家自筆書状	(広家)	祖九右(祖式長好)	「…為兵介(二宮長実)易罷上之よし…其元普請之事之、無油断可被申付事尤候…」	
101	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	609	3	441	(慶長五年)九月十二日	吉川広家書状	(広家)	祖九右(祖式長好)	「…其地番衆普請等無緩之由肝要候…」	関ヶ原の戦い
102	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	614	3	445	(慶長七年カ)六月廿七日	吉川広家自筆書状	広家	祖式九右衛門尉(長好)・二宮兵介(長実)・原勘右衛門尉(景仍)	「…御普請急々依被仰出之…立節(繁沢元氏)之張場心付尤候…」	伏見城普請カ
103	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	615	3	446	(慶長七年カ)八月七日	吉川広家自筆書状	広家	祖九右(祖式長好)	「…今度上方普請早速相調…」	伏見城普請カ
104	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	618	3	447	七月廿六日	吉川広家自筆書状	(広家)	祖九右(祖式長好)	「…普請方之事、又ハ城番之儀候間…」	
105	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	621	3	449	十月廿七日	吉川広家自筆書状	(広家)	祖九右(祖式長好)	「…廣嶋ほり川普請之儀被仰出之由候…」	
106	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	624	3	451	(慶長五年)六月廿九日	吉川広家自筆書状	(広家)	祖九右(祖式長好)・宗源右	「…普請衆辛勞通可申聞候 / \ …」	「陣用意ニ取紛…来二日三日出陣と申事候…」とあり上杉征伐
107	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	625	3	452	(慶長五年)七月十日	吉川広家自筆書状	(広家)	祖九右(祖式長好)	「…其元堀の普請、やかてより相催尤候…」	「…内府(家康)御出馬此廿一日比との聞候間…」とあり上杉征伐
108	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	626	3	453	(慶長五年八月頃)	吉川広家自筆書状			「…城大分普請候間、せめ被崩候儀只今不成候…」	「…爰元之儀、伏見之城人数五六百にて家康者抱候…家康上之儀未聞候…人数追々罷上候由候…」とあり関ヶ原の戦い

109	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	630	3	457	(慶長五年カ)七月廿九日	吉川広家書状	(広家)	祖九右(祖式長好)	「…併普請之義肝煎憑入候、…」	「其許残置候者共、早速罷上、祝着候、其地弥可為少人数候…」とあり関ヶ原の戦い
110	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	631	3	458	(慶長五年)八月四日	吉川広家自筆書状	(広家)	土州(今田経忠)・大信・左馬助(桂春房)・祖九右(祖式長好)・井喜兵・有少	「…瀬田普請相調候て…」	「…伊勢へ相越、陣取先々見合候へとの事ニ付而…」(関ヶ原の戦い)
111	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	639	3	464	三月五日	吉川広家自筆書状	(広家)	九右衛門尉(祖式長好)・九左衛門尉(山県春往)	「…普請無油断申付之由候…」	
112	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	640	3	465	七月十七日	吉川広家自筆書状	(広家)	松安(松岡長佳)・二兵(二宮長実)・祖九右(祖式長好)	「…今日之地普請はか行候由肝要候…」	
113	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	641	3	466	(文禄三年)五月廿六日	吉川広家書状	(広家)	祖九右(祖式長好)	「…今度普請付而人数差出之馳走之段…、祝着候、手前提出来之条…」	伏見城普請カ
114	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	673	3	489	十一月廿九日	吉川広家自筆書状	(広家)	祖九右(祖式長好)	「…いつくしま石垣之事被仰越候…渡飛普請之事共ニ付…」	
115	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	674	3	490	十二月五日	吉川広家自筆書状	(広家)	祖九(祖式長好)・森四兵(森脇春貞)・二神左(二宮)	「…堀川普請無緩申付、過半相調之由肝要候…」	
116	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	675	3	491	(文禄三年)正月九日	吉川広家自筆書状	(広家)	祖九右(祖式長好)	「…二月廿日より京都之御普請にて候…其元御普請不相調候共…京都之御普請一日も遅々候へは…」	伏見城普請カ
117	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	676	3	492	(文禄三年)三月十六日	吉川広家自筆書状	(広家)	祖九右(祖式長好)	「…普請出来かね候…今度天下之外聞をうしない候はん事無念候…」	伏見城普請カ
118	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	677	3	493		吉川広家自筆書状			「…昨日も申候之ことく、手前普請 上様応御意候而…」	
119	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	678	3	494	(文禄五年)三月十六日	吉川広家自筆書状	(広家)	祖九右(祖式長好)・福与右(福富春昌)	「…大坂公儀御普請之儀付而…」	大坂城普請
120	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	689	3	503	七月十九日	吉川広家自筆書状	広家	祖九右(祖式長好)	「…石かきつきたて候ハヽ、一段と急々可成候間…」	
121	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	690	3	504	九月十七日	吉川広家書状	広家	祖九右(祖式長好)	「…御普請今程之様子具ニ可申越候…」	
122	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	695	3	507		吉川広家自筆書状		祖九右(祖式長好)	「…駿河普請之儀、讃談候而可然之候…」	
123	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	696	3	507	(慶長八年カ)七月十六日	吉川広家自筆書状	広家		「…御普請手堅候て、迷惑之程令察候計候…」	江戸城下普請カ
124	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	698	3	508	(慶長八年カ)五月廿七日	吉川広家書状	広家	祖九右(祖式長好)	「…当城普請之儀、各無緩之通尤候、又小普請等并風呂之儀も被申付之由可燃候…」	江戸城下普請カ
125	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	699	3	509	(慶長八年カ)七月十一日	吉川広家自筆書状	広	祖九右(祖式長好)	「…普請方長々苦劳段不及是非候…城之普請大篇候間…公儀并天下之事無異事候…」	江戸城下普請カ
126	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	707	3	515	慶長五年七月七日	吉川広家自筆普請法度	(広家)		「一、普請自身可相詰事」	

127	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	711	3	522	(慶長廿年)六月廿二日	吉川広家書状	蔵人広家	吉隼人(今田家成)・同勘左(吉川経実)・同内記(益田家敬)・同左京(香川家景)・宗尤(香川春継)・今下(今田春政)・吉宗右(吉田家重)・松安右(松岡長佳)・祖九右(祖式長好)・伊備前・二兵介(二宮長実)・原勘右(景仍)	「…御普請弥あたり候由、其聞え候…」	
128	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	722	3	531	二月廿日	吉川広家書状	広家		「…普請人数重而差下候…」	
129	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	723	3	531	三月九日	吉川如兼(広家)・吉見(毛利)就頼連署状	如兼・彦次郎(就頼)	富川七兵衛	「…其元ニ居候普請者共ニ心付候由…」	
130	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	724	3	532	五月廿七日	吉川広家書状	広家	戸七兵へ	「…其元御普請ニ永々辛勞之段、察入候…」	
131	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	725	3	533	卯月廿二日	吉川如兼書状	如兼	戸七兵衛	「…其元材木為肝煎罷越之通…」	
132	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	729	3	535	九月廿四日	吉川家老臣連署奉書	祖九右・長好・杉四郎左	戸川七兵衛	「…御方去年十月より江戸被罷下候、此節迄御普請等無緩被申付候段…」	
133	大日本古文書 家わけ 第九 吉川家文書別集	732	3	538	元和七年八月二日	吉川広正掟書	広正	戸川七兵衛	「…萩御普請奉行可任御下知事…」	

『大日本古文書』家わけ第十 小早川家文書

No	書名	番号	冊	頁	年月日	文書名	差出	充所	備考①	備考②
1	大日本古文書 家わけ 第十一 小早川家文書之一	148	1	139	(慶長十一年)七月廿七日	吉川広家自筆書状	吉蔵人広家	棕次郎左(棕梨景良)	「…吾等事江戸明隙罷下候…江戸御普請取紛…」	江戸城普請
2	大日本古文書 家わけ 第十一 小早川家文書之一	299	1	274	(天正廿年)五月十六日	豊臣秀吉朱印状	(秀吉)	羽柴小早川侍従	「…都之内御座所普請之儀…」	文禄の役、漠城の秀吉御座所の普請
3	大日本古文書 家わけ 第十一 小早川家文書之一	301	1	276	(文禄二年)五月廿二日	豊臣秀吉朱印状	(秀吉)	羽柴小早川侍従	「…其上城々普請等、入情可被申付候…」	文禄の役
4	大日本古文書 家わけ 第十一 小早川家文書之一	316	1	287	(～文禄四)極月廿七日	豊臣秀吉朱印状	(秀吉)	羽柴筑前侍従	「…筑州多々羅川ニ橋可懸之用意由…川面間遠不及橋所候条、無用候、殊更方々普請等彼是不可有手透候間…」	多々羅川架橋の普請、小早川隆景は慶長元年6月12日歿、加藤らは日本にいる、文禄の役後カ
5	大日本古文書 家わけ 第十一 小早川家文書之一	323	1	292	(天正廿年)六月三日	豊臣秀吉朱印状	(秀吉)	羽柴小早川侍従	「…高麗国代官所儀…大明江道筋御座所普請申付…」	文禄の役
6	大日本古文書 家わけ 第十一 小早川家文書之一	326	1	294	(文禄二年)七月廿七日	豊臣秀吉朱印状	(秀吉)	羽柴小早川侍従	「…弥普請入念申付、城持共悉有付候て…」「…各可帰朝之由…則渡海舟番折之次第…」	文禄の役
7	大日本古文書 家わけ 第十一 小早川家文書之一	330	1	298	(文禄二年)八月六日	豊臣秀吉朱印状	(秀吉)	羽柴小早川侍従・羽柴久留目侍従・羽柴柳川侍従・高橋主膳正・筑紫上野介	「…普請出来候者、其普請衆一日薪をさせ…」	文禄の役

8	大日本古文書 家わけ第十一 小早川家文書之一	349	1	312	(文禄二年)七月十三日	豊臣秀吉朱印状	(秀吉)	羽柴小早川侍従	「丈夫ニ普請可申付候…普請出来候ハヽ、重而可遣者ヲ可差返候」	文禄の役
9	大日本古文書 家わけ第十一 小早川家文書之一	350	1	313	(文禄二年)後九月廿五日	豊臣秀吉朱印状	(秀吉)	羽柴小早川侍従	「…かとかい(加徳)の城普請等丈夫申付、無異儀帰朝之由…」	閏9月・文禄の役
10	大日本古文書 家わけ第十一 小早川家文書之一	365	1		(天正十六年)十月廿二日	豊臣秀吉朱印状	(秀吉)	羽柴筑前侍従	「…大仏殿材木之義、入精之由、是又尤候…」	方広寺大仏殿作事
11	大日本古文書 家わけ第十一 小早川家文書之一	368	1	323	(文禄二年)八月六日	豊臣秀吉朱印状	(秀吉)	羽柴小早川侍従	「…各請取城普請於出来者、一日ばい木を仕、城中ニにほのことく、いく所にも積候て…」	文禄の役
12	大日本古文書 家わけ第十一 小早川家文書之一	376	1	329	(文禄五年カ)八月十五日	豊臣秀吉朱印状	(秀吉)	羽柴三原中納言	「…当時作事之砌、一段重宝之候…」	小早川家文書之一425号と関連
13	大日本古文書 家わけ第十一 小早川家文書之一	378	1	329	(天正十七年カ)二月十一日	豊臣秀吉朱印状	(秀吉)	羽柴筑前侍従	「…大仏材木之義、無緩津出之旨…」	方広寺大仏殿作事
14	大日本古文書 家わけ第十一 小早川家文書之一	381	1	331	(天正十六年)十月五日	豊臣秀吉朱印状	(秀吉)	羽柴筑前侍従	「…大仏材木之事、不可有由断之由…」	方広寺大仏殿作事
15	大日本古文書 家わけ第十一 小早川家文書之一	422	1	369	(文禄二年)七月廿九日	豊臣氏奉行連署状	長東大蔵太輔正家・山中橋内長俊・木下半介吉隆	隆景	「…御普請出来次第、貴殿も先可被成御帰朝之旨…早々御帰朝奉待候…」	文禄lの役
16	大日本古文書 家わけ第十一 小早川家文書之一	438	1	382	(天正十五年)八月六日	豊臣秀吉朱印状	(秀吉)	小早川左衛門佐	「…弥其城普請等事、念を入可申付候…」	隈部親永の成敗に関連
17	大日本古文書 家わけ第十一 小早川家文書之一	464	1	402	(天正十五年)三月廿六日	豊臣秀吉朱印状	(秀吉)	小早川左衛門佐	「…殊三原普請等、彼是被入念候儀…」	秀吉の九州征伐
18	大日本古文書 家わけ第十一 小早川家文書之一	468	1	405	(天正十五年)卯月廿一日	豊臣秀吉朱印状	(秀吉)	小早川左衛門佐・吉川治部少輔	「…当地御普請等出来候間…」	秀吉の九州征伐
19	大日本古文書 家わけ第十一 小早川家文書之一	495	1	468	(天正十六年カ)五月廿五日	豊臣秀吉直書	(秀吉)	小早川左衛門佐	「…大仏殿材木註文遣之條…」	方広寺大仏普請
20	大日本古文書 家わけ第十一 小早川家文書之一	501	1	473	(天正廿年)三月十三日	豊臣秀吉朱印状	(秀吉)	羽柴小早川侍従・羽柴久留目侍従・羽柴柳河侍従・高橋主膳正・築(筑)紫上野介	「…馬者高麗へ罷越候ても、普請之間者不入事…悉なこや(名護屋)ニ在陣可仕候…」	文禄の役
21	大日本古文書 家わけ第十一 小早川家文書之一	509	1	485	文禄貳年七月廿七日	豊臣秀吉朱印状	(秀吉)	小早川侍従	「…何時成共、普請出来候て、人数帰朝候時より…」	文禄の役
22	大日本古文書 家わけ第十一 小早川家文書之一	512	1	493	(天正十六年)閏五月十四日	豊臣秀吉朱印状	(秀吉)	小早川左衛門佐	「…つくしの内肥後国よき国ニ候間、一国被仰付…普請等まで被仰付、陸奥ニ被下候事…」	佐々成政による肥後国の普請
23	大日本古文書 家わけ第十一 小早川家文書之二附録浦家文書	5	2	383	(天正廿年)三月十三日	豊臣秀吉朱印状写	(秀吉)	小早川左衛門佐カ	「…渡海之者共申談、普請申付、輝元隆景可在城事…」	文禄の役
24	大日本古文書 家わけ第十一 小早川家文書之二附録浦家文書	8	2	387	(文禄二年)七月十四日	豊臣氏奉行連署奉書写	木下半介吉隆・山中橋内長俊・長東大蔵太輔正家	隆景	「…御仕置之普請…」	文禄の役

25	大日本古文書 家わけ 第十一 小早川家文書 之二附録浦家文書	2	2	410		沼田小早川家系図				「…同年(天正十五年)築新城於名嶋移居之…」	筑前名島城普請
26	大日本古文書 家わけ 第十一 小早川家文書 之二附録浦家文書	12	2	512	(～慶長二年)二月廿四日	穂田(毛利)元清書状写	治部太輔元清(穂田)	真与三右		「…其元御普請之儀、能程相調之由…是者先度於幸山普請配所申…」 「…是者先度於幸山普請所申…」	備中幸山城カ(小早川隆景が天正十年の高松城水攻めの際に在城)
27	大日本古文書 家わけ 第十一 小早川家文書 之二附録浦家文書	29	2	23	(天正十四年)二月五日	小早川隆景自筆書状	隆景	乃美(宗勝)		「一、曾根(伊予)・恵良しらされ三ヶ所之儀者破却ニ相澄…」 「一普請配ハ道後之奉行衆と、昨今以来申談…」	伊予曾根城城割
28	大日本古文書 家わけ 第十一 小早川家文書 之二附録浦家文書	39	2	31	(天正十四年カ)三月四日	小早川隆景自筆書状	隆景	乃兵		「普請之儀…当国衆への配…」	伊予曾根城城割カ
29	大日本古文書 家わけ 第十一 小早川家文書 之二附録浦家文書	45	2	73	(天正四年)十月廿二日	無庵紹意書状写	無庵紹意	宗勝参人々御中		「…不叶普請被申付之…」	
30	大日本古文書 家わけ 第十一 小早川家文書 之二 小早川証文	214	2	97	六月十九日	乃美是景書状写	是景	頭殿		「就 御作事之儀、西堂我等存分之通…」	方広寺大仏普請カ

『大日本古文書』家わけ第十二 上杉家文書

No	書名	番号	冊	頁	年月日	文書名	差出	充所	備考①	備考②
1	大日本古文書 家わけ 第十二 上杉家文書之 二	689	2	100	(天正七年)九月十七日	武田勝頼書状	(武田)勝頼	上杉(景勝)	「…於豆州境、新城相築候、普請任存分、成就候之間、可御心易候…」	武田勝頼による伊豆境の城普請
2	大日本古文書 家わけ 第十二 上杉家文書之 二	736	2	136	(天正九年)十一月十日	武田勝頼書状	(武田)勝頼	上杉(景勝)	「…新館之普請、令出来之旨、被聞召及…」	武田勝頼による甲斐韮崎新館の普請
3	大日本古文書 家わけ 第十二 上杉家文書之 二	740	2	139	(天正十年)二月一日	上條宜順自筆書状	(上條)宜順	直江与六(兼続)	「一山之下御普請、早々於御働者、御陣中御取立之事…」	
4	大日本古文書 家わけ 第十二 上杉家文書之 二	749	2	145	(天正十年)二月廿二日	菅名綱輔書状	菅名但馬守綱輔	直江与六(兼続)	「…将亦、御当地御番手堅致之候、御普請之儀、如形相調申候…」	
5	大日本古文書 家わけ 第十二 上杉家文書之 二	756	2	152	天正拾三月廿日	上杉景勝朱印状	(上杉景勝)	所々領主中	「為御宿作、御作事衆御越候、宿送式人可相調者也…」	
6	大日本古文書 家わけ 第十二 上杉家文書之 二	758	2	153	(天正十年カ)四月一日	上條宜順自筆書状	(上條)宜順	直江与六(兼続)	「…地利之御普請被成定、境目之御仕置被 仰付、肝要奉存之旨、御取成奉頼存候…」	
7	大日本古文書 家わけ 第十二 上杉家文書之 二	760	2	155	—	直江兼続自筆書状	直江与六(兼続)	吉松	「…御普請之儀、たゞいまはいかんとして可被成置候、第一ハ人足無之、また御人数も無之候条…」	
8	大日本古文書 家わけ 第十二 上杉家文書之 二	778	2	174	正月廿二日	上條宜順自筆書状	上條入道宜順	直江山城守(兼続)	「…抑御普請之儀、尤無御余儀奉存候、本御軍役之様ニ可存候…」	

9	大日本古文書 家わけ 第十二 上杉家文書之二	790	2	184	(天正十二年力)九月廿二日	栗田永寿外二名連署状	嶋津淡路守忠直・岩井備中守信能・栗田永寿	直江山城守(兼統)	「…然而、伊勢崎御普請、寸隙不存油断致之候…」	信濃伊勢崎普請
10	大日本古文書 家わけ 第十二 上杉家文書之二	791	2	184	(天正十二年力)九月廿三日	須田満親書状	須田相模守満親	直江山城守(兼統)	「…御普請何れも無如在相稼候…」	信濃伊勢崎普請
11	大日本古文書 家わけ 第十二 上杉家文書之二	792	2	185	(天正十二年力)九月廿五日	栗田可休書状	栗田入道可休	直江山城守(兼統)	「…仍伊勢崎御普請之儀、各々如在不存候、様子御使者見聞被申条、不及言上候…」	信濃伊勢崎普請
12	大日本古文書 家わけ 第十二 上杉家文書之二	831	2	217	(天正十六年)五月六日	黒金景信書状	黒金上野介景信	泉澤河内守(久秀)	「…御当地被 仰置御普請御番、皆々談合仕、不存油断候…」	
13	大日本古文書 家わけ 第十二 上杉家文書之二	844	2	226	(天正十八年)七月六日	豊臣秀吉朱印状	豊臣秀吉	羽柴越後宰相中将(上杉景勝)・羽柴越中侍従(前田利長)・木村常陸介(木村重茲)・山崎志摩守(片家)	「…忍面堤体可被成御見物候条、普請等由断、能々可申付候…」	忍堤普請
14	大日本古文書 家わけ 第十二 上杉家文書之二	846	2	227	(天正十八年)九月十二日	豊臣秀吉朱印状	豊臣秀吉	羽柴越後宰相中将(上杉景勝)	「…葛西之内柏山在陣、則彼地普請申付由…」	
15	大日本古文書 家わけ 第十二 上杉家文書之二	855	2	232	(文禄二年)九月廿九日	豊臣秀吉朱印状	豊臣秀吉	羽柴越後宰相中将(上杉景勝)	「朝鮮熊川普請、悉出来付而、早々帰朝之由…」	文禄の役
16	大日本古文書 家わけ 第十二 上杉家文書之二	858	2	234	(文禄三年)正月十九日	豊臣秀吉朱印状	豊臣秀吉	羽柴越後宰相(上杉景勝)	「於伏見惣構堀普請、従来月十日可被仰付之条…」	伏見惣構普請
17	大日本古文書 家わけ 第十二 上杉家文書之二	859	2	235	(文禄三年力)五月三日	石田正澄書状	石田木工頭正澄	(上杉)景勝	「…大坂御普請、彼是不得隙候故、其元へも不罷上付て…」	大坂城普請
18	大日本古文書 家わけ 第十二 上杉家文書之二	889	2	256	(慶長十六年力)	禁裏御普請割覚	—	—	「禁中様御普請割覚」	禁裏普請
19	大日本古文書 家わけ 第十二 上杉家文書之二	890	2	257	(慶長十八年)十月廿四日	直江重光自筆書状	(直江)山城守重光	平八(直江景明)	「来春於越後御普請故、当年御参府御無用之段、御触状下着…」	越後高田城普請
20	大日本古文書 家わけ 第十二 上杉家文書之二	891	2	258	(慶長十八年)十月廿九日	直江重光自筆書状	(直江)山城守重光	平八(直江景明)	「先書如申遣候、来年越後之御普請付而、当年悠々 与御休息…」	越後高田城普請
21	大日本古文書 家わけ 第十二 上杉家文書之二	899	2	266	八月六日	直江重光自筆書状	(直江)山城守重光	平八(直江景明)	「…其元作事用心不可有油断候…」	
22	大日本古文書 家わけ 第十二 上杉家文書之二	919	2	278	(元和八年十一月廿一日)	徳川秀忠御内書	徳川秀忠	米澤中納言(上杉景勝)	「今度当城普請之儀、入念依被申付、早速出来…」	江戸城普請
23	大日本古文書 家わけ 第十二 上杉家文書之二	944	2	317	—	城取法覚	—	—	「…不断ハ普請以下ノため、弓矢之時ハ二方の板橋…」	
24	大日本古文書 家わけ 第十二 上杉家文書之二	953	2	398	延宝八年五月	上杉家古案改帳	—	—	「一天正四年起請文御作事ニ付」	
25	大日本古文書 家わけ 第十二 上杉家文書之二	958	2	427	—	上杉家両掛懸硯并古状筆筭入日記	—	—	「一禁中御普請割覚書」	
26	大日本古文書 家わけ 第十二 上杉家文書之三	1056	3	106	—	上杉景勝自筆書状	実城(上杉景勝)	上條(宜順)	「…菟角、信州の普請成之尤…」	

27	大日本古文書 家わけ 第十二 上杉家文書之三	1059	3	109	—	上杉景勝自筆書状	実城(上杉景勝)	上條(宜順)	「…関東動之儀□かねて申ことく、則普請可申付…」	
28	大日本古文書 家わけ 第十二 上杉家文書之三	1093	3	144	(慶長五年)三月廿一日	徳川秀忠書状	江戸中納言(徳川)秀忠	会津中納言(上杉景勝)	「…然ハ其元御普請以下被仰付由、尤存候…」	
29	大日本古文書 家わけ 第十二 上杉家文書之三	1195	3	242	天正四年五月二日	安田頼家・三好家慶連署起請文	三好又五郎家慶・安田与左衛門頼家	喜四郎(吉江資堅)	「…こんど御さくちにさしおかれへきよし…」	
30	大日本古文書 家わけ 第十二 上杉家文書之三	1198-19	3	260	(天正十一年)卯月十七日	上杉定勝自筆古案集	(上杉)景勝	秋山伊賀守(定綱)	「…乍太儀早々相移、用心普請嚴重ニ可相勤候…」	
31	大日本古文書 家わけ 第十二 上杉家文書之三	1198-20	3	260	天正十一年卯月廿三日	上杉定勝自筆古案集	(御朱印)	秋山伊賀守(定綱)	「…用心普請等嚴重可相勤者也…」	
32	大日本古文書 家わけ 第十二 上杉家文書之三	1198-52	3	279	天正九年九月廿八日	上杉定勝自筆古案集	御朱印	—	「一用心普請等、油断なく可致之事」	
33	大日本古文書 家わけ 第十二 上杉家文書之三	1198-57	3	282	(天正六年)七月五日	上杉定勝自筆古案集	(上杉)景勝	登坂与右衛門尉・樋口主水助・深澤刑部少輔(利重)	「…其地普請之義も、以前与右衛門尉ニ如申越、日々無如在可申付候…」	
34	大日本古文書 家わけ 第十二 上杉家文書之三	1198-62	3	285	天正八年七月十五日	上杉定勝自筆古案集	(上杉)景勝	佐藤甚介(忠久力)	「…用心普請以下嚴重可致之者也…」	
35	大日本古文書 家わけ 第十二 上杉家文書之三	1198-66	3	287	(天正八年)五月十八日	上杉定勝自筆古案集	(上杉)景勝	大関弥七(親憲)・深澤刑部少輔(利重)・栗林治部少輔(政頼力)・登坂与五郎(清忠)・安部二介・長尾平五郎(景憲)	「…昼夜用心普請油断有之間敷候…」	
36	大日本古文書 家わけ 第十二 上杉家文書之三	1198-81	3	297	六月十六日	上杉定勝自筆古案集	(上杉)謙信	栗林二郎左衛門(房頼)	「…然処市川新地之普請出来之由…永々陳劳重而普請申付…」	信濃市川新地普請
37	大日本古文書 家わけ 第十二 上杉家文書之三	1198-101	3	308	(天正六年)九月八日	上杉定勝自筆古案集	(上杉)景勝	小森澤刑部少輔(政秀)・金子二郎右衛門	「…其地普請用心、昼夜之氣遣、不可有油断候」	
38	大日本古文書 家わけ 第十二 上杉家文書之三	1198-129	3	317	(天正八年)七月六日	上杉定勝自筆古案集	(上杉)景勝	上村彦右衛門尉(尚秀)・廣居善右衛門尉(忠家)・岩井民部少輔(信能)	「…然者爰元普請出来候間、二三日中ニ栃尾へ可打越候…」	越後三条城普請
39	大日本古文書 家わけ 第十二 上杉家文書之三	1198-130	3	318	天正十年八月八日	上杉定勝自筆古案集	御朱印	岩井備中守(昌能)・同民部少輔(信能)	「一普請常ニ可心懸…付、城普請之刻、人脚以下祢津ニ勝頼可為如被申付事…」	
40	大日本古文書 家わけ 第十二 上杉家文書之三	1198-138	3	323	天正十二年六月廿七日	上杉定勝自筆古案集	御朱印	松田織部佐(盛直)	「…用心普請不可有油断者也…」	
41	大日本古文書 家わけ 第十二 上杉家文書之三	1198-141	3	325	天正十二年五月十七日	上杉定勝自筆古案集	御朱印	保科豊後守(正俊力)	「就稻荷○之地在城申付…用心普請嚴重ニ可相勤之者也」	
42	大日本古文書 家わけ 第十二 上杉家文書之三	1198-150	3	329	(天正十一年)八月一日	上杉定勝自筆古案集	(上杉)景勝	綱嶋豊後守(頼繁)	「仍其地用心普請、昼夜無油断令懃仕之由…」	
43	大日本古文書 家わけ 第十二 上杉家文書之三	1198-165	3	335	(天正八年)七月十七日	上杉定勝自筆古案集	(上杉)景勝	内田伝丞(長吉)	「…然者爰元両地普請悉出来候、仕置何も手堅申付、二三日中ニ可納馬候…」	越後三条城・栃尾城普請

44	大日本古文書 家わけ第十二 上杉家文書之三	1198-169	3	337	(慶長五年)二月二日	上杉定勝自筆古案集	(上杉)景勝	安田上総介(能元)・岩井備中守(信能)・大石播磨守(元綱)	「…并普請作事去年申付候通、急度成就専一候、仙道筋城々普請春夏之間相究…」	陸奥仙道筋諸城普請
45	大日本古文書 家わけ第十二 上杉家文書之三	1198-192	3	351	(元龜三年)十月六日	上杉定勝自筆古案集	(上杉)景勝	鮎川孫次郎(盛長)	「…其地普請用心油断有間敷候…」	
46	大日本古文書 家わけ第十二 上杉家文書之三	1198-194	3	352	(元龜元年カ)五月二十七日	上杉定勝自筆古案集	(上杉)景勝	鮎川孫次郎(盛長)	「…其地用心普請、昼夜油断有間敷候…」	
47	大日本古文書 家わけ第十二 上杉家文書之三	1199-15	3	377	寛永十三年正月八日	上杉定勝自筆古案集	—	—	「一普請中、人返之儀、令停止之訖…」	江戸城普請、掟書
48	大日本古文書 家わけ第十二 上杉家文書之三	1199-33	3	401	—	上杉定勝自筆古案集	—	—	「一知行請取依頼者、京都・江戸の軍役番・普請申付候と云共、至其時借錢無之候者罷成間敷などゝ難渋申間敷候…」	掟書
49	大日本古文書 家わけ第十二 上杉家文書之三	1199-47	3	417	寛永十三年正月九日	上杉定勝自筆古案集	—	—	「一御普請中如何様之儀有之共、申分仕間敷事」	江戸城四谷堀普請、掟書

『大日本古文書』家わけ第十四 熊谷家文書・三浦家文書・平賀家文書

No	書名	番号	冊	頁	年月日	文書名	差出	充所	備考①	備考②
1	大日本古文書 家わけ第十四 第一 熊谷家文書	179	1	167	(慶長八年)正月十二日さるの刻	毛利宗瑞輝元書状	宗瑞	熊豊(元直)	「…為普請奉行可差下之間、二月ニ江戸下着候て、右之御普請町場、被請取候やうに、可有用意候…」	江戸城下普請
2	大日本古文書 家わけ第十四 第二 三浦家文書	116	1	411	—	毛利輝元自筆覚書	—	—	「…普請万心入、あてかい之所可申付事…」	
3	大日本古文書 家わけ第十四 第二 三浦家文書	180	1	462	(文禄二年)七月十九日	三浦元忠自筆書状	ひやうこの頭元忠	長山(元忠夫人)	「ふさんかい(釜山海)御ふしん相とゝのい申候者、 殿様ハ御帰てうたるへきと相きこへ申候」	文禄の役
4	大日本古文書 家わけ第十四 第三 平賀家文書	166	1	625	(～寛永元年)五月十五日	毛利輝元書状	(輝元)	平賀清兵衛尉(元忠)	「…其表御普請、此方手前之儀、各無緩之由肝要候…」	元忠は寛永元年九月三日没(248号・平賀氏系譜)
5	大日本古文書 家わけ第十四 第三 平賀家文書	187	1	650	(～寛永元年)卯月十二日	毛利秀就書状	(秀就)	平賀清兵(元忠)	「…今度御普請ニ付而、其元被罷上之由…」	元忠は寛永元年九月三日没(248号・平賀氏系譜)
6	大日本古文書 家わけ第十四 第三 平賀家文書	219	1	669	(～寛永元年)六月廿日	毛利秀元書状	宰相秀元	平賀清兵(元忠)	「…御普請早速相調之由、尤珍重ニ候、重而御普請之趣承度候…」	元忠は寛永元年九月三日没(248号・平賀氏系譜)
7	大日本古文書 家わけ第十四 第三 平賀家文書	229	1	676	(慶長十二年)十月十二日	井原元以福原広俊連署状	福越後守広俊・井四郎右衛門尉元以	佐長様(佐世元嘉)・榎中太様(榎本元吉)	「駿府御普請相澄候之条…」	駿府城普請
8	大日本古文書 家わけ第十四 第三 平賀家文書	237	1	683	二月十日	福原広俊書状	福越後守広俊	平清兵様(元忠)人々御中	「…石銀三景之御普請など之入目、能々御校了候而…」	

『大日本古文書』家わけ第十五 山内首藤家文書

No	書名	番号	冊	頁	年月日	文書名	差出	充所	備考①	備考②
1	大日本古文書 家わけ第十五 山内首藤家文書	295	1	238	(天正十二年)卯月廿三日	熊谷信直書状	伊豆守信直	隆通	「…彼城普請驚目由申候…」	備中猿懸城

2	大日本古文書 家わけ第十五 山内首藤家文書	303	1	246	(天正十四年)三月十六日	小早川隆景書状	左衛門佐隆景	隆通	「…当時漆山之普請等相企半候…」・「…京都大坂所々御普請之由到来候…」	漆山城の普請、聚楽第普請、大坂城普請
3	大日本古文書 家わけ第十五 山内首藤家文書	420	1	348	(慶長二年)十月十八日	山内広通書状	広通	佐藤肥後守	「…去十二日至固城罷出候、当城之普請半候…」	慶長の役
4	大日本古文書 家わけ第十五 山内首藤家文書	430	1	379	慶安四年五月七日	山内元資他国自身役目勤仕月数書上	山内治部少輔		「…寛永五年二月二日ニ、大坂御普請ニ御国罷立…」	寛永五年の大坂城普請への出役
5	大日本古文書 家わけ第十五 山内首藤家文書	554	1	523	(天正十八年カ)十二月十二日	穂田毛利元清書状写	元清	谷玄審(蕃)允	「今度当城御普請中、御方之儀、拙而被肝煎之段、申も疎候…」	「…廣嶋御城普請之時は、元清普請奉行タリ…」と注記あり、広島城普請の完了は天正十八年末であるため同年か

『大日本古文書』家わけ第十六 島津家文書

No	書名	番号	冊	頁	年月日	文書名	差出	充所	備考①	備考②
1	大日本古文書 家わけ第十六 島津家文書之一	353	1	348	天正十六年七月日	豊臣秀吉掟書	(秀吉)	—	「今度大仏御建立候釘かすかいに被仰付へく」	刀狩、方広寺大仏殿建立
2	大日本古文書 家わけ第十六 島津家文書之一	360	1	354	(天正廿年)正月十九日	豊臣秀吉朱印状	(秀吉)	羽柴薩摩侍従(義弘)・嶋津修理大夫入道(義久)	「一国義弘仁被仰付上者、陣普請等一手仁可相勤候」	文禄の役
3	大日本古文書 家わけ第十六 島津家文書之一	373	1	363	正月廿日	豊臣秀吉朱印状	(秀吉)	嶋津修理大夫入道(義久)	「就大仏材木之儀、対伊集院右衛門大夫入道…被成下御書候」	方広寺大仏普請
4	大日本古文書 家わけ第十六 島津家文書之一	375	1	364	六月廿五日	豊臣秀吉朱印状	(秀吉)	嶋津修理大夫入道(義久)	「大仏殿柱之木式本被指上候」	方広寺大仏普請
5	大日本古文書 家わけ第十六 島津家文書之一	381	1	371	天正十六後五月十四日	豊臣秀吉朱印状	(秀吉)	嶋津兵庫頭(義弘)	「…肥後国よき国に候間、一国被仰付、…普請等被仰付、陸奥守(佐々成政)ニ被下候事」	
6	大日本古文書 家わけ第十六 島津家文書之一	388	1	380	天正廿年卯月廿六日	豊臣秀吉掟書	(秀吉)	羽柴薩摩侍従(義弘)	「…御座所之普請可仕之旨、可申渡候…」	文禄の役
7	大日本古文書 家わけ第十六 島津家文書之一	397	1	386	(文禄二年)九月廿三日	豊臣秀吉朱印状	(秀吉)	羽柴薩摩侍従(義弘)	「…其方手前居城普請等之儀、度々如被仰遣候、弥入念丈夫ニ可申付候…」	文禄の役
8	大日本古文書 家わけ第十六 島津家文書之一	402	1	392	慶長二年二月廿一日	豊臣秀吉高麗再度出勢法度	(秀吉)	羽柴薩摩侍従(義弘)	「…多分に付而城主を定、即普請等之儀、為帰朝衆令割符…」	慶長の役
9	大日本古文書 家わけ第十六 島津家文書之一	404	1	402	(文禄三年)二月廿八日	豊臣秀吉朱印状	(秀吉)	嶋津兵庫頭(義弘)	「…為番替福嶋左衛門大夫被差遣候条、被仰出候、其城普請等丈夫ニ申付…」	文禄の役
10	大日本古文書 家わけ第十六 島津家文書之一	405	1	405	(文禄三年)卯月十六日	豊臣秀吉朱印状	(秀吉)	羽柴薩摩侍従(義弘)	「…其地在番永々辛劳共候、弥普請番等、無由断可申付候…」	文禄の役
11	大日本古文書 家わけ第十六 島津家文書之一	410	1	405	(文禄二年)八月六日	豊臣秀吉朱印状	(秀吉)	羽柴薩摩侍従(義弘)	「…普請出来候ハヽ、其普請衆一日薪をさせ、はい木仕、にほのことく城中ニ積候て…」	文禄の役
12	大日本古文書 家わけ第十六 島津家文書之一	416	1	409	(文禄三年)十一月十日	豊臣秀吉朱印状	(秀吉)	羽柴薩摩侍従(義弘)	「…其表長々在陣、辛劳思食候、然者、普請以下丈夫ニ可申付候…」	文禄の役

13	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之一	417	1	410	(文禄三年)十二月廿日	豊臣秀吉朱印状	(秀吉)	羽柴薩摩侍従(義弘)	「…永々在番辛勞至候、番普請等無由断旨、被聞召届候…」	文禄の役
14	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之一	419	1	411	(文禄三年)正月十六日	豊臣秀吉朱印状	(秀吉)	羽柴薩摩侍従(義弘)	「…不殘令在京、普請等被仰付候…」	文禄の役
15	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之一	420	1	413	(慶長三年)正月十七日	豊臣秀吉朱印状	(秀吉)	羽柴薩摩侍従(義弘)	「…然者、仕置之城々普請、弥丈夫ニ申付…少も無氣遣様可令覚悟候…其上普請申付候而より、可致帰朝由、被仰遣候条、可成其意候…」	慶長の役
16	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之一	421	1	414	(文禄四年)正月廿八日	豊臣秀吉朱印状	(秀吉)	羽柴薩摩侍従(義弘)	「…其表為見廻…長々在番辛勞不被及是非候、殊普請以下丈夫ニ申付、番等無由断趣、被聞召届候…」	文禄の役
17	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之一	422	1	414	(慶長三年)七月十七日	豊臣秀吉朱印状	(秀吉)	羽柴薩摩侍従(義弘)	「…其表之儀普請以下丈夫ニ出来之由、被聞召届候…」	慶長の役
18	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之一	424	1	415	(文禄二年)九月七日	豊臣秀吉朱印状	(秀吉)	嶋津兵庫頭(義弘)	「…然者、城々普請番等丈夫ニ被仰付候条、存其旨、手前之人數半分、慥朝鮮ニ相詰、可令在番候…」	文禄の役
19	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之一	432	1	421	(慶長三年)正月十七日	豊臣秀吉朱印状	(秀吉)	嶋津又八郎(家久)	「…其上普請申付候而より、可致帰朝旨、被仰遣候条、可成其意候…」	慶長の役
20	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之一	433	1	422	(慶長三年)正月廿七日	豊臣秀吉朱印状	(秀吉)	羽柴薩摩侍従(義弘)・嶋津又八郎(家久)	「…城々普請弥丈夫ニ申付、可致在番候…」	慶長の役
21	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之一	434	1	423	(慶長三年)三月十三日	豊臣秀吉朱印状	(秀吉)	羽柴薩摩侍従(義弘)・嶋津又八郎(家久)	「…今度仕置城々之儀…然処、蔚山城普請已下不相調、玉薬未入置刻、大明朝鮮之一揆同前之者共罷出、城を責そこない、敗軍仕候間…」	慶長の役
22	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之二	773	2	111	天正十六年七月日	豊臣秀吉掟書	(秀吉)	—	「…右とりをかるへき刀・わきさし・ついゑにさせらるへきにあらず、今度大仏御建立候釘・かすかい等に被仰付へし」	刀狩、方広寺大仏普請
23	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之二	937	2	196	(寛永六年)三月十六日	徳川秀忠御内書	秀忠	薩摩中納言(家久)	「…就当地普請、角石如目録到来、悦入候…」	江戸城普請
24	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之二	954	2	210	文禄二年五月一日	豊臣秀吉朱印状案	御朱印(秀吉)	高麗在番衆中名付御使者へ申入候	「…城を拵候事ハ、よハミの時可持ために候処、おのか居城をさへ逃不入段、前代未聞之儀候へ共、被成御免…」	文禄の役
25	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之二	956	2	220	文禄二年七月廿七日	豊臣秀吉朱印状	(秀吉)	薩摩侍従	「…此兵糧ハ、蔵ニ可積置候、何時成共普請出来候て、人数帰朝候より十ヶ月分候間、可成其意候…」	文禄の役
26	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之二	959	2	237	(文禄二年)八月廿三日	石田三成覚書	石治(石田三成)	羽兵(義弘)	「…御手前御人数、普請ニすくなく罷出、一向無人之由、拙者付置候者共かたより申候…我等なども御ふちかた被下候程ハ、一人もゆるし候事無之、普請ニ出し申候事、」	文禄の役

27	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之 二	960	2	238	(文禄二年)九月十日	石田三成書状	石田治部少輔三 成	嶋津図書(忠長)・嶋津又四 郎(彰久)・北郷宗次郎(三 久)・伊集院源二郎(忠真)・ 入来院又六(重時)・嶋津源 七郎(忠仍)・種子嶋左近 (久時)・喜入摂津守(忠 政)・平田左馬助・伊勢弥九 郎(貞昌)・上井甚五郎(里 兼)・大野権右衛門・本田源 右衛門(親商)・河上左衛門 尉・河上四郎兵衛(忠兄)・ 敷祢藤左衛門尉・菱莉半右 衛門尉・伊地知縫殿助・伊 地知与兵衛(重頼)・税所越 前守(篤和)・本田与左衛門 (公親)・本田右衛門(正 親)・桂神祇(忠昉)	「…御普請番等之儀、此書立之衆として、義弘被得御意までも 無之、可被入念事…何も御普請当月中過候ハヽ、寒天ニむか い罷成間敷候間、可被差急候事…」	文禄の役
28	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之 二	962	2	242	(慶長二年)七月九日	大谷吉継(吉隆)書状	大谷刑部少輔吉 継	羽柴兵庫頭(義弘)	「伏見・京都御普請半候」	伏見城普請等
29	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之 二	988	2	278	(慶長二年)九月十六 日	宇喜多秀家外十四名 連署言上状案	備前中納言秀 家・蜂須賀阿波 守家政・小西摂 津守行長・薩摩 侍従義弘・土佐 侍従元親(長宗 我部)・吉川侍従 広家・生駒讃岐 守(一正)・鍋嶋 加賀守(直茂)・ 嶋津又八郎忠恒 (家久)・長宗我 部右衛門太郎 (盛親)・池田伊 予守(秀雄)・中 川修理大夫(秀 成)・熊谷内蔵允 直盛・早川主馬 首(長政)・垣見 和泉守一直	徳善院(玄以)・増田右衛門 尉(長盛)・石田治部少輔 (三成)・長束大蔵大輔(正 家)	「…隙明申次第、御仕置城々、御普請ニ取かゝり可申分候事…」	慶長の役
30	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之 二	1047	2	339	(慶長十四年)七月廿 九日	福島正則書状	羽柴左衛門大夫 正則	羽柴陸奥守(家久)	「…次拙者儀、輝元代より之端城共、此以前一二ヶ所普請申付 候処、新城を拵申吉、御所様御耳ニ悪敷罷立…右之城破却 仕、御理申上候処、御所様被成 御聞届、如前々普請可仕旨 被成 御淀ニ付而、播外聞申候…」	福島正則の広島城普請 について
31	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之 二	1050	2	343	(慶長十五年)正月十 九日	山口直友書状	直友	嶋津陸奥守(家久)	「…尾州なごやノ御普請、先々来秋迄御普請衆御上セ候事御 無用旨、被 仰出候間、先度御注進申入候…」	名古屋城普請
32	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之 二	1051	2	344	(慶長十五年)閏二月 十日	本多正純書状	本多上野介正純	羽柴陸奥守(家久)	「…為御普請、御人数為御上候事、御無用ニ候…」	名古屋城普請
33	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之 二	1071	2	363	(慶長四年)卯月三日	吉田豊後書状	吉田豊後	嶋津少将(忠恒)	「…急之御作事を請取、不得寸暇候間、先以使札申上候…」	

34	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之二	1103	2	407	慶長三年五月廿二日	石田三成・島津龍伯連署覚書	竜伯(義久)・治部少(石田三成)	本田与左衛門尉(公親)・新納孫右衛門尉(敬久)・河上三河守入道(忠智)・河上左近将監(久国)	「…呉服方万買物之儀…銀子之儀義久へ可申理之事、付、作事かた同前之事…」	
35	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之二	1118	2	420	(天正廿年)正月廿一日	石田三成・細川玄旨連署状案	幽斎玄旨・石治少三成	匠作入(龍伯義久)・羽武庫(義弘)	「…御陳御普請、如前々一手ニ可被仰付之由、御意候…」	文禄の役
36	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之二	1148	2	446	(慶長十五年)八月廿八日	島津家久書状	陸奥守家久	龍伯(義久)	「…殊駿府より江戸迄者、道橋など新被作続候…」	
37	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之二	1154	2	454	(慶長四年)九月廿八日	島津維新書状	維新(義弘)	少将(家久)	「…其故ハ来春ハ大坂御普請たるへき由、下々申候…」	大坂城普請
38	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之三	1206	3	59	(慶長三年)正月廿六日	宇喜多秀家外十二名連署言上状案	備前中納言・安芸宰相・蜂須賀阿波守(家政)・生駒讃岐守(一正)・藤堂佐渡守・脇坂中務大夫(安治)・菅三郎兵衛尉・松嶋彦右衛門尉・菅右衛門八・山口玄蕃頭(正弘)・中河修理大夫(秀成)・池田伊予守(秀雄)・長宗我部侍従(元親)	石田治部少輔(三成)・長束大蔵大夫(正家)・増田右衛門尉(長盛)・徳善院(玄以)	「…御仕置之城所并御普請人数割等大方相究…所柄弥見計相究、御普請被懸、相調申候…順天・蔚山重而御普請之儀、右如申上候…」	慶長の役
39	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之三	1214	3	72	九月十五日	高宗久書状案	ならの高源右衛門尉宗久	中井大和守(正清力)	「右より見立ノ木ハ寸尺存分御座候へ共、壺本ハねあがり、壺本ハ一ノ枝よりくさり入、何もやくニ立不申候故…」	方広寺大仏普請
40	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之三	1221	3	82	霜月廿一日	木脇如有・伊地知重辰連署書状	伊地知美作守重辰・木若狭入如有(祐充)	桑(波)田越後	「…殿中築地普請之儀、最前御当被成候ことく…彼御普請之事、老中前より急被成儀候之条…」	
41	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之三	1222	3	—	—	某書状案并串木野高山田石高注文案	—	—	「…普請衆盛 串木野 高四百石…」	
42	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之三	1230	3		(慶長二年)十月六日	長束正家書状	長大正家	嶋又太(忠恒力)	「…別御仕置之城々可有御普請旨、御苦労共候…」	慶長の役
43	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之三	1453	3		文禄四年七月四日	島津龍伯・同義弘連署条目	義弘・龍伯	右馬頭(島津以久)	「一、公儀之事者不及申、於国元材木用段之時者、いか程成共、材木可被差上事…一、大仏之材木…」	
44	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之三	1468	3		(慶長五年)十月廿二日	島津龍伯書状	龍伯	又八郎(島津忠恒)	「…来月者此元城普請ニ付、隙有間敷まゝ、来廿五日可罷越候…」	大隅富隈城普請
45	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之三	1471	3	279	慶長六年八月七日	島津龍伯・同維新・同忠恒連署掟書	忠恒・維新・龍伯	—	「一、諸侍番普請狩等、若懈怠於有之者、可為曲事…」	
46	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之三	1476	3	286	慶長九年閏八月十九日	島津忠恒・同龍伯署掟書	龍伯・忠恒	—	「一、諸侍番普請狩等、若懈怠於有之者、可為曲事…」	

47	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之三	1496	3	309	慶長二年貳月廿一日	島津義弘掟書	義弘	—	「□於普請衆、無し懈怠、可罷出事、付もし懈怠之者あらは、則過怠普請可申付…」	慶長の役
48	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之三	1516	3	336	四月十二日	島津忠恒書状	嶋又八郎忠恒	毛民太(毛利民部大輔高政)	「…尤自身罷越可申入候へ共、当城普請等申付候条、無其儀候…」	文禄の役または慶長の役
49	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之三	1538	3	363	元和三年七月十二日	島津家久條書	家久	三原諸右衛門尉(重種)・比志嶋紀伊守(国貞)・町田図書頭(久幸)	「一、江戸諸大名之屋形、皆々結構ニ被調候…国之役儀於無沙汰者、可及氣遣事…」	
50	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之三	1540	3	365	元和五年七月三日	島津家久掟書	(島津家久)	—	「…若或於天下之大普請、或出陣などの時は、国役にかゝ類出物可□付事…」	
51	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之四	1557	4	13	寛永九年六月十一日	島津家久袖判條書	新納右衛門・吉利下総守(忠張)	—	「一、他国之侍者、或普請方之用意、或俄ニ軍役之人数可入時之用意を題目ニ候て…」	
52	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之四	1601	4	67	寛永十九年正月廿三日	島津光久條書	(島津光久)	—	「一、右之談合衆、物奉行…普請奉行…此衆寄合ニて可致相談事…」	
53	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之四	1726	4	187	(天正十九年)五月七日	安宅秀安書状	安宅三河守秀安	(島津)義弘	「…私之普請と申なから、早々出来候様ニと治部少堅申付故、自分ニ罷上儀不成ニ付而…」	
54	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之四	1733	4	195	(天正二十年)十一月十三日	長束正家書状	長束大蔵大輔正家	—	「…長々御苦劳、殊寒天之時分、御普請昼夜御氣遣之通、無是非存候…」	文禄の役
55	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之四	1734	4	196	(文禄二年)正月廿二日	宇喜多秀家書状	備前宰相秀家(宇喜多)	嶋兵(島津義弘)	「…普請以下、定然々不可有之存候、爰元程近之儀候間、相応之御用等被仰越、不可存疎意候…」	文禄の役
56	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之四	1752	4	214	(文禄二年)五月十九日	浅野長吉・山中長俊連署状	山中山城守長俊・浅野弾正少弼長吉	羽柴薩摩侍従(島津義弘)	「…御番普請等、無由断旨、御感共候、就其、御兵粮御帳、被加御披見候…」	文禄の役
57	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之四	1757	4	218	(文禄二年)七月廿二日	生駒近規書状	生雅楽頭近規(生駒)	羽兵庫頭(島津義弘)	「…此中我等居申候陣所、貴様御請取被成之由…城之儀、大方入念致普請候…」	文禄の役
58	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之四	1758	4	219	(文禄二年)八月廿一日	安宅秀安書状	安三郎兵秀安(安宅)	義弘・久保	「…又一郎(島津久保)殿御家督御請候ても、今之分にてハ、京都之御家、大仏并ふしみの御普請、其上御在京ニ物入可申候間…」	伏見城普請、方広寺大仏普請
59	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之四	1759	4	221	(文禄二年)八月十六日	安宅秀安書状	(安宅)秀安	義弘・久保	「…又ハ朝鮮御陣被引取次第、大仏并ニふし見之御普請ニ、一稜御造作可参候…」	伏見城普請、方広寺大仏普請
60	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之四	1765	4	232	(文禄二年)十二月朔日	田野部相房書状	田野部彦兵衛	島津兵庫(義弘)	「京都貴殿様御屋形、別而御作事以下きらひやうに出来候、於拙子者可御心易候…」	島津家京都屋敷の普請
61	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之四	1768	4	235	(文禄三年)二月七日	安宅秀安書状	安三(安宅秀安)	義弘	「治部少も幸侃・長寿院へ、京都御作事彼是被申談候…」	島津家京都屋敷の普請
62	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之四	1782	4	247	(文禄三年)十月六日	安宅秀安書状	秀安(安宅)	義弘	「伏見ニ御普請仕候上野殿衆、ちり / \ニ罷成、身上相果申候…」	伏見城普請
63	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之四	1788	4	258	(文禄三年)極月十三日	喜齋・永雪連署状	永雪・喜齋	羽柴兵庫頭(義弘)	「来春ハ、京ニ御殿之普請之由、被仰出候…」	
64	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之四	1790	4	260	(文禄四年)正月十九日	安宅秀安書状	安宅三河守秀安	羽柴兵庫頭(義弘)	「伏見御城御普請、極月廿日迄仕候、又明春三日御普請初二仕候、然間、高麗御陣御苦劳ニ思召間敷候…」	伏見城普請

65	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之四	1794	4	263	(文禄四年)三月廿六日	長束正家副状	長大蔵正家(長束)	薩摩侍従(島津義弘)・嶋津又八郎(島津忠恒)	「其表御仕置、城々御普請之儀并兵粮玉薬等之儀、条々以 御朱印被 仰遣候…」	文禄の役
66	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之四	1796	4	264	(文禄四年)卯月六日	安宅秀安書状	(安宅)秀安	羽兵(島津義弘)	「…京都御作事彼是ニ不引足候、笑止ニ候、」	
67	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之四	1797	4	267	(文禄四年)拾月六日	瀧重時書状	瀧七右衛門尉重時	羽柴兵庫頭(島津義弘)	「一、又八郎様、かとかの城へ被成御移、御普請等無御由断候間、是又御心安可被思食候」	文禄の役
68	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之四	1802	4	273	(慶長元年)極月十九日	安宅秀安書状	安宅三河秀安	義弘(島津)	「一、爰元替儀無之候、伏見山之御城普請迄ニ候…」	伏見城普請
69	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之四	1814	4	285	(慶長三年)十月十六日	増田長盛書状	増右長盛(増田)	薩摩侍従(島津義弘)	「一、蔚山・順天表…先中国・四国并九鬼大隅・堀内・脇坂など可被指渡ニ相究、右之衆御普請被相除、船用意候事」	慶長の役
70	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之四	1827	4	296	(文禄三年)九月二日	伊東祐兵書状	伊民太祐兵(伊東)	羽兵(島津義弘)	「尚以、其元御有付候哉、[]御普請も大方調申体候…」	文禄の役
71	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之五	1842	5	16	(慶長九年)十二月四日	福島正則書状	羽左衛門大夫正則	羽兵庫入(島津義弘)	「…将又、於伏見御屋敷出可申候條、急度御普請など御沙汰候て可然候、金銀入申候者、何ほと成共御馳走可仕候…」	
72	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之五	1846	5	21	(慶長十年)九月十五日	曲直瀬正純書状	亨徳院正純	維新(島津義弘)	「一、古織部殿すき屋ノ入口、窓などの様子、少替申由候、いまた普請半にて御座候故…」	
73	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之五	1862	5	39	(慶長十六年)六月六日	荒木元満書状	荒木十左衛門尉元口	維新(島津義弘)	「一、大御所様、一段そくさいニ御座候、来年者江戸御普請由御座候…」	江戸城普請
74	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之五	1872	5	49	(慶長十八年)十二月十四日	福島正則書状	羽柴左衛門大夫正則	羽柴兵庫頭(島津義弘)	「…来年当地御普請、何も上方衆へ被仰付候、我等事も御普請中者はニ可罷在候間、…何も御普請致出来、於帰国仕者、国本より可得御意候…」	江戸城普請
75	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之五	1873	5	50	(慶長十九年)三月十九日	寺沢広高書状	寺志摩広高	維新(島津義弘)	「…爰元口普請其外之様口、兵部少輔被見及、承口通申含候条、具ニ可得御意候…」	江戸城普請
76	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之五	1880	5	60	(文禄四年)正月十七日	安宅秀安書状	安宅三郎兵衛秀安	嶋又八郎(島津忠恒)	治部少も罷立衆にて候、就其出陣之衆者、当年御普請被成御用捨候」	文禄の役
77	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之五	1906	5	81	(文禄五年)八月六日	安宅秀安書状	安宅三河守秀安	嶋津又八郎(島津忠恒)	「…去月十二日之夜、大地震ニ付、伏見・大坂之御城之内御対面所損候故、唐人御礼相延候…」「…伏見御城御てんしゅ・御矢蔵損候故、…御城被作、御普請半ニ候…」	伏見城普請、慶長畿内地震
78	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之五	1912	5	86	(慶長二年)正月廿五日	宇喜多秀家書状	備前中納言秀家	嶋又八(島津忠恒)	「…仍其許御普請、尚以被仰付候旨、尤以可然存候…」	慶長の役
79	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之五	1918	5	91	(慶長二年)卯月十二日	小西行長書状	小撰行長	嶋又八(島津忠恒)	「…此中御見舞可申入候処、普請取紛無沙汰、背本意候…」	慶長の役
80	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之五	1922	5	94	(慶長二年)九月廿六日	早川長政・垣見一直・熊谷直盛連署状	熊内蔵元直盛・垣和泉守一直・早主馬頭長政	嶋又八郎(島津忠恒)	「…来朔日よりハ御普請場へ御越尤ニ存候…」	慶長の役
81	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之五	1923	5	95	(慶長二年)九月廿六日	熊谷直盛書状	直盛	嶋又八郎(島津忠恒)	「一、御手前当月中ニ被明御隙、普請所へ従来朔日御越、尤ニ存候事…」	慶長の役
82	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之五	1925	5	98	(慶長三年)二月五日	熊谷直盛書状	直盛	忠恒	「…又御城之儀普請能出来之旨、彼是石治迄内々被仰送可然存候…」	慶長の役

83	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之五	1927	5	100	(慶長三年)卯月九日	長宗我部元親書状	長土元親	嶋又八(島津忠恒)	「…爰元御普請、来廿日時分大略相調、可令帰朝候…」	慶長の役
84	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之五	1928	5	101	(慶長三年)四月十五日	池田高祐書状	池田孫次郎高祐	又八郎(島津忠恒)	「…御城御普請出来仕、其城主被請取上者、如此…」	慶長の役
85	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之五	1979	5	150	(慶長十二年)七月十七日	本多正信書状	本多佐渡守正信	羽柴陸奥守(島津家久)	「…大御所様駿府ニ被成御座候間、…当地御普請已下御用被仰付罷在儀候間、上野介かた迄委申遣候…」	駿府城普請
86	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之五	2052	5	214	(慶長十年)八月一日	福島正則書状	羽左衛門大夫正則	羽柴陸奥守(島津忠恒)	「…江戸御普請ニ付て、貴殿御てまへより、御石舟参百そう御作候て可有御進上之由…」	江戸城普請
87	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之五	2062	5	223	(慶長十年)霜月十一日	相良頼房書状	相良左兵衛佑頼房	羽柴陸奥守(島津忠恒)	「…西国衆明年江戸御普請為催、先人数被召上御用意之由候…」	江戸城普請
88	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之五	2104	5	258	(慶長十一年)十二月十五日	福島正則書状	羽左衛門大夫正則(福島)	羽□□□□□(島津家久)	「…大御所様御隠居所駿河之府中ニ、来年二月朔日より御普請被 仰付候、当年江戸へ不被参衆中、来年駿河へ御普請ニ被参候、貴殿御事、当年過分ニ御石舟御挙候故、来年之御普請之御書立ニハ無御座候…」	駿府城普請
89	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之五	2111	5	264	(慶長十二年)閏四月廿二日	本多正純書状	本多上野介正純	羽柴陸奥守(島津家久)	「…爰許相替儀無御座、御普請半之御事ニ御座候…」	駿府城普請
90	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之五	2118	5	271	(慶長十二年)七月廿三日	本多正純書状	本多上野介正純	嶋津	「…将亦、駿府相替儀無御座候、今程御普請半之御事御座候…」	駿府城普請
91	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之五	2129	5	282	(慶長十三年)二月廿七日	清水光直書状	清水左衛門尉光直	奥州(島津家久)	「…併早御作事大形致出来、来月十一日可被成 御移徙由ニ御座候…」	駿府城普請
92	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之五	2131	5	283	(慶長十三年)三月六日	祐乗坊瑞久書状	祐乗坊法印瑞久	鹿兒嶋少将(島津家久)	「…駿府御城御作事出来、十一日ニ被成御移之由、御沙汰共御座候…」	駿府城普請
93	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之五	2135	5	286	(慶長十三年)卯月十五日	本多正純書状	本多上野介正純	嶋津陸奥守(家久)	「…仍江戸御屋敷為御普請、御使者・御人数御下被成由、存其旨候…」	島津家江戸屋敷の普請
94	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之六	2138	6	2	(慶長十三年)五月二日	本多正信書状	本多佐渡守正信	山口駿河守(直友)	「…当地御普請付而、鎌田加賀守殿被為指下候…」	島津家江戸屋敷の普請
95	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之六	2142	6	5	(慶長十三年)五月十六日	本多正純書状	本多上野介正純	嶋津陸奥守(家久)	「…爰元駿府御普請儀も大形出来致候…」	駿府城普請
96	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之六	2149	6	12	(慶長十三年)六月四日	小林家孝書状	小林民部少輔家孝	羽柴奥州(島津家久)	「…駿府御普請御作事、一段見事出来候由、御沙汰之事…」	駿府城普請
97	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之六	2150	6	14	(慶長十三年)七月十日	山口直友書状	山口駿河守直友	奥州(島津家久)	「…江戸貴殿様御作事之儀付而、被成御差上候御使者、帰国候、於江戸御作事、鎌田加賀殿無由断被申付由候…」	島津家江戸屋敷の普請
98	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之六	2160	6	24	(慶長十三年)二月十六日	本多正信書状	本多佐渡守正信	嶋津陸奥守(家久)	「…仍、此地御屋形御普請、被為入御念被仰付之由候而…誠御造作共、申計無御座候…」	島津家江戸屋敷の普請
99	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之六	2169	6	31	(慶長十三年)七月九日	高野山青巖寺政遍書状	青巖寺法印政遍	羽柴陸奥守(島津家久)	「…仍、蓮金院造畢、奇麗無類候…」	蓮金院造営
100	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之六	2170	6	32	(慶長十三年)七月十一日	高野山大楽院書状	大楽院□	羽柴陸奥大守(島津家久)	「…蓮金院御建立之事、末世無双之御意願早速御成就…」	蓮金院造営

101	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之六	2171	6	33	七月十五日	高野山善集院栄旻書状	善集院栄旻	羽柴陸奥大守(島津家久)	「…去年已来片時依忽緒、若干御普請須臾造畢仕候…」	蓮金院造営
102	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之六	2173	6	35	(慶長十三年)七月廿六日	本多正信書状	本多佐渡守正信	山口駿河守(直友)	「…嶋津陸奥守殿此方御屋形御作事ニ付而…」	島津家江戸屋敷の普請
103	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之六	2176	6	37	十月十日	山口直友書状	山口駿河守直友	奥州(島津家久)	「…貴殿様、江戸之御屋形御作事就被仰付、田中伊豆方被罷下、一段御普請ニ情入、早速相済申之由…」	島津家江戸屋敷の普請
104	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之六	2178	6	39	(慶長十四年)極月二日	本多正純書状	本多上野介正純	嶋津陸奥守(家久)	「…来春尾州之内於名護屋、御城取御座候…御普請之儀ハ、石垣可為御普請候間、其御心得可被成候…」	名古屋城普請
105	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之六	2179	6	39	(慶長十四年)十二月十三日	山口直友書状	山口駿河守直友	奥州(島津家久)	「…尾張御普請之儀、拙者より御触状当地之衆迄可相届之由候間、進之申候…」	名古屋城普請
106	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之六	2182	6	42	(慶長十四年)十二月廿六日	本多正信書状	本多佐渡守正信	羽柴陸奥守(嶋津家久)	「…兼又、此地御屋敷御普請以下、如何ニも丈夫ニ被仰付候儀、御造作御苦勞共之由 御錠被成…」	島津家江戸屋敷の作事
107	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之六	2188	6	48	(慶長十五年)六月廿五日	藤堂高虎書状	藤堂和泉守	—	「…如御書中、爰元御普請各申談候、不存油断候…御普請半之故、無其儀御座候…」	丹波亀山城普請
108	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之六	2192	6	51	(慶長十五年)七月廿四日	寺沢広高書状	寺志摩守広高	羽陸奥守(島津家久)	「…当城(名古屋城)御普請之義、手前うけ取分、過半仕寄申候間、御氣遣被成間敷候…」	名古屋城普請
109	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之六	2216	6	72	(慶長十六年)五月十六日	板倉勝重書状	板倉伊賀守勝重	嶋陸奥(島津家久)	「…今度御材木之儀被 仰付故、御上不被成事、先以目出度存候、御材木之様子、定本上州より重而御左右可被申候…」	
110	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之六	2226	6	84	(慶長十七年)二月朔日	中井正清書状	中井大和守正清	羽柴陸奥守(島津家久)	「…然者、 禁中御材木之儀、早々相調御上被成候儀、爰元へ参着次第、各々御奉行衆ニ被為請取候様可申候…」	禁裏造営
111	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之六	2227	6	85	(慶長十七年)六月四日	板倉勝重書状	板倉伊賀守勝重	嶋津陸奥守(家久)	「…随而、 禁中御材木之儀被仰付、早速被為差上由、尤珍重奉存候…」	禁裏造営
112	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之六	2228	6	86	(慶長十七年)七月八日	板倉勝重書状	板倉伊賀守勝重	嶋津陸奥守(家久)	「…追而申候、 禁中御材木、大坂迄為御上候由、承候、中井大和守書立之積参候者…」	禁裏造営
113	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之六	2230	6	88	(慶長十七年)八月十日	酒井忠世書状	酒井雅楽頭忠世	嶋津陸奥口(家久)	「…随而、貴様可被成御参府処、 禁中御材木就被仰付、可為御在国之由 御錠之宗、奉得其意…」	禁裏造営
114	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之六	2232	6	90	(慶長十七年)九月三日	中井正清書状	中井大和守正清	羽柴陸奥守(島津家久)	「…然者、 禁中様御材木、早速ニ被仰付候故、爰許御作事悉出来仕…」	禁裏造営
115	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之六	2237	6	94	(慶長十七年)十一月五日	真福寺興清書状	真福寺興清	嶋津陸奥守(家久)	「…然而、御手前御作事、天下一ニ出来申候而、両御所様、一段御褒美被成候…尚々、当年者、御作事無比類候…」	島津家江戸屋敷の作事
116	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之六	2273	6	128	(慶長二十年)閏六月朔日	福島正則書状	羽柴左衛門大夫正則	嶋津陸奥守(家久)	「…将亦、此表御屋敷、一段と御無事ニ御座候、御作事も殊外はか行申候…」	島津家江戸屋敷の作事
117	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之六	2280	6	134	(慶長十四年)十月十日	福島正則書状	羽柴左衛門大夫正則	嶋津陸奥守(家久)	「…去春手前端城普請申付候とて、 御所様以ニ御機嫌損申候…」	福島正則の広島城修築
118	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之六	2338	6	179	(元和五年)九月八日	酒井忠利書状	酒井備後守忠利	松平薩摩守(島津家久)	「…随而、御進上之御材木も参着申候間、即請取候、奉行人ニ申付、請とらせ申候間、可被為成其御心得候…」	江戸城作事

119	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之六	2339	6	180	(元和五年)九月九日	酒井忠利・青山忠俊連署状	青山伯耆守忠俊・酒井備後守忠利	松平薩摩守(島津家久)	「…仍而、御殿主あせり板三千枚御進上之由、奉得其意候、則御材木奉行衆へ具申渡候…」	江戸城作事
120	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之六	2354	6	192	(元和六年)六月十三日	細川忠興書状	細越中忠興	松薩□(島津家久)	「…御供二者、酒井雅楽殿・土井大炊殿・松平右衛門殿、被罷上之由候…右之衆、大坂御普請為見舞、被参之由候…」	大坂城普請
121	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之六	2357	6	196	(元和八年)卯月廿二日	寺沢広高書状	寺沢志摩守広高	松薩摩(島津家久)	「…将又、当地珍儀無御座候、御本丸御作事ニ付、来十一日、西丸へ可被為 移由、御取沙汰ニ御座候…」	江戸城本丸作事
122	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之六	2361	6	199	(元和八年)二月十三日	細川忠利書状	細内記忠利	松薩州(島津家久)	「…爰元御本丸御普請も、越前之体、籠城にも成そうに候ハヽ、中 / \ 被仰付間敷候之由…はや御普請そろ / \ 被仰付候…爰元御本丸御普請、九月者出来、御移徙たるへきと存候…」	江戸城本丸普請
123	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之六	2374	6	213	(元和十年)二月十二日	松平定綱書状	松平越中守定綱	薩摩守(島津家久)	「…将亦、当城御普請之様子、被聞召度由被仰下候…就中、松之御材木并兵粮、沢山ニ被贈下候…」	江戸城普請
124	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之六	2411	6	244	(寛永六年)三月十九日	土井利勝書状	土井大炊頭利勝	薩摩中納言(島津家久)	「…当年就江戸御普請、角石百、如御目錄御進上…」	江戸城普請
125	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之六	2412	6	245	(寛永六年)三月十九日	土井利勝角石請取状	土井大炊頭(利勝)	松平薩摩守(島津家久)	「…進上 角石 百本…以上、右之石、江戸にてあかり申候、以上」	江戸城普請
126	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之六	2416	6	249	(寛永六年)十二月二日	寺沢広高書状	寺沢志摩守広高	薩摩中納□(島津家久)	「…東之衆、御普請用意、殊外之儀ニ御座候、就其、[]へも石舟御やとい被成□由ニ候間…」	江戸城普請
127	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之六	2465	6	300	(寛永十一年)九月十五日	堀田正盛書状	堀田加賀守正盛	松平大隅守(島津家久)	「…被成御進上候松之御材木、目錄を以披露仕候之处、一段首尾能上り申候間…」	江戸城作事
128	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之六	2475	6	309	寛永十三子三月十四日	江戸幕府年寄連署奉書	堀田加賀守正盛・阿部豊後守忠秋・酒井讃岐守忠勝・土井大炊頭利勝	薩摩中納言(島津家久)	「…大隅国之内国府之城、追手裏口に建門、城内ニ作番屋、少々番之者計差置、山下に構屋敷、薩摩守被有之様に被仕度之由…」	大隅国府城修築
129	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之六	2492	6	327	(寛永十四年)二月十一日	神尾元勝書状	神尾内記元勝	松大隅守(島津家久)	「…将又、御本丸御作事ニ付、松ふしなし六寸角式千本、御進上被成、御尤奉存候…」	江戸城普請
130	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之七	2667	7	175	(寛永十六年)八月十七日	土井利勝書状	土井大炊頭利勝	伊勢兵部(貞昌)	「…去十一日之昼、御本丸火事出来、御殿主計残、悉焼失仕候…兎角御作事之時分、御進物御用意、各御聞合可然存候…」	江戸城本丸火事、作事・普請
131	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之七	2676	7	184	(寛永十六年)閏十一月九日	酒井忠勝書状	酒井讃岐守忠勝	松平薩摩守(島津光久)	「…御城御普請も。事外はか参候…」	江戸城普請
132	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之七	2755	7	268	(正保二年)五月廿三日	江戸幕府老中連署奉書	阿部豊後守忠秋・阿部対馬守重次・松平伊豆守信綱	松平薩摩守(島津光久)	「鹿子[児]島城海手之石垣破損付而、高三間半、長五百間程之所、被築出之度之由、絵図之通達上聞候之处、普請可申付旨、被仰出候、将又、南之方舩入之堀、埋候付而、被浚度之由、得其意候…」	鹿児島城普請
133	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之八	2862	8	54	(慶安三年)八月廿八日	江戸幕府老中連署奉書	松平伊豆守信綱・安部対馬守重次・阿部豊後守忠秋	松平薩摩守(島津光久)	「薩州鹿児島山下居所、巽之方石垣崩候付而、被築直度之由、絵図之通、得其意候、如元普請可被申付候…」	鹿児島城普請
134	大日本古文書 家わけ 第十六 島津家文書之八	2947	8	141	(承応三年)四月十三日	江戸幕府老中連署奉書	阿部豊後守忠秋・松平伊豆守信綱・酒井讃岐守忠勝・酒井雅楽頭忠世	松平大隅守(島津光久)	「去年就内裏炎上、御作事有之候、御築地者、如先例、諸大名被仰付之候、手伝之儀者、可為日傭人足候、五万石以上之面々被課宛之事候…」	禁裏火事、作事・普請

135	大日本古文書 家わけ第十六 島津家文書之八	2948	8	143	(承応三年)五月二日	板倉重宗書状	板倉周防守重宗	松平大隅守(島津光久)	「…然者、禁中就炎上、御築地を諸大名衆へ被仰付候、此跡も日傭ニ而出来仕候間、私家来ニ申付、入札仕らせ、江戸御老中へも指上候様ニと申来候…」	禁裏火事、作事・普請
136	大日本古文書 家わけ第十六 島津家文書之八	3034	8	234	(明暦三年)三月廿八日	松平定行書状	松平越中守定綱	島津図書(久通)・島津筑前(久頼)・鎌田筑後(正勝)・新納右衛門(久詮)・町田勘解由(久則)	「…大隅守殿御参勤、六七月時分迄相延候而、緩々と御休息、可為御満足と存事候、江戸之御屋鋪之作事、春時出来仕事ニ而も無之候間…何も大名中屋敷之普請、未取付被申衆、一軒も無之由候…」	江戸明暦大火
137	大日本古文書 家わけ第十六 島津家文書之八	3035	8	236	(明暦三年)四月六日	江戸幕府老中連署奉書	阿部豊後守忠秋・松平伊豆守信綱・酒井雅楽頭忠清	松平大隅守(島津光久)	「…御本丸御営作、今年者御延引条、下々家屋輕作事:小屋懸等可申付之旨、并献上物三个年之間者可減少之趣…」	江戸明暦大火、江戸城普請・作事
138	大日本古文書 家わけ第十六 島津家文書之八	3041	8	243	(明暦三年)七月朔日	江戸幕府老中連署奉書	阿部豊後守忠秋・酒井雅楽頭忠清	松平大隅守(島津光久)	「…御本丸御作事可有之付而、御材木被献之度之由、得其意候…」	江戸明暦大火、江戸城普請・作事
139	大日本古文書 家わけ第十六 島津家文書之八	3046	8	248	(明暦三年)九月二日	松平定行書状	松(松平)隠岐守定行	島津図書(久通)・島津筑前(久頼)・鎌田筑後(正勝)・伊勢兵部(貞昭)・新納右衛門(久詮)・町田勘解由(久則)	「一、此度江戸御城御普請付而、杉戸大板并楠あせり板・松大引物、御進上可被成之旨…」	江戸明暦大火、江戸城普請・作事

『大日本古文書』家わけ第十七 大徳寺文書

No	書名	番号	冊	頁	年月日	文書名	差出	充所	備考①	備考②
1	大日本古文書 家わけ第十七 大徳寺文書之九	2596	9	290	元和七年正月廿九日	大徳寺納所納下帳	納所宗元・侍真宗是・維那宗珂		「…公儀之普請佗事…」	

『大日本古文書』家わけ第十八 東大寺文書

No	書名	番号	冊	頁	年月日	文書名	差出	充所	備考①	備考②
1	大日本古文書 家わけ第十八 東大寺文書之十五	677	1	78	慶長十八年六月十八日	周防国衛土居内并牟礼両村年貢勘文	上司平兵衛(昌綱)・上司七郎右衛門尉(高歳)・徳富忠兵衛(観相)	東大寺御沙汰人衆様人々御中	「…禁中御普請銀…井手米、其外普請方共…」	禁中普請

『大日本古文書』家わけ第二十一 蜷川家文書

No	書名	番号	冊	頁	年月日	文書名	差出	充所	備考①	備考②
1	大日本古文書 家わけ第二十一 蜷川家文書之四	825	4	17	(慶長六年)七月廿六日	某書状		道口〔標〕さま(蜷川親長)人々御中	「…此度江州せせか崎御普請ニ罷上儀ニ候へ共…」	膳所城の普請

『大日本古文書』家わけ第二十二 益田家文書

No	書名	番号	冊	頁	年月日	文書名	差出	充所	備考①	備考②
1	大日本古文書 家わけ第二十二 益田家文書之二	411	2	109	(慶長五年)七月廿六日	毛利輝元書状	輝元(毛利)	益玄(益田元祥玄蕃頭)	「…昨日至勢多(近江)陣替之由…」	関ヶ原の戦い
2	大日本古文書 家わけ第二十二 益田家文書之二	421	2	118		宗瑞(毛利輝元)書状		佐長(佐世元嘉〔長門守〕)	「…かつかつも普請被申付候而可然候、さ候間、萩之ふしんは相のそき候通可申候…」	萩城普請

3	大日本古文書 家わけ 第二十二 益田家文書 之二	427	2	123	(慶長十二年)九月三日	宗瑞(毛利輝元)書状	宗瑞(毛利輝元)	益玄(益田元祥)	「今度大篇之作事被相調候」	毛利家江戸屋敷の普請
4	大日本古文書 家わけ 第二十二 益田家文書 之二	428	2	125	(慶長十二年)九月三日	宗瑞(毛利輝元)書状	宗瑞(毛利輝元)	益玄(益田元祥)	「…来年祝言調之儀付而…祝言之儀、最前中納言様(結城秀康)如被仰定候…」「…其元普請之儀…」	毛利秀就の祝言、江戸桜田邸の普請
5	大日本古文書 家わけ 第二十二 益田家文書 之二	461	2	179		牛庵(益田元祥)一代奉公覚書			「…手前屋敷之小普請共仕候へ共…」「…うるさんへ秀元様・広家様其外御普請被仰付候半ニ…せつかい之御普請可被仰付之由」	益田元祥の屋敷の普請、文禄・慶長の役の際の普請
6	大日本古文書 家わけ 第二十二 益田家文書 之三	581	3	46	文明九年閏正月廿二日	室町幕府奉行人連署奉書	布施英基・飯尾為信	益田兼堯	「御所御修理料石見国段銭事」	
7	大日本古文書 家わけ 第二十二 益田家文書 之三	582	3	47		御所御修理料段銭上使下向記録	益田兼堯・(益田尹兼)		「御所御修理料段銭之事…可為百文宛反銭之由」	
8	大日本古文書 家わけ 第二十二 益田家文書 之三	583	3	49	文明九年六月十八日	御所御修理料石見国段銭請取状	盛房・才存	益田兼堯	「御所修理料石見国段銭事」	
9	大日本古文書 家わけ 第二十二 益田家文書 之三	682	3	149	(永正年間カ)三月六日	伊勢貞遠書状	伊勢貞遠	益治公(益田宗兼)	「早天より御作事方ニ致伺候」	
10	大日本古文書 家わけ 第二十二 益田家文書 之三	690	3	159	(永正十二年)十一月十九日	伊勢貞遠書状	伊右(貞遠)	益治公(益田宗兼)	「如存知御新造に致伺候候」	
11	大日本古文書 家わけ 第二十二 益田家文書 之三	756	3	229	六月十四日	飯尾信堅書状	飯川肥後守	益田右衛門督(藤兼カ)	「彼寺家 御成之御座敷以下大破之条、建立有度之由」	
12	大日本古文書 家わけ 第二十二 益田家文書 之三	761	3	234	(天正十九年)正月七日	益田広兼書状	益田広兼	品川又右衛門尉	「爰地御普請之儀、油断なく肝煎申候」	
13	大日本古文書 家わけ 第二十二 益田家文書 之三	762	3	235	(天正十九年)閏正月廿七日	益田広兼書状	久太郎広(益田広兼)	仁保平兵衛尉	閏正月および「…爰許御普請…上様御下向…」(広島城の普請・毛利輝元の入城)	
14	大日本古文書 家わけ 第二十二 益田家文書 之三	767	3	241	(慶長七年)七月廿三日	榎本元吉書状	(榎本)元吉	益玄様人々御中	「…此表(伏見)、公儀御普請…」(伏見城の普請)	
15	大日本古文書 家わけ 第二十二 益田家文書 之三	784	3	260	(寛文十一年)十二月廿四日	毛利氏国元加判衆連署書状	毛(大野毛利)隠岐就頼・毛(吉敷毛利)外記就直	益越中(益田就宣)	「御家来より被指出候御普請役之者…」	
16	大日本古文書 家わけ 第二十二 益田家文書 之四	914	4	195	慶安貳年五月廿七日	長崎軍役船手之時仕組付立			「御普請道具」	
17	大日本古文書 家わけ 第二十二 益田家文書 之四	915	4	209	慶安貳年五月廿七日	長崎軍役船手之時仕組付立			「御普請道具」	
18	大日本古文書 家わけ 第二十二 益田家文書 之五	999	5	213	(延宝六カ)	大寧寺三門棟札写			「遠方戊午春正月、奏 太守聴、請巧匠佐伯勘兵衛尉…」	
19	大日本古文書 家わけ 第二十二 益田家文書 之五	1001	5	217		益田藤兼代領知覚			「山路之御普請成就仕、彼地被成御引越」	
20	大日本古文書 家わけ 第二十二 益田家文書 之五	1075	5	356	(正保三年カ)四月二十八日	無庵筆牛庵一代奉公覚書	益田無庵	堅田安房守・益田修理・繁澤次郎兵衛	「頓而江戸御本丸御普請被仰付候ニ付而…」	

『大日本近世史料』細川家史料										
No	書名	番号	冊	頁	年月日	文書名	差出	充所	備考①	備考②
1	大日本近世史料 細川家史料一 細川忠興文書一	16	1	18	(慶長七年)三月廿三日	三月廿三日書状	忠	内記	「…我々居城小倉へ相替候…近日下国之覚悟ニ候、普請大形申付候ハ、…」	小倉城普請
2	大日本近世史料 細川家史料一 細川忠興文書一	17	1	20	(慶長七年)三月廿三日	三月廿三日書状	忠	内記	「…小倉へ居城かへ申候御いとまも出申候間、近日下候、普請大かた申付候て…」	小倉城普請
3	大日本近世史料 細川家史料一 細川忠興文書一	19	1	23	(慶長七年)六月廿四日	六月廿四日書状	忠	内き	「…此地(小倉)普請一段見事ニ出来申候…」	小倉城普請
4	大日本近世史料 細川家史料一 細川忠興文書一	20	1	24	(慶長七年)八月八日	八月八日書状	越忠	内記	「…尚々、小倉普請過半相済候…」	小倉城普請
5	大日本近世史料 細川家史料一 細川忠興文書一	21	1	26	(慶長七年)八月廿九日	八月廿九日書状	忠	内記	「…小倉へふしん見廻に越候処に…」	小倉城普請
6	大日本近世史料 細川家史料一 細川忠興文書一	25	1	30	(慶長八年)正月廿日	正月廿日書状	忠	内記	「…我々なと其地(江戸)之御普請被仰付候間…」	江戸城下普請
7	大日本近世史料 細川家史料一 細川忠興文書一	30	1	36	(慶長八年)三月六日	三月六日書状	越忠	内記	「…普請之者共小屋場以下之儀急度被申調…」	江戸城下普請
8	大日本近世史料 細川家史料一 細川忠興文書一	31	1	37	(慶長八年)卯月二日	四月二日書状	越忠	内記	「…右符(府)様(家康、慶長八年二月十二日征夷大將軍宣下)去月廿五日御参内にて候…」「…普請之儀無油断可被申付候事…」	小倉城普請、家康の征夷大將軍就任
9	大日本近世史料 細川家史料一 細川忠興文書一	33	1	40	(慶長八年)四月廿七日	四月廿七日書状	忠	内記	「…其許(江戸)普請之儀如何候哉…」「…其方屋敷之事…則屋敷普請之銀子・大工頼而可下候…」	江戸城下普請、細川家江戸屋敷の普請
10	大日本近世史料 細川家史料一 細川忠興文書一	37	1	46	(慶長八年)五月十二日	五月十二日書状	忠	内き	「…其方にて請取候屋敷之事…普請奉行下候時…」	細川家江戸屋敷の普請
11	大日本近世史料 細川家史料一 細川忠興文書一	38	1	48	(慶長八年)六月十六日	六月十六日書状	越忠	内記	「…其地屋敷普請之者…」	細川家江戸屋敷の普請
12	大日本近世史料 細川家史料一 細川忠興文書一	43	1	53	(慶長十五年)後二月廿二日	閏二月廿二日書状	忠	内記	「…石出・石ほりはか不行に付、ふしんの者あげ候て、其やすみの分程名古屋にて五郎太をあげ候様に被申付之由…長ぶしんたるへく候間…」	名古屋城普請
13	大日本近世史料 細川家史料一 細川忠興文書一	59	1	70	(慶長十九年)正月九日	正月九日書状	越忠	内記	「…爰元御普請…」	江戸城普請
14	大日本近世史料 細川家史料一 細川忠興文書一	60	1	72	(慶長十九年)正月廿二日	正月廿二日書状	越忠	内記	「…当地(江戸)御普請事之外太惣成事に候…」	江戸城普請
15	大日本近世史料 細川家史料一 細川忠興文書一	61	1	74	(慶長十九年)二月二日	二月二日書状	越忠	内記	「…小田原之城本城計被成御残、悉被成御割候事…」「…御普請別に替御沙汰も無之候事…」	江戸城普請、小田原城城割
16	大日本近世史料 細川家史料一 細川忠興文書一	62	1	77	(慶長十九年)二月十四日	二月十四日書状	越忠	内記	「…御普請に付惣様之衆被下候者…」	江戸城普請

17	大日本近世史料 細川家史料一 細川忠興文書一	64	1	79	(慶長十九年)三月二日	三月二日書状	忠	内記	「…江戸之御普請事外大惣成儀に候条…爰元御普請いまた取つき不申、普請之ため道作り、御土居少つゝなをし申様之御普請迄に候事…」	江戸城普請
18	大日本近世史料 細川家史料一 細川忠興文書一	67	1	83	(慶長十九年)四月廿四日	四月廿四日書状	忠	内記	「…其地(江戸)御普請之儀…伊豆ゝ取寄候土台、二番丁場・三番丁場にもしほそく候はゞ…」	江戸城普請
19	大日本近世史料 細川家史料一 細川忠興文書一	69	1	86	(慶長十九年)五月廿日	五月廿日書状	忠	内記	「…御普請之様子…」	江戸城普請
20	大日本近世史料 細川家史料一 細川忠興文書一	71	1	90	(慶長十九年)六月廿六日	六月廿六日書状	越忠	内記	「…石垣之出来様之段々書付被越候…」	江戸城普請
21	大日本近世史料 細川家史料一 細川忠興文書一	72	1	92	(慶長十九年)七月十九日	七月十九日書状	忠	内記	「…其元御普請(江戸城普請)之様子具被申越候…」	江戸城普請
22	大日本近世史料 細川家史料一 細川忠興文書一	73	1	94	(慶長十九年)七月廿五日	七月廿五日書状	越忠	内記	「…藤泉州へ此度先度之銀子之礼状申遣候…又上ヶ石之事にも心付候由…」	江戸城普請
23	大日本近世史料 細川家史料一 細川忠興文書一	74	1	95	(慶長十九年)八月十八日	八月十八日書状	越忠	内記	「…自駿河御普請永々敷之由 御意に付、頓而御普請御上被成さうに在之由…」「…其地作事屋ねのはく持候て此者下候…」	江戸城普請、細川家江戸屋敷の普請
24	大日本近世史料 細川家史料一 細川忠興文書一	75	1	96	(慶長十九年)九月十九日	九月十九日書状	忠	内記	「…江戸大風吹(慶長十九年八月廿八日、烈風ニヨリ土民ノ家屋倒壊多シ)申付而しらせられ候…」「…我々家損シやう懇に不被申越に付、作事之申付やう不成候へ共…」	細川家江戸屋敷の普請
25	大日本近世史料 細川家史料一 細川忠興文書一	77	1	99	(慶長十九年)十月十五日書状	十月十五日書状	忠	内記	「…江戸御普請縦不相済候共…」	江戸城普請
26	大日本近世史料 細川家史料一 細川忠興文書一	86	1	110	(元和元年カ)三月十一日	(元和元年カ)三月十一日書状	越	内記	「…そね之堤近々出来申候間…」	小倉藩領曾根の堤の普請
27	大日本近世史料 細川家史料一 細川忠興文書一	87	1	111	(元和元年カ)三月十二日	(元和元年カ)三月十一日書状	越	内記	「…そね堤普請も大方出来候間…」	小倉藩領曾根の堤の普請
28	大日本近世史料 細川家史料一 細川忠興文書一	88	1	111	(元和元年カ)三月十五日	(元和元年カ)三月十五日書状	越	内記	「…我々事此地堤普請も出来候間…」	小倉藩領曾根の堤の普請
29	大日本近世史料 細川家史料一 細川忠興文書一	89	1	112	(元和元年)四月十一日	四月十一日書状	越忠	内記	「…陣用意被申付由尤候事…」「…其元(中津)ふしんもまつまつやめ可申由…」	大坂夏の陣、中津城普請の中止
30	大日本近世史料 細川家史料一 細川忠興文書一	104	1	132	(元和元年)七月廿六日	七月廿六日書状	越忠	内記	「…然は兵部殿(小笠原秀政、信濃松本城主、元和元年五月七日戦死)・信の殿(小笠原忠脩、秀政長男、同日戦死)とふらひ何比候哉…」「…日本国へ御普請十年御免之由、頓而御ふれ可在之様に従金地院(以心崇伝)先日被申越候…」	
31	大日本近世史料 細川家史料一 細川忠興文書一	109	1	137	(元和二年)正月三日	正月三日書状	忠	内記	「…当年ヨリ三嶋いつみかしら(泉頭、伊豆田方郡)と申所に 御隠居所出来候、諸国之衆江戸御普請、両度之大坂御陣につかれ申候間、日用にて可被 仰付之由被 仰出候、依人に御普請是非仕度之由被望候衆も候へ共…」	家康の隠居所の普請
32	大日本近世史料 細川家史料一 細川忠興文書一	110	1	139	(元和二年)正月四日	正月四日書状	越	内記	「…三嶋(伊豆田方郡泉頭)に御隠居所出来候、御ふしんは日用にて可被仰付に今まではきはまり申候…」	家康の隠居所の普請
33	大日本近世史料 細川家史料一 細川忠興文書一	112	1	141	(元和二年)正月十六日	正月十六日書状	越	内記	「…三嶋(伊豆田方郡泉頭)御ふしんははや不被仰付にきはまり…」	家康の隠居所の普請

34	大日本近世史料 細川家史料一 細川忠興文書一	125	1	159	(元和二年)五月七日	五月七日書状	忠	内記	「…相国様(家康)神に被成御祝候に付…」「…大坂御普請之御沙汰は何方方きかれ候哉…」	家康の死去、大坂城普請の風聞
35	大日本近世史料 細川家史料一 細川忠興文書一	126	1	160	(元和二年)五月廿六日	五月廿六日書状	越忠	内記	「…本佐州(本多正信)之煩いよいよおもり候や…」(本多正信の死去)	「…大坂御普請之儀、弥被立聞…」
36	大日本近世史料 細川家史料一 細川忠興文書一	127	1	161	(元和二年)六月十五日	六月十五日書状	忠	内記	「…相国様神に御成候にも…」「…本上州御知行拝領候由候間(本多正純、亡父正信ノ遺領上野佐野拝領)…」「…大坂御普請之御沙汰無之由…」	家康の死去、本多正信の死去、大坂城普請中止
37	大日本近世史料 細川家史料一 細川忠興文書一	153	1	201	(元和四年)潤(閏)三月二日	閏三月二日書状	越忠興	内記	「…中津にて松田若狭居申丸川手之石垣十四五間崩申候…如前石垣つき候様ひ被才覚…」	中津城普請
38	大日本近世史料 細川家史料一 細川忠興文書一	154	1	204	(元和四年)潤(閏)三月二日	閏三月二日書状	越忠興	内記	「…来年江戸御殿主之御普請に付、黒筑(黒田長政、筑前福岡城主)はや石を進物に被仕候由…」	江戸城普請
39	大日本近世史料 細川家史料一 細川忠興文書一	157	1	208	(元和四年)卯月朔日	四月朔日	越忠興	内記	「…当城も中津も土居・石垣・屏・ため池之石堤以下、事之外損申候間、前のことく仕度候…」	小倉城・中津城普請
40	大日本近世史料 細川家史料一 細川忠興文書一	162	1	213	(元和四年)六月二日	六月二日書状	越忠興	内記	「…来年其地(江戸)御本丸之御普請之儀相延候由…」	江戸城普請
41	大日本近世史料 細川家史料一 細川忠興文書一	163	1	215	(元和四年)六月廿六日	六月廿六日書状	越忠興	内記	「…其地(江戸)御本丸御普請弥来々年之由…」「…当城(小倉)・中津普請之儀大炊殿被得 御意…」	江戸城普請、小倉城・中津城普請
42	大日本近世史料 細川家史料一 細川忠興文書一	169	1	225	(元和四年)八月十八日	八月十八日書状	越	内記	「…来々年之御普請石之用意には…来正月方普請に取付候様に可申付候条…」	江戸城普請
43	大日本近世史料 細川家史料一 細川忠興文書一	173	1	232	(元和四年)九月廿八日	九月廿八日書状	越忠	内記	「…来々年御普請仕置之石之儀…」	江戸城普請
44	大日本近世史料 細川家史料一 細川忠興文書一	185	1	246	(元和五年)二月十六日	二月十六日書状	忠興	内記	「…てん(天千代、忠興五男、興孝、元和五年正月、証人トシテ江戸ニ赴ク)所へもちあそひ差越…」「…我々作事出来候、御成之儀存もよらさる事に候…」	細川家江戸屋敷の普請
45	大日本近世史料 細川家史料一 細川忠興文書一	187	1	249	(元和五年)三月九日	三月九日書状	越忠興	内記	「…明石之普請上り候之由…右近殿(小笠原忠真、播磨明石城主)普請に替儀は有間敷被存候事…」	明石城普請
46	大日本近世史料 細川家史料一 細川忠興文書一	191	1	253	(元和五年)四月廿五日	四月廿五日書状	忠	内記	「…福嶋太夫殿(正則)之儀、広嶋城普請不被得 御意被仕、被背御法度之由候て…新敷普請之分石垣・矢倉不残破却候へと被 仰出…」	福島正則の改易、広島城普請
47	大日本近世史料 細川家史料一 細川忠興文書一	194	1	257	(元和五年)十月十一日	十月十一日書状	越忠	内記	「…上方より大坂御普請来春早々方被仰付候由申来候、就其つの国みかけ(摂津武庫郡御影)・飯もり(森)辺へ石はとりに明日十二より神木左衛門・西久左衛門上申候、あわちの石は大坂へはつよく候間…」	大坂城普請
48	大日本近世史料 細川家史料一 細川忠興文書一	195	1	258	(元和五年)十月十五日	十月十五日書状	越	内記	「…来年大坂御普請之由被仰出候…来年大坂御普請御奉行花房志摩守殿(正成)・長谷川式部殿(守知)・日下部五郎八殿(宗好)・渡辺筑後殿四人にて候由候…淡路石場之儀被相渡之由候…」	大坂城普請
49	大日本近世史料 細川家史料一 細川忠興文書一	197	1	263	(元和五年)十二月三日	十二月三日書状	越	内記	「…大坂御普請之坪数相定次第可被申越之由…」	大坂城普請
50	大日本近世史料 細川家史料一 細川忠興文書一	199	1	266	(元和六年)正月十日	正月十日書状	忠	内記	「…大坂御普請之儀に付…」(元和6年の大坂城普請)	

51	大日本近世史料 細川家史料一 細川忠興文書一	203	1	272	(元和六年)二月五日	二月五日書状	越	内記	「…其地御普請(江戸城普請)東衆方仕之由承候…」「…従伏見大坂へ日用にて石を下候か勝手能候由…大坂御普請之儀…」	江戸城普請、大坂城普請
52	大日本近世史料 細川家史料一 細川忠興文書一	204	1	274	(元和六年)二月五日	二月五日書状	越忠	内記	「…其地(江戸)御普請町人に石被仰付に付、我々伊豆之石場彦兵衛・次郎助に被渡由尤候…」「…大坂御普請日用にて被仰付候分…まへかと方其つものに石用意仕候間可心安候…」	江戸城普請、大坂城普請
53	大日本近世史料 細川家史料一 細川忠興文書一	205	1	276	(元和六年)三月十九日	三月十九日書状	(忠興)	内記	「…其地(江戸)も御普請之由候、就其江戸・伊豆に在之大石・栗石御付立被成候由候…」「…大坂御普請に今迄おくれ不申…」「…城修理普請之儀も、右一度に大炊殿へ談合申候へは…」	江戸城普請、大坂城普請、小倉城の普請
54	大日本近世史料 細川家史料一 細川忠興文書一	208	1	283	(元和六年)三月廿九日	三月廿九日書状	忠	曾又左・内記	「…大坂御普請に付御奉行衆方下奉行へ被仰渡事…今度御石垣之内はれかましき所望被申衆御座候に付…」	大坂城普請
55	大日本近世史料 細川家史料一 細川忠興文書一	210	1	286	(元和六年)四月十八日	四月十八日書状	越	内記	「…来年江戸御普請之由…」「…又其元に被居候衆大坂御普請被仕分には…」	江戸城普請
56	大日本近世史料 細川家史料一 細川忠興文書一	212	1	291	(元和六年)六月八日	六月八日書状	(忠興)	内記	「…栗石之儀より主不聞事申に付…残而石三百・栗石百坪余鈴岡彦兵衛預分候間…」「…当城(小倉城)修理之普請可仕との従御奉行衆之御状請取…」	江戸城普請、小倉城普請
57	大日本近世史料 細川家史料一 細川忠興文書一	214	1	294	(元和六年)六月晦日	六月晦日書状	越	内記	「…然は大坂御普請も相済可申候間…され共大坂御普請十月中に可相済候…」	大坂城普請
58	大日本近世史料 細川家史料一 細川忠興文書一	215	1	296	(元和六年)七月三日	七月三日書状	越忠興	内記	「…大坂御普請之儀…われわれ普請にもおくれ不申候、石ちいさく無念につきくつれ候事も無之候…」	大坂城普請
59	大日本近世史料 細川家史料一 細川忠興文書一	217	1	300	(元和六年)九月十日	九月十日書状	越	内記	「…大坂御普請霜月中にならては出来候間敷由候…是は大坂御普請に諸国之者造左(作)仕候と 思召…」	大坂城普請
60	大日本近世史料 細川家史料一 細川忠興文書一	220	1	305	(元和六年)十月十三日	十月十三日書状	忠	内記	「…十日に大坂御普請見廻…」	大坂城普請
61	大日本近世史料 細川家史料一 細川忠興文書一	226	1	312	(元和六年)後十二月七日	閏十二月七日	越忠興	内記	「…大坂御普請衆へ遣候書状之返事…」	大坂城普請
62	大日本近世史料 細川家史料一 細川忠興文書一	247	1	328	(元和六年)八月二日	八月二日書状	越忠	内記	「…石場へ人上候儀は…くり石早々かい可被申候…其地(江戸)へ廻り候舟可被留置之由候…大石・くり石江戸にての上所之儀…」	江戸城普請
63	大日本近世史料 細川家史料一 細川忠興文書一	291	1	362	(元和七年)七月八日	七月八日書状	三斎宗立	内記	「…先度得御意候修理普請可仕之由御返事に候つれ共、大坂御普請御座候に付ゑ不仕、其俟置申候…」「…其元(小倉城)二・三之丸之へい、惣構之へいそこね候に付而、仕被直度由候、去々年(去年カ)候哉、修理普請仕度由御年寄中迄得御意候処に…」	大坂城普請、小倉城普請
64	大日本近世史料 細川家史料一 細川忠興文書一	307	1	380	(元和七年)九月廿日	九月廿日書状	三斎	内記	「…当城普請出来不仕分は不苦候間…」	中津城普請
65	大日本近世史料 細川家史料一 細川忠興文書一	309	1	383	(元和七年)九月廿六日	九月廿六日書状	三斎	内記	「…大坂御普請に無性仕者之儀、式部少(松井興長)を以申出候かと覚候、われわれ事に候へは失念候…」	大坂城普請
66	大日本近世史料 細川家史料二 細川忠興文書二	329	2	2	(元和八年)正月廿一日	正月廿一日書状	三斎宗立	内記	「…公方様西丸へ被成御移、 大納言様(徳川家光)は川越へ被成御座候由…」「…其地(江戸)我々新屋敷作事之儀に付…」	細川家江戸屋敷の普請
67	大日本近世史料 細川家史料二 細川忠興文書二	330	2	4	(元和八年)正月廿一日	正月廿一日書状	三斎宗立	内記	「…兎角手伝次第に作事は早出来可申候間…朝遅出晩景早帰候は、普請仕間在之間敷候…」	細川家江戸屋敷の普請

68	大日本近世史料 細川家史料二 細川忠興文書二	334	2	9	(元和八年)三月九日	三月九日書状	三斎宗立	内記	「…其地我等屋敷作事手伝之事…」	細川家江戸屋敷の普請
69	大日本近世史料 細川家史料二 細川忠興文書二	337	2	12	(元和八年)五月朔日	五月朔日書状	三斎宗立	内記	「…其元御普請に候へは…」「…当地作事之儀大炊殿へ申候へは…」	江戸城普請、中津城普請
70	大日本近世史料 細川家史料二 細川忠興文書二	339	2	16	(元和八年)六月十九日	六月十九日書状	三斎宗立	内記	「…御本丸御普請 被仰付由…」	江戸城普請
71	大日本近世史料 細川家史料二 細川忠興文書二	350	2	29	(元和八年)十二月八日	十二月八日書状	三斎宗立	内記	「一、小田原迄普請之者三十人差越候様ニと申遣候へハ、新屋敷普請ハとく済候ニ付、人を上せられ候ニ付…近日御暇出そうニ在之付、少余慶被申付之由…」	小田原普請、細川家江戸屋敷の普請
72	大日本近世史料 細川家史料二 細川忠興文書二	372	2	50	(元和九年)八月五日	八月五日書状	三斎	越中	「…前かと取置候石場にて候、かゝ民へ可被遣候…」	大坂城普請
73	大日本近世史料 細川家史料二 細川忠興文書二	381	2	59	(元和九年)九月三日	九月三日書状	三斎宗	越中	「…来年江戸・京・当所作事仕なをし申候…」	細川家京・江戸屋敷等の普請
74	大日本近世史料 細川家史料二 細川忠興文書二	407	2	84	(寛永元年)二月廿日	二月廿日書状	三斎宗	越中	「…大坂御普請之儀被仰付候は…御普請済候て後之事候哉…」	大坂城普請
75	大日本近世史料 細川家史料二 細川忠興文書二	470	2	141	(寛永三年)卯月廿二日	四月廿二日書状	三斎宗	越中	「…又大炊殿(土井利勝)京に而屋敷被取候而作事に付…」	土井利勝の京都屋敷の普請
76	大日本近世史料 細川家史料三 細川忠興文書三	646	3	33	(寛永五年)五月廿九日	五月廿九日書状	三斎	越中	「…大坂御普請之儀に気を遣可申と存候…」	大坂城普請
77	大日本近世史料 細川家史料三 細川忠興文書三	685	3	75	(寛永五年)九月廿六日	九月廿六日書状	三斎	越中	「…来年夏迄は無 御上洛定め、弥西之 御丸御普請之由…」	江戸城普請
78	大日本近世史料 細川家史料三 細川忠興文書三	719	3	116	(寛永五年)十二月廿一日	十二月廿一日書状	三斎	越中	「…来年伊豆方江戸へ御石積廻ス船…三月 御普請始に候間、其以前に伊豆方江戸へ石つみ廻シ候程に…」	江戸城普請
79	大日本近世史料 細川家史料三 細川忠興文書三	721	3	118	(寛永六年)正月十三日	正月十三日書状	三斎宗立	越中	「伊豆御普請に付、諸国へ被仰出船之儀…」「…大坂御普請、其方堅被申付、はやく出来之处…」	江戸城普請、大坂城普請
80	大日本近世史料 細川家史料三 細川忠興文書三	723	3	123	(寛永六年)正月廿五日	正月廿五日	三斎宗立	越中	「…伊豆へ廻り候舟之儀…」	江戸城普請
81	大日本近世史料 細川家史料三 細川忠興文書三	730	3	136	(寛永六年)閏二月十五日	閏二月十五日書状	三斎	越中	「…今度之御普請に付…其元御普請、四五月比には済可申由…」	江戸城普請
82	大日本近世史料 細川家史料三 細川忠興文書三	788	3	231	(寛永七年)正月廿七日	正月廿七日書状	三斎	越中	「…下屋敷へ移り、舞台作事半に候…」	細川家江戸屋敷の普請
83	大日本近世史料 細川家史料三 細川忠興文書三	791	3	238	(寛永七年)二月八日	二月八日書状	三斎	越中	「…我々下屋敷之舞台当月中に出来可申候…」	細川家江戸屋敷の普請
84	大日本近世史料 細川家史料三 細川忠興文書三	795	3	244	(寛永七年)三月二日	三月二日書状	三斎	越中	「…我々下屋敷之舞台もはや出来候へとも…其方も下屋敷之作事被申付候而…」	細川家江戸屋敷の普請
85	大日本近世史料 細川家史料三 細川忠興文書三	797	3	247	(寛永七年)三月十四日	三月十四日書状	三斎	越中	「…下屋敷之舞台も出来候へ共…」	細川家江戸屋敷の普請

86	大日本近世史料 細川家史料三 細川忠興文書三	801	3	257	(寛永七年)三月廿六日	三月廿六日書状	三斎	越中	「…其方下屋敷に大キ成作事之由候…」	細川家江戸屋敷の普請
87	大日本近世史料 細川家史料三 細川忠興文書三	807	3	268	(寛永七年)四月十七日	四月十七日書状	三斎	越中	「…海手之石垣ぬけ候所被申付候由候…」「我々下屋敷作事も舞台も出来候へ共…」	小倉城の普請、細川家江戸屋敷の普請
88	大日本近世史料 細川家史料三 細川忠興文書三	811	3	276	(寛永七年)五月十五日	五月十五日書状	三斎	越中	「…去十三桜(佐倉、下総印旛郡)へ被参候、城之堀などもさらへ、土居之くつれ候所普請在之由候…」	佐倉城普請
89	大日本近世史料 細川家史料三 細川忠興文書三	849	3	327	(寛永七年)十月廿九日	十月廿九日書状	三斎	越中	「…江戸下屋敷作事に付…」	細川家江戸屋敷の普請
90	大日本近世史料 細川家史料四 細川忠興文書四	863	4	18	(寛永八年)二月十八日	二月十八日書状	三斎	越中	「…祢々居所作事之事いかにもかるかると…」	烏丸祢々(細川忠利室)の居所の普請
91	大日本近世史料 細川家史料四 細川忠興文書四	947	4	167	(寛永九年)正月廿三日	正月廿三日書状	三斎	越中	「…延寿院(今大路正紹)やしき可被申請由…たとい作事は来年被仕候とても…」	今大路正紹屋敷の普請
92	大日本近世史料 細川家史料四 細川忠興文書四	977	4	221	(寛永九年)	(月日未詳)書状	(細川忠興)		「…土州(山内忠義)事きもをつふし申候、さりなから、城ふしんの事は在江戸の内に被得御意候物にて候…」	山内忠義の高知城普請
93	大日本近世史料 細川家史料四 細川忠興文書四	981	4	230	(寛永九年)七月十一日	七月十一日書状	三斎	越中	「…其方に肥後国被遣…」「…我々御暇被下下国候は、十月廿日廿二三日之内に中津へやうやう可為著候、それ方右之かり小屋へ移候事…右之かり小屋之普請仕事…」	細川家の肥後転封
94	大日本近世史料 細川家史料五 細川忠興文書五	1023	5	1	(寛永十年)正月三日	正月三日書状	三斎	越中	「…其小川方熊川迄すくに候、道四里計在之由候へ共、堤廻り候て十一里程有之由候、其堤は多分之儀に付、熊本方侍普請に年来申付之由候…」	熊本藩の堤の普請
95	大日本近世史料 細川家史料五 細川忠興文書五	1026	5	4	(寛永十年)正月七日	正月七日書状	三斎	越中	「…当所に有之材木以下之事…つきさしの石垣之儀も…」	八代城普請
96	大日本近世史料 細川家史料五 細川忠興文書五	1044	5	26	(寛永十年)正月廿九日	正月廿九日書状	三斎	越中	「…小田原御普請之由…」	小田原城普請
97	大日本近世史料 細川家史料五 細川忠興文書五	1049	5	31	(寛永十年)二月六日	二月六日書状	三斎	越中	「…只今申付ル石垣之儀…普請仕を毎度見申に付…」	熊本藩の堤の普請
98	大日本近世史料 細川家史料五 細川忠興文書五	1057	5	45	(寛永十年)二月十二日	二月十二日書状	三斎	越中	「…此書状石堤之普請見舞に参候处へ参著候…」	熊本藩の堤の普請
99	大日本近世史料 細川家史料五 細川忠興文書五	1059	5	47	(寛永十年)二月十四日	二月十四日書状	三斎	越中	「…石堤之儀、五六日中に出来可申かと存候事…」	熊本藩の堤の普請
100	大日本近世史料 細川家史料五 細川忠興文書五	1060	5	50	(寛永十年)二月十五日	二月十五日書状	三斎	越中	「…今度申付候石垣・川よけしからみ以下、天気能候は三四日中に出来可申候…」	熊本藩の堤の普請
101	大日本近世史料 細川家史料五 細川忠興文書五	1079	5	77	(寛永十年)四月二日	四月二日書状	三斎	越中	「…爰元作事之儀…」	八代城普請
102	大日本近世史料 細川家史料五 細川忠興文書五	1084	5	84	(寛永十年)四月十一日	四月十一日書状	三斎	越中	「…二丸屋敷作事之事に付…土居石垣之儀は、来秋か来春申上候へ…」	八代城普請
103	大日本近世史料 細川家史料五 細川忠興文書五	1091	5	95	(寛永十年)四月廿六日	四月廿六日書状	三斎	越中	「…爰元作事之儀に付…小川之さき海手之石垣垂(悪)所直シに…」	八代城普請

104	大日本近世史料 細川家史料五 細川忠興文書五	1095	5	100	(寛永十年)五月二日	五月二日書状	三斎	越中	「…茂兵衛可進候…此方方こしにのせ可進儀に候へ共…今度之普請に出候に付、人無之間、其方方迎可給候…」	八代城普請カ
105	大日本近世史料 細川家史料五 細川忠興文書五	1124	5	142	(寛永十年)七月朔日	七月朔日書状	三斎	越中	「…爰元堤之普請之儀は…」「…石溝之普請仕者も召連、少成共茶屋・家普請いそかせ可然由…」	熊本藩の堤の普請
106	大日本近世史料 細川家史料五 細川忠興文書五	1133	5	153	(寛永十年)八月十一日	八月十一日書状	三斎	越中	「…又来年江戸御作事之儀に付進物之儀承候…」	
107	大日本近世史料 細川家史料五 細川忠興文書五	1180	5	215	(寛永十一年)四月十七日	四月十七日書状	宗立	越中	「…熊本城普請之儀被申上候処…」	熊本城普請
108	大日本近世史料 細川家史料五 細川忠興文書五	1199	5	235	(寛永十一年)七月二日	七月二日書状	三斎	越中	「…池之石垣之事よく存候大工…地震などの時あふなく候間、石垣をつかせ候て可然由、作事奉行申に付…」	
109	大日本近世史料 細川家史料五 細川忠興文書五	1200	5	236	(寛永十一年)七月二日	七月二日書状	三斎	越中	「…せんすいの石垣之儀…板にても可申付由…」	
110	大日本近世史料 細川家史料五 細川忠興文書五	1286	5	319	(寛永十一年)十月十八日	十月十八日書状	三斎	越中	「…来々年江戸御普請之様子書付給候…」	江戸城普請
111	大日本近世史料 細川家史料五 細川忠興文書五	1294	5	327	(寛永十一年)十一月廿九日	十一月廿九日書状	三斎宗立	越中	「…来々年、江戸御普請石垣つきのせに成申に付、来月八日方石切なと被遣由…」	江戸城普請
112	大日本近世史料 細川家史料六 細川忠興文書六	1315	6	10	(寛永十二年)三月三日	三月三日書状	三斎	越中	「…当年其方へ見付之御石垣被 仰付由候而、熊本方其普請之者上候に付…」	江戸城普請
113	大日本近世史料 細川家史料六 細川忠興文書六	1391	6	85	(寛永十二年)九月廿三日	九月廿三日書状	三斎宗立	越中	「…先度八代之せゝり普請之儀に付…とても当年は作事も仕かね可申間…」	八代城普請
114	大日本近世史料 細川家史料六 細川忠興文書六	1392	6	87	(寛永十二年)十月十日	十月十日書状	三斎宗立	越中	「…猶普請之者上候時可申候…」	江戸城普請
115	大日本近世史料 細川家史料六 細川忠興文書六	1396	6	91	(寛永十二年)十月廿六日	十月廿六日	三斎宗立	越中	「…当地せゝりふしん・せゝり作事之事…」	八代城普請
116	大日本近世史料 細川家史料六 細川忠興文書六	1398	6	93	(寛永十二年)十一月九日	十一月九日書状	三斎宗立	越中	「…普請之者上候間…志方半兵衛・熊谷権太夫(真信)・永屋安左衛門尉三人に、普請之儀、万可被申付事…」	江戸城普請
117	大日本近世史料 細川家史料六 細川忠興文書六	1403	6	99	(寛永十二年)十二月廿日	十二月廿日書状	三斎宗立	越中	「…爰元作事、前之船入さらへ候事…」	八代城普請
118	大日本近世史料 細川家史料六 細川忠興文書六	1412	6	109	(寛永十三年)二月廿一日	二月廿一日書状	三斎宗立	越中	「…其元御普請、存之外はか参之由…」	江戸城普請
119	大日本近世史料 細川家史料六 細川忠興文書六	1413	6	110	(寛永十三年)二月廿四日	二月廿四日書状	三斎宗立	越中	「…当地船入、又河よけの石堤の事…はや用水普請とくに仕舞申候…」	八代船入・堤等の普請
120	大日本近世史料 細川家史料六 細川忠興文書六	1414	6	113	(寛永十三年)三月十三日	三月十三日書状	三斎宗立	越中	「…御普請も、はや掃地迄之由…」	江戸城普請
121	大日本近世史料 細川家史料六 細川忠興文書六	1415	6	114	(寛永十三年)三月廿六日	三月廿六日書状	三斎宗立	越中	「…其元御普請之様子…其後御普請出来候而…」「…先書に申候つる球麻川之石堤之水もり候所之繕可申付ため…」	江戸城普請、熊本藩八代領の堤の普請

122	大日本近世史料 細川家史料六 細川忠興文書六	1416	6	115	(寛永十三年)四月六日	四月六日書状	三斎宗立	越中	「…来年も其元御普請…残御普請は少之事にて可在之間…」 「…当地石堤船通之普請…用水之普請之儀…」	江戸城普請、熊本藩八代領の堤の普請
123	大日本近世史料 細川家史料六 細川忠興文書六	1417	6	118	(寛永十三年)四月十四日	四月十四日書状	三斎宗立	越中	「…御普請も済候へ共…掃除普請になり候てから左様に在之物候間…」	江戸城普請
124	大日本近世史料 細川家史料六 細川忠興文書六	1418	6	119	(寛永十三年)四月十九日	四月十九日書状	三斎宗立	越中	「…其元御普請相済…其方普請場 上様(徳川家光)被成 御覧、ご機嫌之由…」	江戸城普請
125	大日本近世史料 細川家史料六 細川忠興文書六	1420	6	121	(寛永十三年)五月廿六日	五月廿六日書状	三斎宗立	越中	「…普請之者共罷上に…御普請無残所出来候由…」 「…爰元当年もかたのことく大水にて…少々普請申付候…」	江戸城普請、熊本藩八代領の堤の普請
126	大日本近世史料 細川家史料六 細川忠興文書六	1422	6	124	(寛永十三年)六月六日	六月六日書状	三斎宗立	越中	「…来年も御普請候哉、其方は御用捨之由…」 「…爰元普請之儀は…」	江戸城普請、熊本藩八代領の堤の普請
127	大日本近世史料 細川家史料六 細川忠興文書六	1444	6	149	(寛永十三年)八月十二日	八月十二日書状	三斎宗立	越中	「…去春之普請にて堤は痛不申候…」	熊本藩八代領の堤の普請
128	大日本近世史料 細川家史料六 細川忠興文書六	1448	6	154	(寛永十三年)九月七日	九月七日書状	三斎宗立	越中	「…当町徳淵(肥後八代郡)方西北塩堤之切レ候所、先月普請被申付候を見申候へは…今月之内に普請之者五十人程給候はゞ…」	熊本藩八代領の堤の普請
129	大日本近世史料 細川家史料六 細川忠興文書六	1450	6	156	(寛永十三年)九月九日	九月九日書状	三斎宗立	越中	「…塩堤普請之儀…」	熊本藩八代領の堤の普請
130	大日本近世史料 細川家史料六 細川忠興文書六	1483	6	188	(寛永十四年)五月廿日	五月廿日書状	三斎宗立	越中	「一、新立候 御本丸之御家つふれ、大工手伝かけて廿人余も死…御家ゆかみ候を大つなをつけ引なをし候へは、つなきれてくつれ候由…是は誰々請取之御作事之内にて候哉、不入儀なから承度候事…」	江戸城本丸作事
131	大日本近世史料 細川家史料七 細川忠興文書七	1616	7	52	(寛永十六年)十二月廿五日	十二月廿五日書状	三斎宗立	越中	「…我々上屋敷之作事は、つゞくり普請之事に候間…」 「…御本丸之御作事も、来三月中に可為御移徙由…」	江戸城本丸作事、細川家江戸屋敷の普請
132	大日本近世史料 細川家史料七 細川忠興文書七	1635	7	73	(寛永十七年)七月廿九日	七月廿九日書状	三斎宗立	越中	「…又くつれ候所々の作事之儀…」	八代城普請
133	大日本近世史料 細川家史料七 細川忠興文書七	1646	7	83	(寛永十七年)八月十五日	八月十五日書状	三斎宗立	越中	「…当地本丸北之かたの石垣、今度之大雨に事之外ふくれ出、はやくつれ申候間…事之外大そうの普請に可成候…」	八代城普請
134	大日本近世史料 細川家史料七 細川忠興文書七	1647	7	84	(寛永十七年)八月十六日	八月十六日書状	三斎宗立	越中	「…爰元石垣為見廻…普請と見へ候はゞ如何候はんやと…」	八代城普請
135	大日本近世史料 細川家史料七 細川忠興文書七	1648	7	85	(寛永十七年)八月十七日	八月十七日書状	三斎宗立	越中	「…爰元石垣之事…其跡によしかきか、もがりか仕置…」	八代城普請
136	大日本近世史料 細川家史料七 細川忠興文書七	1659	7	97	(寛永十七年)九月十七日	九月十七日書状	三斎宗立	越中	「…爰元普請之儀に付…其俣石垣つき候様に、目といの方へ大石・くり石をよせ置…」	八代城普請
137	大日本近世史料 細川家史料七 細川忠興文書七	1660	7	99	(寛永十七年)九月廿七日	九月廿七日書状	三斎宗立	越中	「…本丸之石垣、前のことく可仕置由…」	八代城普請
138	大日本近世史料 細川家史料七 細川忠興文書七	1662	7	101	(寛永十七年)九月廿九日	九月廿九日書状	三斎宗立	越中	「…頓而江戸へ普請之儀申遣候…」	八代城普請
139	大日本近世史料 細川家史料七 細川忠興文書七	1663	7	102	(寛永十七年)十月三日	十月三日書状	三斎宗立	越中	「…爰元石垣之儀に付、村上善九郎只今江戸へ遣候…もはや爰元の普請あふなけ無之様に成候間…」	八代城普請

140	大日本近世史料 細川家史料七 細川忠興文書七	1664	7	103	(寛永十七年)十月四日	十月四日書状	三斎宗立	越中	「…村上善九郎に、江戸へ之状渡被遣之由…爰元之普請、事之外はか参候…」	八代城普請
141	大日本近世史料 細川家史料七 細川忠興文書七	1666	7	106	(寛永十七年)十月六日	十月六日書状	三斎宗立	越中	「…爰元石垣之儀…くり石・土之堺はやく候へは…」	八代城普請
142	大日本近世史料 細川家史料七 細川忠興文書七	1668	7	108	(寛永十七年)十月九日	十月九日書状	三斎宗立	越中	「…石垣、昨日ならしめて置、今日だめをさし申候、普請之者、明日は隙明可返と存候…」	八代城普請
143	大日本近世史料 細川家史料七 細川忠興文書七	1669	7	110	(寛永十七年)十月十日	十月十日書状	三斎宗立	越中	「…爰元普請、無残所さうち迄出来…」	八代城普請
144	大日本近世史料 細川家史料七 細川忠興文書七	1670	7	110	(寛永十七年)十月十二日	十月十二日書状	三斎宗立	越中	「…普請之者仕舞帰候に…無残所出来候…」	八代城普請
145	大日本近世史料 細川家史料七 細川忠興文書七	1671	7	112	(寛永十七年)十一月四日	十一月四日書状	三斎宗立	越中	「…先度之石垣つかせ給候所…」	八代城普請
146	大日本近世史料 細川家史料七 細川忠興文書七	1694	7	135	(寛永十八年)三月十三日	三月十三日書状	三斎宗立	越中	「…又先度くつれ石垣之事に付…」	八代城普請
147	大日本近世史料 細川家史料七 細川忠興文書七	1696	7	138	(慶長九年)四月十日	慶長九年四月十日書状	忠	内記	「…屋敷まわりよしかきの代之金子下候…普請之者可下事…作事之様子は、あとろ普請奉行に申付可下事…」	細川家江戸屋敷の普請
148	大日本近世史料 細川家史料七 細川忠興文書七	1709	7	152	(元和四年)十月十五日	元和四年十月十五日書状			「…来々年御普請之様子…我々石も三千と申遣候つれ共…伊豆之石場…くり石之儀も…」	江戸城普請
149	大日本近世史料 細川家史料七 細川忠興文書七	1724	7	170	(寛永三年)十二月廿九日	寛永三年十二月廿九日書状	三斎宗	越中	「…両 御所様之内、来夏か秋かの間に 御上洛たるへきの由候而、大坂御作事事之外御急之由…」	大坂城普請
150	大日本近世史料 細川家史料七 細川忠興文書七	1776	7	257	(寛永九年)十一月廿日	寛永九年十一月廿日書状	三斎	越中	「…鶴崎之茶屋やね以下やぶれあばれ候由聞及、造普請仕に人を遣候処に…」	鶴崎茶屋の普請
151	大日本近世史料 細川家史料七 細川忠興文書七	1780	7	264	(寛永九年)十一月廿二日	寛永九年十一月廿二日書状	三斎	越中	「…鶴崎之茶屋(豊後大分郡)へ、我等留守居共手廻シたてにやね以下繕に遣候事は…はや繕普請仕廻候跡にて候つる…うつけて繕普請に人を遣候儀候…」	鶴崎茶屋の普請
152	大日本近世史料 細川家史料七 細川忠興文書七	1797	7	292	(寛永九年)十二月廿五日	寛永九年十二月廿五日	三斎	越中	「…此中爰元之しきりの作事など申付候人足…」	
153	大日本近世史料 細川家史料七 細川忠興文書七	1803	7	303	(寛永十一年)正月七日	寛永十一年正月七日書状	宗立	越中	「…八代郡井手堤之普請…」	熊本藩八代領の堤の普請
154	大日本近世史料 細川家史料八 細川忠興文書八	1867	8	34	(寛永十三年)四月十四日	四月十四日書状	三斎	肥後	「…御普請之様子、越中所より申来候…」	江戸城普請
155	大日本近世史料 細川家史料八 細川忠興文書八	1869	8	36	(寛永十三年)六月廿八日	六月廿八日書状	三斎宗立	肥後	「…其内に其元之屋敷作事以下迄被 仰付可被進之由…」	細川家江戸屋敷の普請
156	大日本近世史料 細川家史料八 細川忠興文書八	1889	8	52	(寛永十四年)十月六日	十月六日書状	三斎宗立	肥後	「…其方なとも登城被申、御作事被見候処に…」	江戸城普請
157	大日本近世史料 細川家史料八 細川忠興文書八	1935	8	100	(寛永十七年)十月三日	寛永十七年十月三日書状案	三斎宗立	松平伊豆守様(信綱)・阿部豊後守様(忠秋)・阿部対馬守様(重次)人々御中	「…八代本丸石垣くつれさうに御座候に付…もとのことく普請可申付旨被仰下候…」	八代城普請

158	大日本近世史料 細川家史料八 細川忠興文書八	1936	8	101	(寛永十七年)十月三日	寛永十七年十月三日書状案	三斎宗立	酒讃岐守様(酒井忠勝)人々御中	「…八代本丸石垣くつれさうに御座候に付…はや御老中ゝもとのことく普請可申付旨…」	八代城普請
159	大日本近世史料 細川家史料八 細川忠利文書一	1	8	109	(元和六年)正月十日	正月十日書状案	(細川忠利)	長岡式部少輔(松井与長)	「…大坂御普請之儀、坪数いまた相定不申候…」	大坂城普請
160	大日本近世史料 細川家史料八 細川忠利文書一	2	8	111	(元和六年)正月十五日	正月十五日書状案	(細川忠利)	長岡式部少輔(松井与長)	「…江戸も御普請之用意と聞へ申候…伊豆にて誰々石場にて成とも可致用意之由被仰出、とりかちに石場を町人取申候間…爰元御用意之大石・くり石不残売申候とも…」「…大坂御普請、只今迄日雇之仕立候分…」	元和6年の江戸城普請、元和6年の大坂城普請
161	大日本近世史料 細川家史料八 細川忠利文書一	3	8	113	(元和六年)正月廿四日	正月廿四日書状案	(細川忠利)	長岡式部少輔(松井与長)	「…大坂御普請之様子…」	大坂城普請
162	大日本近世史料 細川家史料八 細川忠利文書一	4	8	114	(元和六年)二月五日	二月五日書状案	(細川忠利)	長舟十右衛門	「…前かとさま石御進上候上は…つき石・くり石何程江戸に有之そと御申越候間…」「…大坂御普請、相易さたも無御座候…」	江戸城普請、大坂城普請
163	大日本近世史料 細川家史料八 細川忠利文書一	5	8	117	(元和六年)二月十四日	二月十四日書状案	(細川忠利)	長舟十右衛門	「…東大名衆へ御普請仕候へと被仰出候…大石三千・栗石五百坪程…」	江戸城普請
164	大日本近世史料 細川家史料八 細川忠利文書一	6	8	119	(元和六年)二月廿五日	二月廿五日書状案	(細川忠利)	長舟十右衛門	「…従 公方様江戸中、又伊豆中之大石・くり石御奉行被遣悉被成御付…」「…大坂之御普請被仰付…」	江戸城普請、大坂城普請
165	大日本近世史料 細川家史料八 細川忠利文書一	7	8	122	(元和六年)三月朔日	三月朔日書状案	(細川忠利)	長船十右衛門	「…爰元石・栗石之儀…」「…大坂御普請、如形御用意被仰付由…」	江戸城普請、大坂城普請
166	大日本近世史料 細川家史料八 細川忠利文書一	9	8	126	(元和六年)三月七日	三月七日書状案	(細川忠利)	長船十右衛門尉	「…初而御上洛にて候間、いつれも大名衆可被上候、左様に候へ、御普請方々何も可為苦劳候間、当年は御上洛相やめられ…」	家光等上洛に伴う普請、家光等上洛の中止
167	大日本近世史料 細川家史料八 細川忠利文書一	12	8	130	(元和六年)三月十六日	三月十六日書状案	(細川忠利)	長船十右衛門	「…大坂御普請御おくれ不被成候様に、可被仰付候…」	大坂城普請
168	大日本近世史料 細川家史料八 細川忠利文書一	15	8	135	(元和六年)三月晦日	三月晦日書状案	(細川忠利)	長船十右衛門	「…爰元にて千坪之御くり石之内…来年は、江戸御本丸悉御天守・御家迄直り申候…」「…大坂御普請被仰付候者共、飛脚差越申候間…来年は…大坂堀・矢倉なども被仰付候間…」	江戸城普請、大坂城普請
169	大日本近世史料 細川家史料八 細川忠利文書一	16	8	137	(元和六年)卯月八日	四月八日書状案	(細川忠利)	長舟十右衛門	「…江戸に御座候石・くり石之内…」「…大坂御普請被仰付様子承…」	江戸城普請、大坂城普請
170	大日本近世史料 細川家史料八 細川忠利文書一	17	8	139	(元和六年)卯月十三日	四月十三日書状案	(細川忠利)	長舟十右衛門	「…今度御進上之大石・栗石之儀…」「…大坂御普請被仰付様承、致安堵候…大坂御のそみの町場之儀も…」「…小倉修理之御普請…」	江戸城普請、大坂城普請、小倉城の普請
171	大日本近世史料 細川家史料八 細川忠利文書一	20	8	145	(元和六年)卯月十七日	四月十七日書状案	(細川忠利)	長舟十右衛門	「…大炊殿(土井利勝)御普請之儀に付而御心入之御礼…大坂西御丸北之大角被成御望之由…」	大坂城普請
172	大日本近世史料 細川家史料八 細川忠利文書一	24	8	151	(元和六年)五月十五日	五月十五日書状案	(細川忠利)	長舟十右衛門	「…渡辺筑後(勝)、大坂御普請之儀に付而、無残所被肝煎候由…」	大坂城普請
173	大日本近世史料 細川家史料八 細川忠利文書一	26	8	154	(元和六年)六月八日	六月八日書状案	(細川忠利)	長舟十右衛門	「…大坂御普請之様子…根石之はしまり其外土居のぬけ候儀…」	大坂城普請
174	大日本近世史料 細川家史料八 細川忠利文書一	29	8	160	(元和六年)六月廿六日	六月廿六日書状案	(細川忠利)	長舟十右衛門	「…爰元に御座候御石三百・栗石百坪余…并くり石はもとゝたかく売申候、大石は公儀へ石をめし候…」	江戸城普請

175	大日本近世史料 細川家史料八 細川忠利文書一	31	8	161	(元和六年)八月七日	八月七日書状案	(細川忠利)	長舟十右衛門	「…爰元御普請も、十月は不殘出来可仕と申候…」 「…大坂御普請之様子、国々を被申上候様子申上候処に…」	江戸城普請、大坂城普請
176	大日本近世史料 細川家史料八 細川忠利文書一	33	8	167	(元和六年)八月十四日	八月十四日書状案	(細川忠利)	魚住伝左衛門	「…田中筑後(忠政)相果申に付而…」 「…大坂田中普請は…」	大坂城普請、田中忠政の死去
177	大日本近世史料 細川家史料八 細川忠利文書一	51	8	196	(元和六年)八月廿八日	八月廿八日書状案	(細川忠利)	魚住伝左衛門	「…松土州(山内忠義)も身上不罷成により、国々材木出し普請にて、大坂御普請御免之由にて御暇と申候…」	大坂城普請
178	大日本近世史料 細川家史料八 細川忠利文書一	61	8	207	(元和七年)九月廿五日	九月廿五日書状案	(細川忠利)	魚住伝左衛門	「…大坂御普請に無性仕候者、知行被召上候者とも、御ふちかた被下候筈之様に被仰出候由…」	大坂城普請
179	大日本近世史料 細川家史料八 細川忠利文書一	62	8	208	(元和七年)九月廿七日	九月廿七日書状案	(細川忠利)	魚住伝左衛門	「…大坂御普請無性仕者…いかやうにも能様に可申付之由…」	大坂城普請
180	大日本近世史料 細川家史料八 細川忠利文書一	63	8	209	(元和七年)九月廿九日	九月廿九日書状案	(細川忠利)	魚住伝左衛門	「…来々年の大坂御普請家中之入目にも仕度と存…」	大坂城普請
181	大日本近世史料 細川家史料八 細川忠利文書一	78	8	224	(元和七年)極月晦日	十二月晦日書状案	(細川忠利)	魚住伝左衛門	「一、大炊殿城普請被仕候儀…」	佐倉城普請
182	大日本近世史料 細川家史料九 細川忠利文書二	86	9	9	(元和八年)三月五日	三月五日書状案	(細川忠利)	魚住伝左衛門	「…公方様(徳川秀忠)西ノ丸へ御移被成、御本丸御普請可有御座儀に御座候処に、石も寄せ…」	江戸城普請
183	大日本近世史料 細川家史料九 細川忠利文書二	88	9	12	(元和八年)三月廿六日	三月廿六日書状案	(細川忠利)	魚住伝左衛門尉	「…乃美主水(景嘉)・吉住半四郎(正景)に大炊殿(土井利勝)まで被仰遣候其元御普請之事…」 「爰元御普請に石をは被成御寄候へとも…」	江戸城普請、中津城普請
184	大日本近世史料 細川家史料九 細川忠利文書二	89	9	14	(元和八年)四月七日	四月七日書状案	(細川忠利)	魚住伝左衛門尉	「…江戸御普請、よせ石までにて…爰元御本丸御普請に候へは…」	江戸城普請
185	大日本近世史料 細川家史料九 細川忠利文書二	90	9	15	(元和八年)四月十二日	四月十二日書状案	(細川忠利)	魚住伝左衛門	「…御屋敷御普請之様子…御長屋之下石垣之石…」 「御本丸御石伊豆を参著之内…御天主之石共寄不申候故…」	江戸城普請、細川家江戸屋敷の普請
186	大日本近世史料 細川家史料九 細川忠利文書二	93	9	19	(元和八年)四月廿四日	四月廿四書状案	(細川忠利)	魚住伝左衛門尉	「…御屋敷御作事之儀…」	細川家江戸屋敷の普請
187	大日本近世史料 細川家史料九 細川忠利文書二	95	9	21	(元和八年)五月廿二日	五月廿二日書状案	(細川忠利)	魚住伝左衛門	「…御本丸御普請則被仰付候…」	江戸城普請
188	大日本近世史料 細川家史料九 細川忠利文書二	98	9	24	(元和八年)六月廿六日	六月廿六日書状案	(細川忠利)	魚住伝左衛門	「…御本丸御作事も九月初は出来可仕と申候…」	江戸城普請
189	大日本近世史料 細川家史料九 細川忠利文書二	104	9	30	(元和八年)七月晦日	七月晦日書状案	(細川忠利)	魚住伝左衛門尉	「…御屋敷御普請も九月中には出来可仕と存候…」	細川家江戸屋敷の普請
190	大日本近世史料 細川家史料九 細川忠利文書二	119	9	53	(元和八年)十二月二日書状案	十二月二日書状案	(細川忠利)	魚住伝左衛門尉	「…小田原(相模足柄郡)に而石を御取被成候間、普請之者三十人…」	江戸城普請
191	大日本近世史料 細川家史料九 細川忠利文書二	130	9	61	(元和九年)九月四日	九月四日書状案	(細川忠利)	魚住伝左衛門	「…次御普請に人を上せ申候事…」	大坂城普請
192	大日本近世史料 細川家史料九 細川忠利文書二	149	9	78	(寛永元年)二月十九日	二月十九日書状案	(細川忠利)	長舟十右衛門	「…大炊殿(土井利勝)をは御普請中は我等なども不罷上様に被申入由…先年大坂御普請之並たるべく候間…」	大坂城普請

193	大日本近世史料 細川家史料九 細川忠利文書二	150	9	79	(寛永元年)卯月十三日	四月十三日書状案	(細川忠利)	長舟十右衛門尉	「…大坂手前御普請之儀もはか参候由…」	大坂城普請
194	大日本近世史料 細川家史料九 細川忠利文書二	151	9	80	(寛永元年)卯月廿九日	四月廿九日書状案	(細川忠利)	続少助(重友)	「…爰元御譜代衆をはしめ不残、西之丸御家御普請被仰付候…」	江戸城普請
195	大日本近世史料 細川家史料九 細川忠利文書二	163	9	91	(寛永元年)八月廿四日	八月廿四日書状案	(細川忠利)	続少助(重友)	「…来年は西丸石垣に(ママ)罷成、いつれも普請仕候間…」 「…玄番殿縁辺之儀、其以後内儀方作事之用意も無御座候…おく方の作事可被仰越候哉…」	大坂城普請、細川家江戸屋敷の普請
196	大日本近世史料 細川家史料九 細川忠利文書二	221	9	144	(寛永三年)十二月廿九日	十二月廿九日書状案	(細川忠利)	長舟十右衛門	「…夏か秋か、両 御所様(徳川秀忠・同家光)之間、御上洛と申来候、大坂御家之御普請…」	
197	大日本近世史料 細川家史料九 細川忠利文書二	241	9	164	(寛永四年)霜月十二日	十一月十二日書状案	(細川忠利)	貴田権内(政時)	「…来年御普請前にても御座候間…」	大坂城普請
198	大日本近世史料 細川家史料九 細川忠利文書二	256	9	176	(寛永五年)六月二日	六月二日書状案	(細川忠利)	長舟十右衛門	「…大坂御普請之儀に気を遣可申と被思召候段…」	大坂城普請
199	大日本近世史料 細川家史料九 細川忠利文書二	261	9	180	(寛永五年)七月十二日	七月十二日書状案	(細川忠利)	貴田権内(政時)	「…大坂御普請も石垣之分を仕舞…」	大坂城普請
200	大日本近世史料 細川家史料九 細川忠利文書二	281	9	201	(寛永五年)十二月二日	十二月二日書状案	(細川忠利)	貴田権内(政時)	「…来年江戸御普請に相極候…」	江戸城普請
201	大日本近世史料 細川家史料九 細川忠利文書二	282	9	202	(寛永五年)十二月十九日	十二月十九日書状案	(細川忠利)	貴田権内(政時)	「…我等も大坂御普請精を出シ申候付而…」	大坂城普請
202	大日本近世史料 細川家史料九 細川忠利文書二	285	9	208	(寛永六年)正月六日	正月六日書状案	(細川忠利)	貴田権内(政時)	「…伊豆へ廻申候舟之儀…御普請にて事之外闇敷体にて御座候…」	江戸城普請
203	大日本近世史料 細川家史料九 細川忠利文書二	286	9	210	(寛永六年)正月十八日	正月十八日書状案	(細川忠利)	貴田権内(政時)	「…爰元御城普請候へは…」	江戸城普請
204	大日本近世史料 細川家史料九 細川忠利文書二	292	9	217	(寛永六年)二月十五日	二月十五日書状案	(細川忠利)	貴田権内(政時)	「…西丸御普請に…」	江戸城普請
205	大日本近世史料 細川家史料九 細川忠利文書二	294	9	219	(寛永六年)二月晦日	二月晦日書状案	(細川忠利)	貴田権内(政時)	「…爰元御普請、四五月之比は渡可申候…」	江戸城普請
206	大日本近世史料 細川家史料九 細川忠利文書二	300	9	226	(寛永六年)閏二月十五日	閏二月十五日書状案	(細川忠利)	貴田権内(政時)	「…爰元御普請衆に被下御用之由に御座候事…」	江戸城普請
207	大日本近世史料 細川家史料九 細川忠利文書二	307	9	239	(寛永六年)卯月五日	四月五日書状案	(細川忠利)	貴田権内(政時)	「…従御屋敷御普請之者罷上候由御座候間…」	細川家江戸屋敷の普請
208	大日本近世史料 細川家史料九 細川忠利文書二	331	9	268	(寛永六年)八月七日	八月七日書状案	(細川忠利)	貴田権内(政時)	「…節々御鷹野にて御無病之由、目出度儀共奉存候…此比は陣普請は無御座…」	
209	大日本近世史料 細川家史料九 細川忠利文書二	368	9	315	(寛永七年)卯月廿一日	四月廿一日書状案	(細川忠利)	貴田半左衛門尉(政時)	「…我等屋敷作事仕候付而…」	細川家江戸屋敷の普請
210	大日本近世史料 細川家史料九 細川忠利文書二	370	9	317	(寛永七年)五月廿日	五月廿日書状案	(細川忠利)	貴田半左衛門尉(政時)	「…御下屋敷御作事も…」	細川家江戸屋敷の普請

211	大日本近世史料 細川家史料九 細川忠利文書二	372	9	320	(寛永七年)六月廿一日	六月廿一日書状案	(細川忠利)	貴田半左衛門尉	「…大炊殿(土井利勝)も…在所へ被参、城之普請などの由…」	佐倉城普請
212	大日本近世史料 細川家史料十 細川忠利文書三	416	10	22	(寛永八年)三月朔日	三月朔日書状案	(細川忠利)	貴田半左衛門尉	「…祢々おうへ(烏丸光賢女)の事…其上作事に存子細御座候…部屋部屋をしつらひ…」	細川忠利室(烏丸光賢女)の家の作事
213	大日本近世史料 細川家史料十 細川忠利文書三	485	10	141	(寛永八年)十二月十七日	十二月十七日書状案	(細川忠利)	貴田半左衛門尉	「…先年大坂御普請、加藤左馬助殿(嘉明)町場之内、水たゞきふくれ申に付而、出人にて直候へとの儀に付而…」	大坂城加藤嘉明丁場の修築
214	大日本近世史料 細川家史料十 細川忠利文書三	486	10	142	(寛永八年)十二月十八日	十二月十八日書状案	(細川忠利)	貴田半左衛門尉	「…加左馬(加藤嘉明)大坂石垣少ふくれ申に付而、出人にて直可申之由被仰出…普請少之儀にて御座候事…」	大坂城加藤嘉明丁場の修築
215	大日本近世史料 細川家史料十 細川忠利文書三	518	10	199	(寛永九年)八月六日	八月六日追而書案	(細川忠利)	貴田半左衛門尉	「…松土州(山内忠義)事…惣構之堀をほり被申候…不得御意左様之普請被仕候はゞ…」	高知城普請
216	大日本近世史料 細川家史料十 細川忠利文書三	551	10	249	(寛永九年)霜月廿一日	十一月廿一日書状案	(細川忠利)	魚住伝左衛門尉	「…鶴崎茶や御留守居御普請申付候由聞召…」	鶴崎茶屋の普請
217	大日本近世史料 細川家史料十一 細川忠利文書四	571	11	1	(寛永十年)正月三日	正月三日書状案	(細川忠利)	魚住伝左衛門尉	「…はや井手堤之普請之儀も…」 「八代郡益城郡との間ニ大キ成堤、是ハ熊本方年来侍普請ニ肥後ハ被申付候由…」	熊本藩領の堤の普請
218	大日本近世史料 細川家史料十一 細川忠利文書四	575	11	6	(寛永十年)正月八日	正月八日書状案	(細川忠利)	魚住伝左衛門尉	「…石御直被成候儀ハ…石垣被成御築候儀は…」	八代城普請
219	大日本近世史料 細川家史料十一 細川忠利文書四	575 (附)	11	8	(寛永十年)	(月日未詳)細川忠興 覚書案 幕府年寄等宛	(細川忠利)		「…八代存之外石垣・堀など見事に御座候事…石垣をつきさしたる二之丸一ツ御座候、普請無首尾に付…此丸に作事申付度候…つきさしたる石垣つみ申程大石・くり石彼丸之中へ寄置候…」	八代城普請
220	大日本近世史料 細川家史料十一 細川忠利文書四	579	11	13	(寛永十年)正月十六日	正月十六日書状案	(細川忠利)	魚住伝左衛門尉	「…江戸へ普請之者下申候…上屋敷に小屋をかけ…」	細川家江戸屋敷の普請
221	大日本近世史料 細川家史料十一 細川忠利文書四	590	11	24	(寛永十年)二月五日	二月五日書状案	(細川忠利)	魚住伝左衛門尉	「…其外百姓申候井手堤之分は、正月十一日方于今申付儀に御座候…」	熊本藩領の堤の普請
222	大日本近世史料 細川家史料十一 細川忠利文書四	591	11	25	(寛永十年)二月五日	二月五日書状案	(細川忠利)	魚住伝左衛門尉	「…又井手をせき上候普請…」	熊本藩領の堤の普請
223	大日本近世史料 細川家史料十一 細川忠利文書四	594	11	29	(寛永十年)二月九日	二月九日書状案	(細川忠利)	魚住伝左衛門尉	「…御普請之御書付…爰元方申付普請之内かと奉存候つる…当国ほか様之普請多所は、美濃国之外ニ不承候事…」	
224	大日本近世史料 細川家史料十一 細川忠利文書四	596	11	34	(寛永十年)二月十一日	二月十一日書状案	(細川忠利)	魚住伝左衛門尉	「…奉公人之儀…八代侍共に、普請可被仰付体に而無御座候…」	
225	大日本近世史料 細川家史料十一 細川忠利文書四	607	11	48	(寛永十年)三月九日	三月九日書状案	(細川忠利)	魚住伝左衛門尉	「…小倉御普請御座候時、其ものニ御預之城ニ普請御座候へは…」	
226	大日本近世史料 細川家史料十一 細川忠利文書四	612	11	55	(寛永十年)四月二日	四月二日書状案	(細川忠利)	魚住伝左衛門尉	「…其元御普請之事…」	八代城普請
227	大日本近世史料 細川家史料十一 細川忠利文書四	619	11	65	(寛永十年)四月十一日	四月十一日書状案	(細川忠利)	魚住伝左衛門尉	「…御作事も可被成由…土井(居、以下同ジ)・石垣之儀は、来秋か来春被仰上候へ…」	八代城普請
228	大日本近世史料 細川家史料十一 細川忠利文書四	628	11	75	(寛永十年)四月廿六日	四月廿六日書状案	(細川忠利)	魚住伝左衛門尉	「…其元御家御普請、つゆの内にも被仰付候哉…」	八代城普請

229	大日本近世史料 細川家史料十一 細川忠利文書四	660	11	118	(寛永十年)七月十四日	七月十四日書状案	(細川忠利)	魚住伝左衛門尉	「…普請之者百姓迄罷出候故…」	八代城普請
230	大日本近世史料 細川家史料十一 細川忠利文書四	666	11	125	(寛永十年)八月朔日	八月朔日書状案	(細川忠利)	魚住伝左衛門尉	「…又其元御作事やみ申候由…」	八代城普請
231	大日本近世史料 細川家史料十一 細川忠利文書四	667	11	125	(寛永十年)八月十一日	八月十一日書状案	(細川忠利)	魚住伝左衛門尉	「…来年之御作事に不殘進物上申候へ共…」	江戸城作事
232	大日本近世史料 細川家史料十一 細川忠利文書四	695	11	160	(寛永十年)十一月廿四日	十一月廿四日書状案	(細川忠利)	魚住伝左衛門尉	「…稻丹州(稻葉正勝)も御暇にて、去廿一日に小田原(相模足柄郡)へ被歸候、小田原之城作事出来仕…」	小田原城普請
233	大日本近世史料 細川家史料十一 細川忠利文書四	706	11	175	(寛永十一年)二月十一日	二月十一日請書案	(細川忠利)	魚住伝左衛門尉	「…八代郡井手堤、事之外普請御座候由…」	熊本藩領の堤の普請
234	大日本近世史料 細川家史料十一 細川忠利文書四	722	11	196	(寛永十一年)五月三日	五月三日書状案	(細川忠利)	魚住伝左衛門尉	「…其元井手堤出来候へ共…堤普請も不成所御座候而…」	熊本藩領の堤の普請
235	大日本近世史料 細川家史料十一 細川忠利文書四	729	11	203	(寛永十一年)六月廿七日	六月廿七日書状案	(細川忠利)	佐方与左衛門尉(友信)	「…今度八代新御作事所に、池を御ほり被成候哉…」	八代城普請
236	大日本近世史料 細川家史料十一 細川忠利文書四	730	11	204	(寛永十一年)七月二日	七月二日書状案	(細川忠利)	魚住伝左衛門尉	「…八代池之事…地震のため石垣をつかせ可然由…」	八代城普請
237	大日本近世史料 細川家史料十一 細川忠利文書四	751	11	222	(寛永十一年)閏七月廿九日	閏七月廿九日書状案	越中	佐方与左衛門尉(友信)	「…八代御庭之池之事…」	八代城普請
238	大日本近世史料 細川家史料十一 細川忠利文書四	753	11	224	(寛永十一年)八月十五日	八月十五日書状案	(細川忠利)	佐方与左衛門尉(友信)	「…備前(小笠原長元)も大坂之御普請には不罷上候…」・「…休斎儀は、江戸之大普請之時之借銀と哉覧申候…」	江戸城普請
239	大日本近世史料 細川家史料十一 細川忠利文書四	768	11	240	(寛永十一年)十月十八日	十月十八日書状案	(細川忠利)	魚住伝左衛門尉	「…又来々年早々方江戸石垣被仰付候…」	江戸城普請
240	大日本近世史料 細川家史料十一 細川忠利文書四	769	11	241	(寛永十一年)十月十九日	十月十九日書状案	(細川忠利)	魚住伝左衛門尉	「…来々年御普請之儀に付而、用意申付候儀は、小屋場、又は石垣之土代木・橋之道具鉄…」	江戸城普請
241	大日本近世史料 細川家史料十一 細川忠利文書四	775	11	246	(寛永十一年)十一月廿九日	十一月廿九日書状案	(細川忠利)	魚住伝左衛門尉	「…石切共少伊豆へ遣に付而…」	江戸城普請
242	大日本近世史料 細川家史料十一 細川忠利文書四	776	11	247	(寛永十一年)十一月廿九日	十一月廿九日追而書案	(細川忠利)	魚住伝左衛門尉	「…今度之伊豆へ遣候普請人…」	江戸城普請
243	大日本近世史料 細川家史料十二 細川忠利文書五	813	12	36	(寛永十二年)九月十七日	九月十七日書状案	(細川忠利)	佐方与左衛門尉(友信)	「…八代へかかり物之儀御理り御座候間…勿論普請のかかり物なとは…」	八代城普請
244	大日本近世史料 細川家史料十二 細川忠利文書五	814	12	37	(寛永十二年)九月廿九日	九月廿九日書状案	(細川忠利)	佐方与左衛門尉(友信)	「…御二ノ丸はや御普請にて…」	江戸城普請
245	大日本近世史料 細川家史料十二 細川忠利文書五	815	12	39	(寛永十二年)十月二日	十月二日書状案	(細川忠利)	佐方与左衛門尉(友信)	「…普請之者罷上事…」	
246	大日本近世史料 細川家史料十二 細川忠利文書五	816	12	40	(寛永十二年)十月八日	十月八日書状案	(細川忠利)	佐方与左衛門尉(友信)	「…讃岐殿(酒井忠勝)にて、御申渡候つる其元御普請之事…」	八代城普請

247	大日本近世史料 細川家史料十二 細川忠利文書五	821	12	46	(寛永十二年)十二月三日	十二月三日書状案	(細川忠利)	佐方与左衛門尉(友信)	「…天主之御取つき…又船通石つゝみの儀も、来年可被 仰越之由…」	八代城普請
248	大日本近世史料 細川家史料十二 細川忠利文書五	824	12	49	(寛永十三年)三月朔日	三月朔日書状案	(細川忠利)	佐方与左衛門尉(友信)	「…御普請もはや掃除計に罷成候…」	江戸城普請
249	大日本近世史料 細川家史料十二 細川忠利文書五	825	12	51	(寛永十三年)三月廿一日	三月廿一日書状案	(細川忠利)	佐方与左衛門尉(友信)	「…来年も爰元御普請、其外、駿河・二条・伊勢之かめ山(亀山、鈴鹿郡)を関(鈴鹿郡)ノ地藏へ被成御引候御普請に付而、当年普請被仕候衆も、めんく 望を被申上候…」「…其元舟入川除之石堤之儀…其許普請之儀は我等所へ可被仰越候へとも…」	江戸城普請、伊勢関地藏茶屋の普請、八代城普請
250	大日本近世史料 細川家史料十二 細川忠利文書五	826	12	53	(寛永十三年)四月朔日	四月朔日書状案	(細川忠利)	佐方与左衛門尉(友信)	「…御普請も不残済候へ共…」	江戸城普請
251	大日本近世史料 細川家史料十二 細川忠利文書五	827	12	56	(寛永十三年)四月七日	四月七日書状案	(細川忠利)	佐方与左衛門尉(友信)	「…何も其元方 参候普請人、無油断御普請相勤申候…」	江戸城普請
252	大日本近世史料 細川家史料十二 細川忠利文書五	829	12	58	(寛永十三年)五月八日	五月八日書状案	(細川忠利)	佐方与左衛門尉(友信)	「…存之外御普請相済候而より日用普請被仰付…」「天主之取付…舟通り并つゝみの石垣の儀は…」	江戸城普請、八代城普請
253	大日本近世史料 細川家史料十二 細川忠利文書五	862	12	93	(寛永十四年)四月五日	四月五日書状案	(細川忠利)	一楽(中沢)	「…又普請人など千余被連候へとも…矢倉之下地底に石を入可申候…」	
254	大日本近世史料 細川家史料十二 細川忠利文書五	865	12	99	(寛永十四年)卯月廿一日	四月廿一日書状案	(細川忠利)	一楽(中沢)	「…東照権現之御宮之石垣…今月初(五日)に普請之者大勢有之所へ空より鶴式ツすはり申に付…」	江戸城二ノ丸東照社の普請
255	大日本近世史料 細川家史料十二 細川忠利文書五	871	12	107	(寛永十四年)六月九日	六月九日書状案	(細川忠利)	一楽(中沢)	「…御本丸新敷立候御家引つぶし候御奉行 聞召度由…」「…四五日以前松平周防(松井康重)普請之者…」	江戸城普請
256	大日本近世史料 細川家史料十二 細川忠利文書五	878	12	118	(寛永十四年)七月二日	七月二日書状案	(細川忠利)	一楽(中沢)	「…大方御本丸御普請出来仕候…」	江戸城普請
257	大日本近世史料 細川家史料十二 細川忠利文書五	881	12	123	(寛永十四年)七月十九日	七月十九日書状案	(細川忠利)	一楽(中沢)	「…緩々と御本丸御普請と申候…」「…又熊本普請、御煩之内は堀なとほり候事不入事と…」	江戸城普請、熊本城普請
258	大日本近世史料 細川家史料十二 細川忠利文書五	916	12	183	(寛永十五年)二月十八日	二月十八日書状案	(細川忠利)	一楽(中沢)	「…城へ近普請にて御座候故、城中方 礫を事之外打申に付而、普請仕にくく御座候故、帆柱を立帆をはり候て、其かけにて普請申付候…」	島原の乱における普請
259	大日本近世史料 細川家史料十二 細川忠利文書五	918	12	186	(寛永十五年)二月廿二日	二月廿二日書状案	(細川忠利)	一楽(中沢)	「…事之外築山・勢楼之台、其外普請しけく…」	島原の乱における普請
260	大日本近世史料 細川家史料十二 細川忠利文書五	922	12	196	(寛永十五年)三月朔日	三月朔日書状案	(細川忠利)	一楽(中沢)	「…其上城石垣以下わり候普請御座候に付…」	島原の乱における普請
261	大日本近世史料 細川家史料十二 細川忠利文書五	985	12	267	(寛永十六年)八月廿一日	八月廿一日書状案〔当番中宛〕	(細川忠利)	当番中	「…八代之大工御用済、御上せ被成候由申候、罷下次而に、作事仕たかり候ものも候はゞ…」	
262	大日本近世史料 細川家史料十二 細川忠利文書五	1013	12	288	(寛永十六年)十二月廿日	十二月廿日書状案	(細川忠利)	一楽(中沢)	「…御本丸御作事も、三月は可為御移徙と申候…」「…何時御作事被 仰付候共、長屋へ居替申候か、無左候は、我等屋敷へ可参と申候間、何時御作事被仰付候共、つかへ候様には有御座間敷候…」	江戸城本丸作事、細川家江戸屋敷の普請
263	大日本近世史料 細川家史料十二 細川忠利文書五	1014	12	291	(寛永十六年)極月廿二日	十二月廿二日書状案	(細川忠利)	一楽(中沢)	「…御本丸御殿不残屋ね出来仕、内作事計にて御座候、弥三月中御移徙たるへきと奉存候事…」	江戸城本丸作事

264	大日本近世史料 細川家史料十三 細川忠利文書六	1018	13	4	(寛永十七年)二月十七日	二月十七日書状案	(細川忠利)	一楽(中沢)	「…加藤源太郎(良勝)と申人之家けつかうに御目に立…家是不残こはし、たてなをされ候、其に付、其類之衆目に立候作事は大方なをされ候よし申候…」	
265	大日本近世史料 細川家史料十三 細川忠利文書六	1046	13	32	(寛永十七年)八月十五日	八月十五日書状案	(細川忠利)	一楽(中沢)	「…爰元本丸にも、南の方殊之外石垣ふくれ…くつれ候へは…殊外成大なる普請にて御座候へとも…」	熊本城普請
266	大日本近世史料 細川家史料十三 細川忠利文書六	1048	13	34	(寛永十七年)八月十七日	八月十七日書状案	(細川忠利)	一楽(中沢)	「…其元石垣之様子、御年寄衆へ被仰遣候御案文拝見仕候…」	八代城普請
267	大日本近世史料 細川家史料十三 細川忠利文書六	1057	13	42	(寛永十七年)九月十五日	九月十五日書状案	(細川忠利)	一楽(中沢)	「…其元石垣ふくれ申候儀に…石垣御直シ被成候様子…」	八代城普請
268	大日本近世史料 細川家史料十三 細川忠利文書六	1059	13	44	(寛永十七年)九月十七日	九月十七日書状案	(細川忠利)	一楽(中沢)	「…石垣之儀 御書之趣…上石のけ候而、さて石・くり石寄申度様に被存候…」	八代城普請
269	大日本近世史料 細川家史料十三 細川忠利文書六	1060	13	46	(寛永十七年)九月廿七日	九月廿七日書状案	(細川忠利)	一楽(中沢)	「…本丸石垣之儀…御老中まで早々普請之儀被得 御意忝存候由…」	八代城普請
270	大日本近世史料 細川家史料十三 細川忠利文書六	1062	13	49	(寛永十七年)十月四日	十月四日書状案	(細川忠利)	一楽(中沢)	「…其元石垣之儀に付而…はや石垣直シ、ニツなみ・三ツなみほとも築申候…八代之普請仕候…」	八代城普請
271	大日本近世史料 細川家史料十三 細川忠利文書六	1063	13	50	(寛永十七年)十月六日	十月六日書状案	(細川忠利)	一楽(中沢)	「…其元石垣はや過申候由…どうかい(銅飼)・うら(裏)土以下そろく仕候へと…」	八代城普請
272	大日本近世史料 細川家史料十三 細川忠利文書六	1065	13	52	(寛永十七年)十月十二日	十月十二日書状案	(細川忠利)	一楽(中沢)	「…其元御普請に付置候者共罷帰候に…」	八代城普請
273	大日本近世史料 細川家史料十三 細川忠利文書六	1149	13	149	(寛永十一年)十月十六日	十月十六日書状	越利	六	「…猶其元御普請之儀に付而、留守居共へ申遣候…」	江戸城普請
274	大日本近世史料 細川家史料十三 細川忠利文書六	1150	13	150	(寛永十一年)十月十八日	十月十八日書状	越忠利	六	「…其許御普請之儀、来々年迄相延申由…」	江戸城普請
275	大日本近世史料 細川家史料十三 細川忠利文書六	1151	13	151	(寛永十一年)霜月十日	十一月十日書状	越忠利	六	「…御普請之儀弥相延候由…」	江戸城普請
276	大日本近世史料 細川家史料十三 細川忠利文書六	1153	13	153	(寛永十一年)十一月廿九日	十一月廿九日書状	越	六	「…来々年其許御普請、築のきに被仰付之由、小屋場などの儀被申付由…」	江戸城普請
277	大日本近世史料 細川家史料十三 細川忠利文書六	1154	13	154	(寛永十一年)十二月二日	十二月二日書状	越中忠利	六	「…御普請之儀に付而…」	江戸城普請
278	大日本近世史料 細川家史料十三 細川忠利文書六	1155	13	155	(寛永十一年)十二月八日	十二月八日書状	越忠利	六	「…来々年御普請之儀に付御奉書…伊豆之石場へも人を被遣候由…」	江戸城普請
279	大日本近世史料 細川家史料十三 細川忠利文書六	1157	13	157	(寛永十一年)十二月十日	十二月十日書状	越忠利	六	「…御普請之手廻…」	江戸城普請
280	大日本近世史料 細川家史料十三 細川忠利文書六	1158	13	159	(寛永十一年)十二月廿四日	十二月廿四日書状	越中利	六	「…普請之道具被申付候由…」	江戸城普請
281	大日本近世史料 細川家史料十三 細川忠利文書六	1162	13	164	(寛永十二年)正月二日	正月二日書状	越忠利	六	「…来年御普請手廻随分被申付之由…」	江戸城普請

282	大日本近世史料 細川家史料十三 細川忠利文書六	1170	13	173	(寛永十二年)二月七日	二月七日書状	越忠利	六	「…石ノ事むさとあつらへ不入事に候、出シ石か、又本の石か、上様(徳川家光)方出候かになり可申候…」	江戸城普請
283	大日本近世史料 細川家史料十三 細川忠利文書六	1187	13	194	(寛永十三年)八月三日	八月三日書状	越	肥後	「…来年御天主之台、安芸殿(浅野光晟)・右衛門佐殿(黒田忠之)被築直刻…」	江戸城普請
284	大日本近世史料 細川家史料十三 細川忠利文書六	1188	13	197	(寛永十三年)八月十日	八月十日書状	越	肥後	「…此度之御普しんノ入目も不残越候…」	江戸城普請
285	大日本近世史料 細川家史料十三 細川忠利文書六	1189	13	198	(寛永十三年)八月十日	八月十日書状	越忠利	肥後	「…熊本普請之儀に付而…」	熊本城普請
286	大日本近世史料 細川家史料十三 細川忠利文書六	1191	13	203	(寛永十三年)九月四日	九月四日書状	越忠利	肥後	「…堀普請不残相済…」	江戸城普請
287	大日本近世史料 細川家史料十三 細川忠利文書六	1192	13	207	(寛永十三年)九月十三日	九月十三日書状	越忠利		「…永井日向殿(直清)普請道具御借候而…去年我々石置場之所、小笠原右近殿石置場に借り申度由…銭甕橋石置場之事、甲斐殿(本多政朝)へ返事被申候…」	江戸城普請
288	大日本近世史料 細川家史料十三 細川忠利文書六	1194	13	211	(寛永十三年)九月晦日	九月晦日書状	越忠利	肥後	「…熊本普請之儀付而…」	熊本城普請
289	大日本近世史料 細川家史料十三 細川忠利文書六	1195	13	213	(寛永十三年)十月十日	十月十日書状	越忠利	肥後	「…来年御普請に付、かんき石直段之儀…伊豆へも人を被遣…」	江戸城普請
290	大日本近世史料 細川家史料十三 細川忠利文書六	1201	13	223	(寛永十三年)十一月十日	十一月十日書状	越忠利	肥後	「…来年正月方、御本丸御作事被仰付に付而…来年御普請に付、かんき石之儀…来年之御普請は、御本丸之内、本多甲斐殿(政朝)・小笠原右近殿(忠真)兩人平石垣被仰付由…」	江戸城普請
291	大日本近世史料 細川家史料十三 細川忠利文書六	1205	13	229	(寛永十三年)霜月廿九日	十一月廿九日書状	越忠利	肥後	「…来年御普請に付、かんき石千間身上可申との目録…」	江戸城普請
292	大日本近世史料 細川家史料十三 細川忠利文書六	1214	13	249	(寛永十四年)二月七日	二月七日書状	越利	肥後	「…酒因州へ、がんぎ石置場之礼申遣候…がんぎ石は、伊豆に而五百本分不残切立…」	江戸城普請
293	大日本近世史料 細川家史料十三 細川忠利文書六	1215	13	253	(寛永十四年)二月十日	二月十日書状	越忠利	肥後	「…御本丸被立候衆…」	江戸城普請
294	大日本近世史料 細川家史料十三 細川忠利文書六	1219	13	261	(寛永十四年)三月三日	三月三日書状	越忠利	肥後	「…御本丸御作事請取候衆…御普請半之由…」	江戸城普請
295	大日本近世史料 細川家史料十四 細川忠利文書七	1234	14	7	(寛永十五年)四月五日	四月五日書状	越忠利	肥後	「…熊本普請之事…」	熊本城普請)
296	大日本近世史料 細川家史料十四 細川忠利文書七	1242	14	28	(寛永十五年)五月十日	五月十日書状	越忠利	肥後	「…熊本普請之儀に付而…」	熊本城普請
297	大日本近世史料 細川家史料十四 細川忠利文書七	1246	14	34	(寛永十五年)五月廿五日	五月廿五日書状	越忠利	肥後守	「…熊本廻普請之儀…」	熊本城普請
298	大日本近世史料 細川家史料十四 細川忠利文書七	1250	14	43	(寛永十五年)六月廿日	六月廿日書状	越利	肥後	「…八代をふしんなど被仕たきと申事…」	八代城普請
299	大日本近世史料 細川家史料十四 細川忠利文書七	1258	14	60	(寛永十五年)八月七日	八月七日書状	越忠利	肥後守	「…熊本城普請之儀…」	熊本城普請

300	大日本近世史料 細川家史料十四 細川忠利文書七	1259	14	63	(寛永十五年)八月七日	八月七日書状	越忠利	肥後守	「…熊本普請之儀に付而…」	熊本城普請
301	大日本近世史料 細川家史料十四 細川忠利文書七	1268	14	78	(寛永十五年)九月十五日	九月十五日書状	越忠利	肥後	「…熊本普請之儀に付而…」	熊本城普請
302	大日本近世史料 細川家史料十四 細川忠利文書七	1269	14	80	(寛永十五年)九月十五日	九月十五日追而書	越忠利	肥後	「…八代二ノ丸家普請之儀に付而…二ノ丸につきさしの石垣御座候…」	八代城普請
303	大日本近世史料 細川家史料十四 細川忠利文書七	1282	14	101	(寛永十五年)十一月五日	十一月五日書状	越忠利	肥後	「…伊織屋敷普請之由…」	一尾通尚の屋敷の普請
304	大日本近世史料 細川家史料十四 細川忠利文書七	1333	14	193	(寛永十六年)十月三日	十月三日書状	忠利	肥後	「…下屋敷作事出来申候…」	細川家江戸屋敷の普請
305	大日本近世史料 細川家史料十四 細川忠利文書七	1368	14	238	(寛永十七年)七月六日	七月六日書状	越忠利	肥後	「…爰元普請之事…」	熊本城普請
306	大日本近世史料 細川家史料十四 細川忠利文書七	1372	14	246	(寛永十七年)七月十二日	七月十二日書状	越忠利	肥後	「…爰元河普請之儀…」	熊本藩領内の川普請
307	大日本近世史料 細川家史料十四 細川忠利文書七	1378	14	255	(寛永十七年)八月九日	八月九日書状	越中忠利	肥後	「…爰元川普請之事に…」	熊本藩領内の川普請
308	大日本近世史料 細川家史料十四 細川忠利文書七	1382	14	263	(寛永十七年)八月十八日	八月十八日書状	越中忠利	肥後	「…八代本丸北之方石垣ふくれ出、くつれかゝり申候故…」「熊本本丸東之方石垣下地ふくれ出申所…石垣根にすて石をかさね、ふくれ候石にかいかけ置候て見可申と存候…」	八代城普請、熊本城普請
309	大日本近世史料 細川家史料十四 細川忠利文書七	1389	14	276	(寛永十七年)九月廿二日	九月廿二日書状	越中忠利	肥後	「…熊本之城、本丸東之方ふくれ石垣捨石之儀、八代之城本丸北之方ふくれ候石垣、修復仕度之由…」	熊本城普請、八代城普請
310	大日本近世史料 細川家史料十四 細川忠利文書七	1390	14	278	(寛永十七年)九月晦日	九月晦日書状	越忠利	肥後守	「…三斎様方御普請之為御体…」	八代城普請
311	大日本近世史料 細川家史料十四 細川忠利文書七	1398	14	289	(寛永十七年)十一月十七日	十一月十七日書状	越中忠利	肥後	「…熊本・八代石垣損候修復之儀…」	熊本城普請、八代城普請
312	大日本近世史料 細川家史料十五 細川忠利文書八・付稲葉正利関係史料	1422	15	35	(寛永十三年)(正月)七日	(正月)十七日	越	肥後	「…上様(徳川家光)御普請場へ之 御成相延候由…」	江戸城普請
313	大日本近世史料 細川家史料十五 細川忠利文書八・付稲葉正利関係史料	1423	15	36	(寛永十三年)	(月日未詳)書状	越	ひこ	「…かゝ爪民部殿(加々爪忠澄)前あたりに見合置候而…御 目見へ可被仕候…御成橋へとまを越可申候…若 御成まへにむさき所共候は、掃除被申付可然候…」	江戸城普請
314	大日本近世史料 細川家史料十五 細川忠利文書八・付稲葉正利関係史料	1424	15	38	(寛永十三年)卅	(月未詳)三十日書状	越中	肥後	「…今日もつき候てふしんにいかれ候よし…その方丁場にいられ候内に…」	江戸城普請
315	大日本近世史料 細川家史料十五 細川忠利文書八・付稲葉正利関係史料	1426	15	40	(寛永十三年)卯月晦日	四月晦日書状	越中忠利	肥後	「…普請之者も上候由…」	江戸城普請

316	大日本近世史料 細川家史料十五 細川忠利文書八・付稲葉正利関係史料	1428	15	42	(寛永十三年)十一月十七日	十一月十七日書状	越中忠利	肥後	「…御普請奉行之違…」	江戸城普請
317	大日本近世史料 細川家史料十五 細川忠利文書八・付稲葉正利関係史料	1437	15	58	(寛永十五年)八月三日	八月三日書状	越忠利	肥後	「…熊本普請之事…」	熊本城普請
318	大日本近世史料 細川家史料十五 細川忠利文書八・付稲葉正利関係史料	1482	15	105	(寛永十二年)十月十八日	十月十八日書状	細越中	いな内(稲葉正利)	「…御普しんの事にとりみたし切々以書状も不申入候…」	江戸城普請
319	大日本近世史料 細川家史料十五 細川忠利文書八・付稲葉正利関係史料	1483	15	106	(寛永十三年)正月六日	正月六日書状	細越中利	稲内記(稲葉正利)	「…御普請にも、はやとりかゝり申候…」	江戸城普請
320	大日本近世史料 細川家史料十五 細川忠利文書八・付稲葉正利関係史料	1484	15	108	(寛永十三年)三月朔日	三月朔日書状	細越中忠利	稲内記(稲葉正利)	「…御普請もしまい申候間、人もやかて下可申候…」	江戸城普請
321	大日本近世史料 細川家史料十五 細川忠利文書八・付稲葉正利関係史料	1487	15	112	(寛永十三年)六月十一日	六月十一日書状案	(細川忠利)	堀田加賀守様(正盛)人々御中	「…我々城之普請連々可仕由…」	熊本城普請
322	大日本近世史料 細川家史料十五 細川忠利文書八・付稲葉正利関係史料	1498	15	129	(寛永十四年)二月七日	二月七日書状案〔榊原職直并堀直之宛〕	(細川忠利)	榊飛驒(榊原職直)・堀式部(堀直之)	「…上様(徳川家光)御気嫌能西丸へ被成御移候筈にて、御本丸御作事も近日御取付候由…」	江戸城普請
323	大日本近世史料 細川家史料十五 細川忠利文書八・付稲葉正利関係史料	4(3)	15	166	(慶安二年)七月四日	稲葉正則書状	稲葉美濃守(正則)	細川肥後守(光尚)	「…仍内々被仰聞候御普請御望之儀…」	江戸城普請
324	大日本近世史料 細川家史料十五 細川忠利文書八・付稲葉正利関係史料	4(12)	15	176	(慶安二年)七月十日	堀田正盛書状	堀田加賀守(正盛)	細川肥後守様(光尚)人々御中	「…御普請場に在之不能即報候…」	江戸城普請
325	大日本近世史料 細川家史料十六 細川忠利文書九	1539	16	29	(寛永九年)三月十日	三月十日伊丹康勝宛書状	(細川忠利)	伊播磨(伊丹康勝)	「…去冬我等城修理普請之儀…」	小倉城普請
326	大日本近世史料 細川家史料十六 細川忠利文書九	1558	16	52	(寛永九年)五月朔日	五月朔日伊丹康勝宛書状	(細川忠利)	伊播磨様(伊丹康勝)人々御中	「…先日御報にも被仰越又此度我等内かゝ山主馬(可政)にも御口上にも被仰聞候我等城破損普請之儀…」	小倉城普請
327	大日本近世史料 細川家史料十六 細川忠利文書九	1588	16	89	(寛永九年)六月十三日	六月十三日伊丹康勝宛追而書	(細川忠利)	伊播磨様(伊丹康勝)人々御中	「…我等破損普請之儀…」	小倉城普請
328	大日本近世史料 細川家史料十六 細川忠利文書九	1622	16	139	(寛永九年)六月晦日	六月晦日菅沼定芳宛書状	(細川忠利)	菅織部(菅沼定芳)	「…三ノ丸迄は普請の見事さ…大坂之城の今少石かき高キ小石成石垣と思召候へく候…」	熊本城普請
329	大日本近世史料 細川家史料十六 細川忠利文書九	1754	16	276	(寛永九年)十一月十日	十一月十日稲葉一通外二名宛書状	(細川忠利)	稲葉民部様(一通)・有間〔馬〕左衛門様(直純)・木下右衛門様(延俊)人々御中	「…於江州水口(甲賀郡)御城普請在之様に御沙汰有之候付而、各御石場入可申と…」	水口城普請
330	大日本近世史料 細川家史料十六 細川忠利文書九	1787	16	312	(寛永九年)十二月十日	十二月十日小堀政一宛書状	(細川忠利)	有馬玄番様(豊氏)人々御中	「…加肥州(加藤忠広)石場小豆嶋(備前国)之内に御座候由候、其石場預申候庄屋とのせう(土庄)の太郎兵衛と申ものゝ由…彼石場明候而御座候はゞ、我等石場に申請度候…」	

331	大日本近世史料 細川家史料十六 細川忠利文書九	1813	16	342	(寛永九年)霜月廿六日	十一月廿六日森忠政宛書状	(細川忠利)	森美作(忠政)	「…ミな口(水口、近江甲賀郡)に御城出来可仕様に沙汰御座候とて、不残石場を被取候、貴様も可被御取候、我等儀三年は御普請被仰付間敷候間、入不申候へ共、先、石場取置申候…」	水口城普請
332	大日本近世史料 細川家史料十六 細川忠利文書九	1871	16	392	(寛永九年)十二月廿五日	十二月廿五日伊丹康勝宛書状	(細川忠利)	伊播磨様(伊丹康勝)人々御中	「…熊本城普請之儀は…」	熊本城普請
333	大日本近世史料 細川家史料十七 細川忠利文書十	1919	17	31	(寛永十年)正月十日	正月十日伊丹康勝宛書状	(細川忠利)	伊播州様(伊丹康勝)人々御中	「…江戸我等上屋敷類火に而焼申候由…其元作事之事、先長屋・台所・取つき・居間など当年申付、門・広間・書院などは重而可申付と存候…」	細川家江戸屋敷の普請
334	大日本近世史料 細川家史料十七 細川忠利文書十	1920	17	32	(寛永十年)正月十日	正月十日榊原職直并曾我古祐宛書状	(細川忠利)	榊原飛驒守様(職直)・曾我又左衛門様(古祐)人々御中	「…仍其許我等上屋敷類火にて焼申候由…其元屋敷之事、貴様へ相談相定上、作事可仕候、作事之様子、長屋・台所・取つき・居間・馬やなどの類迄可申付候…」	細川家江戸屋敷の普請
335	大日本近世史料 細川家史料十七 細川忠利文書十	1922	17	34	(寛永十年)正月十日	正月十日戸田氏鉄宛書状	(細川忠利)	戸左門様(戸田氏鉄)人々御中	「…我等江戸上屋敷類火にて焼申候由…作事以下早々念を入可申付候へとも…長屋又は台所類之家まで申付、追而作事可仕と存候事候…」	細川家江戸屋敷の普請
336	大日本近世史料 細川家史料十七 細川忠利文書十	1937	17	46	(寛永十年)正月十七日	正月十七日榊原職直并曾我古祐宛書状	(細川忠利)	榊原飛驒様(職直)・曾我又左様(古祐)人々御中	「…我等屋敷火事付而、人を下シ作事之事申付候条…」	細川家江戸屋敷の普請
337	大日本近世史料 細川家史料十七 細川忠利文書十	1990	17	98	(寛永十年)二月五日	二月五日島津久元并伊勢貞昌宛書状	(細川忠利)	嶋津下野守(久元)・伊勢兵部(貞昌)	「…仍其元火事之儀…旁為作事勝手能可成候…」	細川家江戸屋敷の普請
338	大日本近世史料 細川家史料十七 細川忠利文書十	2029	17	133	(寛永十年)二月十三日	二月十三日石川重勝并市橋長吉銘々宛書状	(細川忠利)	石六左(石川重勝)	「…我等屋敷も類火に相申に付…前廉之屋敷方も存俟に作事可仕と忝存事候…」	細川家江戸屋敷の普請、寛永小田原地震
339	大日本近世史料 細川家史料十七 細川忠利文書十	2036	17	139	(寛永十年)二月十六日	二月十六日有馬直純宛書状	(細川忠利)	有左衛(有馬直純)	「…水口(近江甲賀郡)石場能御座候由…御普請も頓而御座候はん由、是も日用に而御座候はんと存候事…」	水口城普請
340	大日本近世史料 細川家史料十七 細川忠利文書十	2045	17	147	(寛永十年)二月十八日	二月十八日曾我古祐宛書状	(細川忠利)	曾又左(曾我古祐)	「…八代(肥後八代郡)之普請・作事など能候由…」	八代城普請
341	大日本近世史料 細川家史料十七 細川忠利文書十	2079	17	182	(寛永十年)三月十三日	三月十三日久貝正俊宛書状	(細川忠利)	久因幡(久貝正俊)	「…正月廿一日江戸表地震之儀…地震ノ為御座候間、御作事被仰付…」	江戸城作事
342	大日本近世史料 細川家史料十七 細川忠利文書十	2096	17	199	(寛永十年)三月廿四日	三月廿四日榊原職直宛書状	(細川忠利)	榊飛驒(榊原職直)	「…其元作事之事、角矢倉・にかいも門などの事心得申候…」	細川家江戸屋敷の普請
343	大日本近世史料 細川家史料十七 細川忠利文書十	2133	17	238	(寛永十年)四月十六日	四月十六日小笠原忠知宛書状	(細川忠利)	小笠原老岐守(忠知)	「…貴様御城之事…御小やかかけの体に而御座候由…」	杵築城普請
344	大日本近世史料 細川家史料十七 細川忠利文書十	2145	17	250	(寛永十年)五月一日	五月朔日有馬直純宛書状	(細川忠利)	有左衛(有馬直純)	「…京知恩院火事付而、片桐(貞昌)作事奉行被仰付候由…」	知恩院普請
345	大日本近世史料 細川家史料十七 細川忠利文書十	2155	17	261	(寛永十年)五月朔日	五月朔日盛甫宛書状	(細川忠利)	盛甫老	「…来年は 御本丸・増正[上]寺御作事有之由…」「…何もかも丹後殿…新やしき御普請も出来申候由、小遠(小堀政一)情[精]を出…」	寛永小田原地震、江戸城普請、増上寺の普請、稲葉正勝の屋敷の普請
346	大日本近世史料 細川家史料十七 細川忠利文書十	2201	17	313	(寛永十年)六月三日	六月三日稲葉通勝宛書状	(細川忠利)	稲葉七郎兵衛(通勝)	「…小田原(相模足柄下郡)御普請何程出来仕候哉…」	寛永小田原地震
347	大日本近世史料 細川家史料十七 細川忠利文書十	2202	17	314	(寛永十年)六月三日	六月三日盛甫宛書状	(細川忠利)	盛甫老御宿所	「…小田原(相模足柄下郡)御普請も何程出来申候哉承度存候…」	寛永小田原地震
348	大日本近世史料 細川家史料十七 細川忠利文書十	2256	17	363	(寛永十年)七月五日	七月五日伊丹康勝宛書状	(細川忠利)	伊丹康勝様人々御中	「…九州も大水にて、我等国なども井手・堤之普請にかゝり候て于今罷有候…」	熊本藩領内の普請

349	大日本近世史料 細川家史料十七 細川忠利文書十	2259	17	365	(寛永十年)七月五日	七月五日久貝正俊宛書状	(細川忠利)	久因幡(久貝正俊)	「…水口(近江甲賀郡)之御殿之場も替申由…御普請之儀小遠州(小堀遠州)に被仰付…」 「…大水出、堤なども切申候由、爰元も同前之儀にて御座候、方々堤普請などに懸り候て罷有候…」	水口城普請、熊本藩領内の堤普請
350	大日本近世史料 細川家史料十七 細川忠利文書十	2264	17	372	(寛永十年)七月九日	七月九日人見慶安宛書状	(細川忠利)	慶安法橋(人見)	「…当年爰元は事之外之大水出、国中之堤なとされ、于今普請にかゝり候て在之事に候…」	熊本藩領内の堤普請
351	大日本近世史料 細川家史料十七 細川忠利文書十	2265	17	373	(寛永十年)七月九日	七月九日石河勝政宛書状	(細川忠利)	石三右様(石河勝政)人々御中	「…当年爰元は事之外大水に而、所々の堤なと切申、普請にかゝり候て罷在候…」	熊本藩領内の堤普請
352	大日本近世史料 細川家史料十七 細川忠利文書十	2287	17	394	(寛永十年)八月朔日	八月朔日榊原職直宛書状	(細川忠利)	榊飛驒(榊原職直)	「…上屋敷之普請事之外僦相成由…」 「…八代(肥後八代郡)作事之事…四五日以前なひしと被止候…」	細川家江戸屋敷の普請、八代城の作事
353	大日本近世史料 細川家史料十七 細川忠利文書十	2302	17	410	(寛永十年)八月十六日	八月十六日小笠原忠真宛書状	(細川忠利)	小右近様(小笠原忠真)人々御中	「…来年御普請に付而…江戸にて何もから差図に而金箔廿万枚上り候由申来候事…」	江戸城普請
354	大日本近世史料 細川家史料十七 細川忠利文書十	2316	17	423	(寛永十年)八月廿二日	八月廿二日酒井忠勝并松平信綱宛請書	(細川忠利)	酒井讃岐守(忠勝)・松平伊豆守(信綱)	「…来年御本丸御作事付而金薄致進上候处…」	江戸城作事
355	大日本近世史料 細川家史料十七 細川忠利文書十	2340	17	444	(寛永十年)九月七日	九月七日蜂須賀忠英宛書状	(細川忠利)	松阿波(蜂須賀忠英)	「…其元我等屋敷作事仕付而、材木なと被仰付被下候由…」	細川家江戸屋敷の普請
356	大日本近世史料 細川家史料十七 細川忠利文書十	2345	17	450	(寛永十年)九月十四日	九月十四日城信茂宛書状	(細川忠利)	城織部(信茂)	「…江戸御本丸之御普請も来年はやミ申候…」	江戸城普請
357	大日本近世史料 細川家史料十七 細川忠利文書十	2351	17	457	(寛永十年)九月十六日	九月十六日有馬直純宛書状	(細川忠利)	有左衛(有馬直純)	「…来年江戸御本丸御作事相延申通…」	江戸城普請
358	大日本近世史料 細川家史料十七 細川忠利文書十	2368	17	474	(寛永十年)十一月廿五日	十一月廿五日小林時喬宛追而書	(細川忠利)	小十郎左様(小林時喬)人々御中	「…伊豆東浦にて従先年我等石場取置申候…今程公儀御普請御座候との儀にては無御座候へ共、以来御普請之時の為にと存…」	伊豆石場の仕置
359	大日本近世史料 細川家史料十七 細川忠利文書十	2374	17	479	(寛永十年)極月七日	十二月七日小林時喬宛書状	(細川忠利)	小林十郎左衛門尉様(時喬)人々御中	「…伊豆東浦石場之儀申入候处…」	伊豆石場の仕置
360	大日本近世史料 細川家史料十八 細川忠利文書十一	2381	18	1	(寛永十一年)正月五日	正月五日小林時喬宛書状	(細川忠利)	小林十郎左衛門尉様(時喬)人々御中	「…伊豆石場之儀付而旧冬以使者申入候处…」	伊豆石場の仕置
361	大日本近世史料 細川家史料十八 細川忠利文書十一	2382	18	2	(寛永十一年)正月五日	正月五日田辺信吉宛書状	(細川忠利)	田辺権大夫殿(信吉)御宿所	「…相模之内丹後殿(稻葉正勝)御領分に堀尾城州(忠晴)石場有之付而、我等取置申度存…城州普請道具なと所之者に御預置候間…」	相模石場の確保
362	大日本近世史料 細川家史料十八 細川忠利文書十一	2386	18	6	(寛永十一年)正月廿六日	正月廿六日湘雪守沅宛書状	(細川忠利)	沅西堂(湘雪守沅)	「…吉田(山城愛宕郡)之作事勝手能御座候由…」	京都吉田屋敷の作事
363	大日本近世史料 細川家史料十八 細川忠利文書十一	2400	18	18	(寛永十一年)二月廿三日	二月廿三日大久保忠政并川口宗重宛書状	(細川忠利)	大久保助左衛門(忠政)・川口茂右衛門(宗重)	「…熊本本丸家多候間…不罷下以前に地震屋を壱ツ立候へと申遣候…留主之普請に候間…」	熊本城普請
364	大日本近世史料 細川家史料十八 細川忠利文書十一	2416	18	32	(寛永十一年)四月朔日	四月朔日大久保忠政并川口宗重宛書状	(細川忠利)	大久保助左衛門尉様(忠政)・川口茂右衛門尉様(宗重)人々御中	「…熊本城廻普請之儀も…」	熊本城普請
365	大日本近世史料 細川家史料十八 細川忠利文書十一	2424	18	39	(寛永十一年)四月十六日	四月十六日土井利勝宛書状	(細川忠利)	土井大炊(利勝)	「…熊本城普請之事…」	熊本城普請

366	大日本近世史料 細川家史料十八 細川忠利文書十一	2522	18	141	(寛永十一年)八月六日	八月六日曾我古祐宛書状	(細川忠利)	曾又左様(曾我古祐)人々御中	「…中務(長岡孝之)と我等、大坂御普請之刻は不罷上候、其わけは、三斎代に身体不罷成、知行を三斎へ上申候而居申候間、普請など我等申付わけにて無之候、定而古はしめの江戸御普請之時分之儀たるへきと存候…」	
367	大日本近世史料 細川家史料十八 細川忠利文書十一	2523	18	143	(寛永十一年)八月七日	八月七日榊原職直宛書状	(細川忠利)	榊飛驒様(榊原職直)人々御中	「…殊熊本城之事も、しまり候様に普請申付可然との 上意に而…」「…我等家中、先年江戸御普請初之時、其後大坂御普請初之時分、少借銀仕候由に候…」	熊本城普請
368	大日本近世史料 細川家史料十八 細川忠利文書十一	2526	18	149	(寛永十一年)八月十日	八月十日日根野吉明宛書状	(細川忠利)	日根野織部様(吉明)人々御中	「…其元にて熊本普請之沙汰御座候はゞ…」	熊本城普請
369	大日本近世史料 細川家史料十八 細川忠利文書十一	2531	18	157	(寛永十一年)八月十五日	八月十五日土井利勝外四名宛請書	(細川忠利)	土井大炊頭(利勝)・酒井讃岐守(忠勝)・堀田加賀守(正盛)・松平伊豆守(信綱)・阿部豊後守(忠秋)	「…熊本普請之儀付而御奉書致拝見候…」	熊本城普請
370	大日本近世史料 細川家史料十八 細川忠利文書十一	2539	18	165	(寛永十一年)八月十五日	八月十五日伊丹康勝宛追而書	(細川忠利)	伊播州(伊丹康勝)様人々御中	「…熊本普請之儀付而、御年寄衆方御奉書之儀被仰届被下候…」	雲本城普請
371	大日本近世史料 細川家史料十八 細川忠利文書十一	2540	18	166	(寛永十一年)八月十六日	八月十六日有馬直純宛書状	(細川忠利)	有馬左衛門(直純)	「…我等上方へ罷有内に熊本之居所少作事申付…」	熊本城普請
372	大日本近世史料 細川家史料十八 細川忠利文書十一	2550	18	182	(寛永十一年)八月晦日	八月晦日有馬直純宛書状	(細川忠利)	有左衛(有馬直純)	「…水口(近江甲賀郡)之御泊今度新出来申候所…」「…御門わき石垣…如元可被仰付哉と被仰越候…少之御普請も御堪忍…」	水口城普請、江戸城普請力
373	大日本近世史料 細川家史料十八 細川忠利文書十一	2557	18	189	(寛永十一年)九月五日	九月五日有馬直純宛書状	(細川忠利)	有左衛(有馬直純)様人々御中	「…只今は依 御意、熊本せゞり普請仕候…」	熊本城普請
374	大日本近世史料 細川家史料十八 細川忠利文書十一	2611	18	247	(寛永十一年)九月廿三日	九月廿三日有馬直純宛書状	(細川忠利)	有佐兵衛(有馬直純)	「…我等借銀之上に又弍千貫目之少内…頓而御城之作事もなくては叶間敷候…」	
375	大日本近世史料 細川家史料十八 細川忠利文書十一	2626	18	264	(寛永十一年)十月五日	十月五日土井利勝宛書状	(細川忠利)	土井大炊頭様(利勝)人々御中	「…熊本普請もそろそろ申付候…」	熊本城普請
376	大日本近世史料 細川家史料十八 細川忠利文書十一	2644	18	284	(寛永十一年)十月十六日	十月十六日木下延俊并稲葉一通銘々宛書状	(細川忠利)	木右衛門(木下延俊)・稲民部(稲葉一通)	「…江戸、来年之御作事もやみ申…又柴口(芝口、武蔵荏原郡)に惣構出来候て、内左馬(内藤政長)之後当り迄五十間堀出来候て、舟入候様に成…右之御普請共…大方は日用、但し石垣は役人に可被仰付かと申来候…」	
377	大日本近世史料 細川家史料十八 細川忠利文書十一	2646	18	287	(寛永十一年)十月十七日	十月十七日鍋島勝茂并寺沢堅高銘々宛書状	(細川忠利)	鍋嶋信州(勝茂)・寺兵庫(寺沢堅高)	「…来々年は江戸御舟入并御石垣可被仰付由に候、東衆は堀、西国・中国・四国・北国は石垣被仰付候由申候、我等は手伝之石垣普請可被仰付様に御錠と申来候…」	江戸城普請
378	大日本近世史料 細川家史料十八 細川忠利文書十一	2647	18	288	(寛永十一年)十月十八日	十月十八日岡孝賀宛書状	(細川忠利)	道琢法印様(岡孝賀)人々御中	「…来々年御普請之由…我等は石垣つきかたにて御座候由…」	江戸城普請
379	大日本近世史料 細川家史料十八 細川忠利文書十一	2649	18	290	(寛永十一年)十月十八日	十月十八日柳生宗矩宛書状	(細川忠利)	柳丹州様(柳生宗矩)人々御中	「…来〔来脱〕年御普請之由…我等は石垣之手伝と哉覧…」	江戸城普請
380	大日本近世史料 細川家史料十八 細川忠利文書十一	2650	18	293	(寛永十一年)十月十八日	十月十八日内藤正重宛書状	(細川忠利)	内外記(内藤正重)	「…来年江戸御普請被仰付之由…来来年に御普請罷成之由申来候…石場などは伊豆に四五ヶ所持申、其許にて下々小屋場近き所第一に入申候間…」	江戸城普請
381	大日本近世史料 細川家史料十八 細川忠利文書十一	2651	18	294	(寛永十一年)十月十八日	十月十八日河野通幸宛書状	(細川忠利)	松庵法印(河野通幸)	「…来々年其元御普請之由…石垣之手伝御普請に而候はん由…」	江戸城普請

382	大日本近世史料 細川家史料十八 細川忠利文書十一	2653	18	296	(寛永十一年)十月十九日	十月十九日有馬直純宛書状	(細川忠利)	有左(有馬直純)	「…来々年御普請之御手廻シ…我等など石垣つきかた被仰付候、来々年之正月より取つき申様に申来候…寄石之衆は、来年三月時分より七月之内外に伊豆より石を無御取候はゞ御用に立兼可申候間、石舟以下御申付候共…」	江戸城普請
383	大日本近世史料 細川家史料十八 細川忠利文書十一	2665	18	309	(寛永十一年)十一月二日	十一月二日平野長勝宛書状	(細川忠利)	平権平(平野長勝)	「…江戸之御普請之様子…来々年へ御普請相延候由…」	江戸城普請
384	大日本近世史料 細川家史料十八 細川忠利文書十一	2666	18	311	(寛永十一年)十一月四日	十一月四日小笠原忠真宛書状	(細川忠利)	小右近様(小笠原忠真)人々御中	「…来々年御普請江戸に而被仰付由に付而…」	江戸城普請
385	大日本近世史料 細川家史料十八 細川忠利文書十一	2668	18	313	(寛永十一年)十一月五日	十一月五日浅野長治宛書状	(細川忠利)	浅因幡(浅野長治)	「…来々年御普請おびたゞ敷由…貴様も伊豆へ人を被遣御用意之由…」	江戸城普請
386	大日本近世史料 細川家史料十八 細川忠利文書十一	2671	18	318	(寛永十一年)十一月五日	十一月五日榊原職直宛書状	(細川忠利)	榊飛驒(榊原職直)	「…来々年御普請に我等は手伝普請仕候由…」	江戸城普請
387	大日本近世史料 細川家史料十八 細川忠利文書十一	2683	18	331	(寛永十一年)十一月十日	十一月十日湘雪守沅宛書状	(細川忠利)	沅西堂(湘雪守沅)	「…来年江戸御普請之儀、来々年に相延申候由に候事…」	江戸城普請
388	大日本近世史料 細川家史料十八 細川忠利文書十一	2694	18	341	(寛永十一年)十一月十八日	十一月十八日曾我古祐宛書状	(細川忠利)	曾又左様(曾我古祐)人々御中	「…江戸御普請も来々年迄相延申候由…」	江戸城普請
389	大日本近世史料 細川家史料十八 細川忠利文書十一	2696	18	344	(寛永十一年)十一月十八日	十一月十八日永井直清宛書状	(細川忠利)	永日向様(永井直清)人々御中	「…其許御普請も来々年迄延申候由…江戸御普請之刻、我等などは石垣之築方に候之由…」	江戸城普請、勝竜寺城力
390	大日本近世史料 細川家史料十八 細川忠利文書十一	2698	18	349	(寛永十一年)十一月十八日	十一月十八日堀直景宛書状	(細川忠利)	堀三右(直景)	「…江戸御普請、来々年迄弥相延候通被仰聞候…」	江戸城普請
391	大日本近世史料 細川家史料十八 細川忠利文書十一	2709	18	359	(寛永十一年)十一月廿四日	十一月廿四日森長継宛書状	(細川忠利)	森内記(長継)	「…来々年御普請之儀…」	江戸城普請
392	大日本近世史料 細川家史料十八 細川忠利文書十一	2715	18	365	(寛永十一年)十一月廿八日	十一月廿八日立花忠茂宛書状	(細川忠利)	立左近様(立花忠茂)人々御中	「…来々年御普請と被仰出候…我等など御手伝との沙汰に而…石・くり石之儀は、かい候て跡より伊豆へも普請之者を可遣候間…」	江戸城普請
393	大日本近世史料 細川家史料十八 細川忠利文書十一	2716	18	366	(寛永十一年)十一月廿八日	十一月廿八日立花宗茂宛書状	(細川忠利)	立飛驒(立花宗茂)	「…関東衆・奥州・信濃筋は堀、西国上方衆は石垣之由…我等などは手伝之由…年内石之用意も少も不仕候間…」	江戸城普請
394	大日本近世史料 細川家史料十八 細川忠利文書十一	2717	18	368	(寛永十一年)十一月廿八日	十一月廿八日立花忠茂宛書状	(細川忠利)	立左近様(立花忠茂)人々御中	「…伊豆へ石をわり候ため人三百…江戸へ石参候時水上之ため百五拾人…くり石は不残調候筈に…大石も先勝手成も候はゞ…小やは・石上場は…石場はわりに成申由…普請道具調は…御普請之知行高・御普請場之石垣之積不申来候故…」	江戸城普請
395	大日本近世史料 細川家史料十八 細川忠利文書十一	2718	18	370	(寛永十一年)十一月廿八日	十一月廿八日有馬直純宛書状	(細川忠利)	有左衛門様(有馬直純)人々御中	「…来々年江戸御普請被仰付由被仰出候、右は手伝と寄石衆わかり候…人三百伊豆へ石わりに可遣と存候…」	江戸城普請
396	大日本近世史料 細川家史料十八 細川忠利文書十一	2719	18	371	(寛永十一年)十一月廿八日	十一月廿八日堀直之宛書状	(細川忠利)	堀式部(直之)	「…其元御普請来々年可被仰付由申来付而、伊豆へ普請之者など少遣候、我等は手伝にて候由承及…」	江戸城普請
397	大日本近世史料 細川家史料十八 細川忠利文書十一	2720	18	373	(寛永十一年)十一月廿九日	十一月廿九日榊原職直宛書状	(細川忠利)	榊飛州様(榊原職直)人々御中	「…来々年御普請之事…先石・くり石伊豆に持不申候…」	江戸城普請
398	大日本近世史料 細川家史料十八 細川忠利文書十一	2721	18	376	(寛永十一年)十一月廿九日	十一月廿九日神尾元勝宛書状	(細川忠利)	神内記様(神尾元勝)人々御中	「…江戸御普請之儀に付…」	江戸城普請

399	大日本近世史料 細川家史料十八 細川忠利文書十一	2723	18	378	(寛永十一年)十一月廿九日	十一月廿九日柳生宗矩宛書状	(細川忠利)	柳但馬(柳生宗矩)	「…来々年御普請之儀付而…」	江戸城普請
400	大日本近世史料 細川家史料十八 細川忠利文書十一	2724	18	379	(寛永十一年)霜月廿九日	十一月廿九日加々爪忠澄宛書状	(細川忠利)	加々爪民部(忠澄)	「…来々年御普請之由…石場・石上場・丁場早相極候へは、小屋ばの勝手も相済…我等などは手伝仕由さた承…其上石など伊豆に持不申候…定而何も石・くり石、町人に可申付候…」	江戸城普請
401	大日本近世史料 細川家史料十八 細川忠利文書十一	2725	18	381	(寛永十一年)十一月廿九日	十一月廿九日奥河十兵衛宛書状	(細川忠利)	奥川(河)十兵衛	「…其元御普請之様子…来々年に成候由…」	江戸城普請
402	大日本近世史料 細川家史料十八 細川忠利文書十一	2726	18	382	(寛永十一年)十一月廿九日	十一月廿九日坂井道仲宛書状	(細川忠利)	坂井道仲老	「…来々年へ御普請は延候へ共、はや普請人を下申候…」	江戸城普請
403	大日本近世史料 細川家史料十八 細川忠利文書十一	2729	18	385	(寛永十一年)十一月廿九日	十一月廿九日伊丹康勝宛書状	(細川忠利)	伊播州(伊丹康勝)	「…来々年御普請之儀被仰出候付而…」	江戸城普請
404	大日本近世史料 細川家史料十八 細川忠利文書十一	2731	18	387	(寛永十一年)十一月廿九日	十一月廿九日内藤正重宛書状	(細川忠利)	内外記(内藤正重)	「…来々年御普請之儀由…」	江戸城普請
405	大日本近世史料 細川家史料十八 細川忠利文書十一	2732	18	388	(寛永十一年)十一月晦日	十一月晦日土井利勝外三名宛請書	(細川忠利)	土井大炊頭(利勝)・松平伊豆守(信綱)・安[阿]部豊後守(忠秋)・堀田加賀守(正盛)	「…来々年江戸御普請可被仰付候旨…江戸・伊豆両所之石場は割符に而可有御座由…」	江戸城普請
406	大日本近世史料 細川家史料十八 細川忠利文書十一	2733	18	389	(寛永十一年)十一月晦日	十一月晦日堀直之宛書状	(細川忠利)	堀式部(直之)	「…来々年御普請に弥相極申由…」	江戸城普請
407	大日本近世史料 細川家史料十八 細川忠利文書十一	2734	18	390	(寛永十一年)十一月晦日	十一月晦日田中吉官宛書状	(細川忠利)	田主殿(田中吉官)	「…来々年御普請之儀付而御奉書被下候…石場手廻申付可然由被仰越候…東衆は御堀、上方衆は何も石垣被仰付旨候…」	江戸城普請
408	大日本近世史料 細川家史料十八 細川忠利文書十一	2735	18	391	(寛永十一年)十一月晦日	十一月晦日柳生宗矩并堀直之并加々爪忠澄佐久間実勝銘々宛書状	(細川忠利)	柳生但馬守(宗矩)・堀式部少輔(直之)・加々爪民部少輔(忠澄)・佐久間将監(実勝)	「…江戸御普請之儀…来々年へ被差延候通承…其上何もはや伊豆へ石誘の山入…四月五月切には大方石・くり石も寄可申候哉…七月八月之間に御普請手始之日限相定候はゞ、石垣築申候儀は四五十日迄は懸り申間敷と存候…」	江戸城普請
409	大日本近世史料 細川家史料十八 細川忠利文書十一	2736	18	393	(寛永十一年)十一月晦日	十一月晦日奥河十兵衛宛書状	(細川忠利)	奥川(河)十兵衛	「…其元御普請之儀、来々年とは申候へ共、来年寄石御座候て…江戸石上場・伊豆之石場も無高下割に成候由…」	江戸城普請
410	大日本近世史料 細川家史料十八 細川忠利文書十一	2737	18	394	(寛永十一年)十一月晦日	十一月晦日島津家久宛書状	(細川忠利)	松大隅(島津家久)	「…来々年江戸御普請被仰付候御触状…」	江戸城普請
411	大日本近世史料 細川家史料十八 細川忠利文書十一	2739	18	397	(寛永十一年)十二月二日	十二月二日柳生宗矩并加々爪忠澄并堀直之并佐久間実勝銘々宛書状	(細川忠利)	柳生但馬様(宗矩)・加々民部様(加々爪忠澄)・堀式部様(直之)・佐将監様(佐久間実勝)人々御中	「…御普請に付我等下奉行差下申候様…」	江戸城普請
412	大日本近世史料 細川家史料十八 細川忠利文書十一	2740	18	398	(寛永十一年)十二月二日	十二月二日酒井忠知宛書状	(細川忠利)	酒因幡様(酒井忠知)人々御中	「…御普請に付而我等下奉行差下申候間…」	江戸城普請
413	大日本近世史料 細川家史料十八 細川忠利文書十一	2741	18	398	(寛永十一年)十二月二日	十二月二日小林時喬宛書状	(細川忠利)	小林十郎左衛門様(時喬)人々御中	「…就御普請、伊豆之石場へ為用意人を下申候間…」	江戸城普請
414	大日本近世史料 細川家史料十八 細川忠利文書十一	2742	18	399	(寛永十一年)十二月二日	十二月二日鍋島勝茂宛書状	(細川忠利)	鍋嶋信州(勝茂)	「…江戸御普請之儀、右は手伝可被仰付と…不殘築退に石垣可仕由被仰越候…少は石割候もの伊豆へ可遣と存候事…」	江戸城普請
415	大日本近世史料 細川家史料十八 細川忠利文書十一	2746	18	403	(寛永十一年)十二月八日	十二月八日堀直之宛書状	(細川忠利)	堀式部(直之)	「…来々年御普請、来年に成可申と存候…」	江戸城普請

416	大日本近世史料 細川家史料十八 細川忠利文書十一	2752	18	408	(寛永十一年)十二月八日	十二月八日春日局宛書状	(細川忠利)	かすかさま(春日局)にて誰にてても御申	「…将監殿(佐久間実勝)もふしん奉行にて御さ候よし…」「…我々国のふしんの事も御礼仰上られ候て被下候よし…」	江戸城普請、熊本城普請
417	大日本近世史料 細川家史料十八 細川忠利文書十一	2753	18	410	(寛永十一年)十二月十日	十二月十日有馬直純宛書状	(細川忠利)	有左衛(有馬直純)	「…十一月八日に 上様(徳川家光)少御風をひかれ、其後十二日に御普請場へ被為成候へは…石場請取候衆…」	江戸城普請
418	大日本近世史料 細川家史料十八 細川忠利文書十一	2754	18	412	(寛永十一年)十二月十日	十二月十日豊永賢斎宛書状	(細川忠利)	豊(豊永)賢斎	「…来々年御普請御用意之様に取沙汰候由…」	江戸城普請
419	大日本近世史料 細川家史料十八 細川忠利文書十一	2755	18	414	(寛永十一年)十二月十日	十二月十日春日局宛書状	(細川忠利)	かすかさま(春日局)にて誰にてても御申	「…上様(徳川家光)十一月八日に御たかのへならせられ…十二日に御ふしんはへ被為成…」	江戸城普請
420	大日本近世史料 細川家史料十八 細川忠利文書十一	2759	18	420	(寛永十一年)十二月十一日	十二月十一日有馬豊氏宛書状	(細川忠利)	有玄蕃(有馬豊氏)	「…其元三明年御普請之御沙汰迄之由…石・くり石など誂申由申越候…」	江戸城普請
421	大日本近世史料 細川家史料十八 細川忠利文書十一	2760	18	421	(寛永十一年)十二月十一日	十二月十一日稲葉一通宛書状	(細川忠利)	稲民部(稲葉一通)	「…御普請之事…はや石わり候もの伊豆へ三百六十人・江戸へ石上之もの百五拾…来春など石わり被遣候て能事にて御座候哉…我等は手伝之筈にて御座候処…伊豆之山・江戸之水上場…御普請三明年とは被仰越候へ共…」	江戸城普請
422	大日本近世史料 細川家史料十八 細川忠利文書十一	2762	18	424	(寛永十一年)十二月十四日	十二月十四日木下延俊宛書状	(細川忠利)	木右衛門(木下延俊)	「…三明年御普請之儀に御触状参候由…子細は石場・水上場割御座候…石をわり候者、当月八日に伊豆へ三百六十遣申候…くり石不残江戸にて調申候…」	江戸城普請
423	大日本近世史料 細川家史料十八 細川忠利文書十一	2767	18	430	(寛永十一年)十二月十九日	十二月十九日堀直景宛書状	(細川忠利)	堀三右様(直景)人々御中	「…来々年御普請にて候由…」	江戸城普請
424	大日本近世史料 細川家史料十八 細川忠利文書十一	2775	18	437	(寛永十一年)十二月廿六日	十二月廿六日菅沼定芳宛書状	(細川忠利)	菅織部(菅沼定芳)	「…来々年江戸御普請之儀…」	江戸城普請
425	大日本近世史料 細川家史料十九 細川忠利文書十二	2799	19	3	(寛永十二年)正月二日	正月二日佐久間実勝宛書状	(細川忠利)	佐久間将監(実勝)様人々御中	「…来年之御普請初而被仰付儀ニ候間…」	江戸城普請
426	大日本近世史料 細川家史料十九 細川忠利文書十二	2804	19	8	(寛永十二年)正月二日	正月二日榊原職直宛書状	(細川忠利)	榊飛驒(榊原職直)	「…来年御普請町場石場、割ニ成可申由…何となく肥後国拝領之後初而之御普請ニ候間…」	江戸城普請
427	大日本近世史料 細川家史料十九 細川忠利文書十二	2807	19	12	(寛永十二年)正月二日	正月二日柳生宗矩宛書状	(細川忠利)	柳但馬(柳生宗矩)	「…来年之御普請、初而被仰付儀候間…」	江戸城普請
428	大日本近世史料 細川家史料十九 細川忠利文書十二	2809	19	14	(寛永十二年)正月二日	正月二日加々爪忠澄宛書状	(細川忠利)	加々爪民部(加々爪忠澄)	「…右申入候来年御普請、初而之儀ニ御座候間…石垣つき申もの其外侍少にてすみ申事ニ候、はしめの御ふしんにて候間…石かきにもくり石にも成申間敷事と存候…」	江戸城普請
429	大日本近世史料 細川家史料十九 細川忠利文書十二	2812	19	17	(寛永十二年)正月二日	正月二日堀直之宛書状	(細川忠利)	堀式部(直之)	「…初而之御普請ニ候間…又 上様の御石垣の御用ニ立不申候て不入事と存候…」	江戸城普請
430	大日本近世史料 細川家史料十九 細川忠利文書十二	2830	19	34	(寛永十二年)正月六日	正月六日加々爪忠澄宛書状	(細川忠利)	か々爪民部(加々爪忠澄)	「…先度御普請之儀ニ付而以書状申入候処…」	江戸城普請
431	大日本近世史料 細川家史料十九 細川忠利文書十二	2831	19	35	(寛永十二年)正月六日	正月六日柳生宗矩宛書状	(細川忠利)	柳但馬(柳生宗矩)	「…今度御在京彼是ニ付、来年ニ御延被成候由…」	江戸城普請
432	大日本近世史料 細川家史料十九 細川忠利文書十二	2843	19	45	(寛永十二年)正月六日	正月六日有馬直純宛書状	(細川忠利)	有左衛(有馬直純)	「…然当年ニ江戸之御普請初可申かと、其用意も申付候…」	江戸城普請
433	大日本近世史料 細川家史料十九 細川忠利文書十二	2905	19	98	(寛永十二年)三月十六日	三月十六日伊丹康勝宛書状	(細川忠利)	伊播磨様(伊丹康勝)人々御中	「…来年之御普請之用意付而金子口入之儀申入候之处…」	江戸城普請

434	大日本近世史料 細川家史料十九 細川忠利文書十二	2906	19	99	(寛永十二年)三月廿日	三月廿日柳生宗矩并佐久間実勝宛書状	(細川忠利)	柳生但馬守様(宗矩)・佐久間将監様(実勝)人々御中	「…御普請之役人置申候小屋場壱ヶ所見立申候へ共…近日伊豆石場よりも役人など罷越候…」	江戸城普請
435	大日本近世史料 細川家史料十九 細川忠利文書十二	2919	19	114	(寛永十二年)卯月九日	四月九日駒井昌保宛書状	(細川忠利)	駒井次郎左衛門様(昌保)人々御中	「…何も小屋場相渡候様ニ承候…」	江戸城普請
436	大日本近世史料 細川家史料十九 細川忠利文書十二	2923	19	118	(寛永十二年)卯月十七日	四月十七日朝比奈正重宛書状	(細川忠利)	朝比奈源六様(正重)人々御中	「…其ならひニ松平阿波守殿(蜂須賀忠英)小屋場被取置候所…」	江戸城普請
437	大日本近世史料 細川家史料十九 細川忠利文書十二	2924	19	119	(寛永十二年)卯月十七日	四月十七日駒井昌保宛書状	(細川忠利)	駒井次郎左衛門様(昌保)人々御中	「…其ならひニ松平阿波守殿(蜂須賀忠英)小屋場ニくいをうち被置候所、丁場替候間…」	江戸城普請
438	大日本近世史料 細川家史料十九 細川忠利文書十二	2944	19	137	(寛永十二年)六月十二日	六月十二日曾我古祐宛書状	(細川忠利)	曾又左(曾我古祐)	「…其元大手の御門さきニ御座候角石之儀ニ付堀(掘)出候儀…又我等舟も、伊豆にて石取可申と在所ゝ八木など積廻候舟十四五そう打わり申候…」	江戸城普請
439	大日本近世史料 細川家史料十九 細川忠利文書十二	2954	19	150	(寛永十二年)六月廿七日	六月廿七日柳生宗矩宛書状	(細川忠利)	柳生但馬守様(宗矩)人々御中	「…大橋御見付之石…角石ハ、大橋之内之大きな石ニ、又少ハ大小御座候石も可有御座候…」	江戸城普請
440	大日本近世史料 細川家史料十九 細川忠利文書十二	2957	19	153	(寛永十二年)六月廿五日	六月廿五日柳生宗矩宛書状	(細川忠利)	柳生但馬守様(宗矩)人々御中	「…公儀御石借り申間敷哉…角石もくり石も御座候哉…」	江戸城普請
441	大日本近世史料 細川家史料十九 細川忠利文書十二	2961	19	156	(寛永十二年)七月三日	七月三日柳生宗矩宛書状	(細川忠利)	柳生但馬守様(宗矩)人々御中	「…我等見付之石之事…此方にてわり砕不申候ニ…」	江戸城普請
442	大日本近世史料 細川家史料十九 細川忠利文書十二	2973	19	168	(寛永十二年)七月廿一日	七月廿一日酒井忠勝宛覚書	(細川忠利)	酒井讃岐守(忠勝)	「…来年之御普請あかりニなをし申度候間…」	江戸城普請
443	大日本近世史料 細川家史料十九 細川忠利文書十二	2980	19	177	(寛永十二年)八月二日	八月二日朝比奈正重并駒井昌保銘々宛書状	(細川忠利)	朝比奈源六様(正重)・駒井二郎左衛門様(昌保)人々御中	「…然は我等普請之者、伊豆石場ゝ少々此方へ呼寄申候…」	江戸城普請
444	大日本近世史料 細川家史料十九 細川忠利文書十二	2986	19	182	(寛永十二年)八月六日	八月六日柳生宗矩宛書状	(細川忠利)	柳生但馬守様(宗矩)人々御中	「…石用候はゝかり可申由…石ハ只今之御普請之分には不入申候、併伊豆ゝ角石八月・九月ニ参候…明日御普請衆罷下候事申遣候…」	江戸城普請
445	大日本近世史料 細川家史料十九 細川忠利文書十二	2988	19	184	(寛永十二年)八月七日	八月七日曾我古祐宛書状	(細川忠利)	曾又左様(曾我古祐)人々御中	「…爰元御普請之儀、正月三日ゝ取懸り可申旨被仰出候、就其、俄国本へ普請之者呼ニ遣申候…」	江戸城普請
446	大日本近世史料 細川家史料十九 細川忠利文書十二	2989	19	186	(寛永十二年)八月七日	八月七日榊原職直宛書状	(細川忠利)	榊原飛騨様(職直)人々御中	「…御普請之儀、正月三日ゝ取懸り候様ニと被仰出候、就其、普請之者共俄ニ国本へ呼ニ遣申候…」	江戸城普請
447	大日本近世史料 細川家史料十九 細川忠利文書十二	2990	19	188	(寛永十二年)八月七日	八月七日加々爪忠澄外二名宛書状	(細川忠利)	かゝ爪民部様(加々爪忠澄)・佐将監様(佐久間実勝)・堀式部様(直之)人々御中	「… 上様(徳川家光)之御石かり申候ハゝ可申上由…角石未伊豆ニ申付…」	江戸城普請
448	大日本近世史料 細川家史料十九 細川忠利文書十二	2994	19	195	(寛永十二年)八月十一日	八月十一日柳生宗矩宛覚書	(細川忠利)		「…れいかん嶋(霊巖島、武蔵豊島郡)ニ大角は壱ツ・ちいさき角式ツ、其外つき石も此前ゝ御座候ニ付而…」	江戸城普請
449	大日本近世史料 細川家史料十九 細川忠利文書十二	3004	19	205	(寛永十二年)八月廿六日	八月廿六日妻木之徳宛書状	(細川忠利)	妻吉左様(妻木之徳)人々御中	「…従御奉行衆被渡下候我等普請之小屋場、隠岐殿(松平定行)被成御拝領候とて、被小屋場河内殿(水野守信)御出候てはい・たけなど被成御立候由…早々被成御普請儀ニ候ハゝ、別之小屋場を可申請候、又、来春迄御普請不被仰付候ハゝ、其まゝ右之小屋場ニ小やをかけさせ可申候哉…」	江戸城普請
450	大日本近世史料 細川家史料十九 細川忠利文書十二	3008	19	209	(寛永十二年)九月七日	九月七日榊原職直宛書状	(細川忠利)	榊飛騨(榊原職直)	「…御普請済候ハゝ、国之様子もかへ不申候ハゝ成申間敷候…御普請ニはや三万両の上入由申候…」	江戸城普請

451	大日本近世史料 細川家史料十九 細川忠利文書十二	3014	19	215	(寛永十二年)九月十七日	九月十七日榊原職直宛書状	(細川忠利)	榊飛驒(榊原職直)	「一、御普請弥正月三日過候而と被仰出候…」「…小田原(相模足柄下郡)へ石垣之検地ニ被遣候…堀の水落かね、大普請之由ニ候故…」	江戸城普請、小田原城普請
452	大日本近世史料 細川家史料十九 細川忠利文書十二	3021	19	223	(寛永十二年)九月廿九日	九月廿九日細野為景宛書状	(細川忠利)	細図書(細野為景)	「…爰元は御普請之儀ニ昼夜下々苦勞仕候…」	江戸城普請
453	大日本近世史料 細川家史料十九 細川忠利文書十二	3028	19	234	(寛永十二年)十一月十一日	十一月十一日朝比奈正重并駒井昌保宛書状	(細川忠利)	朝比奈源六様(正重)・駒井二郎左衛門様(昌保)人々御中	「…普請之者召置候小や場、あさぶ(麻布、武蔵豊島郡)にて被渡下候、御丁場近にて屋敷をかり、普請之者を召置候…」	江戸城普請
454	大日本近世史料 細川家史料二十 細川忠利文書十三	3040	20	1	(寛永十三年)正月六日	正月六日稲葉正利宛書状	(細川忠利)	稲内記様(稲葉正則)人々御中	「…御普請ニ最早取かゝり申候…」	江戸城普請
455	大日本近世史料 細川家史料二十 細川忠利文書十三	3042	20	4	(寛永十三年)正月十七日	正月十七日上林味卜并上林三四郎銘々宛書状	(細川忠利)	上林味卜斎	「…爰元今程御普請半之儀候故…」	江戸城普請
456	大日本近世史料 細川家史料二十 細川忠利文書十三	3049	20	9	(寛永十三年)三月朔日	三月朔日稲葉正利宛書状	(細川忠利)	稲内記様(稲葉正則)人々御中	「…御普請も仕廻申候間…」	江戸城普請
457	大日本近世史料 細川家史料二十 細川忠利文書十三	3050	20	11	(寛永十三年)三月十一日	三月十一日菅沼定芳宛書状	(細川忠利)	菅織部(菅沼定芳)	「…御普請も出来仕候、我等丁場之儀如被仰越候…」	江戸城普請
458	大日本近世史料 細川家史料二十 細川忠利文書十三	3053	20	14	(寛永十三年)三月廿一日	三月廿一日小浜光隆宛書状	(細川忠利)	小浜民部少輔様(光隆)人々御中	「…爰元御普請大方相済…」	江戸城普請
459	大日本近世史料 細川家史料二十 細川忠利文書十三	3068	20	30	(寛永十三年)六月十一日	六月十一日松平信綱并阿部忠秋宛書状	(細川忠利)	松平伊豆守様(信綱)・阿部豊後守様(忠秋)人々御中	「…我等城普請之儀御奉書被下候…」	熊本城普請
460	大日本近世史料 細川家史料二十 細川忠利文書十三	3130	20	92	(寛永十三年)七月廿二日	七月廿二日菅沼定芳宛書状	(細川忠利)	菅織部(菅沼定芳)	「…来年江戸御本丸御普請ニ付而…来年二月ゝ被成御普請候由…普請道具之儀被仰越候、永井日向殿(直清)ゝ御貸有度由ニ候間、かし候様ニと申遣候、いまた道具可有御座候間…」	江戸城普請
461	大日本近世史料 細川家史料二十 細川忠利文書十三	3137	20	99	(寛永十三年)八月三日	八月三日堀直之宛書状	(細川忠利)	堀式部(直之)	「…来年は御普請手伝不殘被仰付候由事…」	江戸城普請
462	大日本近世史料 細川家史料二十 細川忠利文書十三	3139	20	103	(寛永十三年)八月三日	八月三日武田信重宛書状	(細川忠利)	武田道安(信重)	「…来年江戸御普請、御譜代衆へも当り申由…」	江戸城普請
463	大日本近世史料 細川家史料二十 細川忠利文書十三	3150	20	112	(寛永十三年)八月三日	八月三日篠原内匠宛書状	(細川忠利)	篠原内匠殿御宿所	「…其元天氣能御国之御普請も出来可申と存候…」	熊本城普請
464	大日本近世史料 細川家史料二十 細川忠利文書十三	3151	20	113	(寛永十三年)八月三日	八月三日阿部忠秋宛書状	(細川忠利)	阿部豊後守様(忠秋)人々御中	「…拙者熊本普請之儀…」	熊本城普請
465	大日本近世史料 細川家史料二十 細川忠利文書十三	3152	20	114	(寛永十三年)八月三日	八月三日土井利勝宛書状	(細川忠利)	土井大炊頭様(利勝)人々御中	「…殊熊本普請之儀、御番ニ付而豊後殿(阿部忠秋)被仰上候処…」	熊本城普請
466	大日本近世史料 細川家史料二十 細川忠利文書十三	3154	20	116	(寛永十三年)八月三日	八月三日松平信綱宛書状	(細川忠利)	松平伊豆守様(信綱)人々御中	「…熊本普請之儀も、重而被得御意候之处…」	熊本城普請
467	大日本近世史料 細川家史料二十 細川忠利文書十三	3194	20	156	(寛永十三年)九月四日	九月四日酒井忠勝宛書状	(細川忠利)	酒讃州様(酒井忠勝)人々御中	「…御城御普請出来仕候由、去年・当年大成御普請ニ少々出入も無御座事…」	江戸城普請
468	大日本近世史料 細川家史料二十 細川忠利文書十三	3197	20	160	(寛永十三年)九月四日	九月四日本多政勝宛書状	(細川忠利)	本多内記(政勝)	「…其元御城主・御殿など立直申候御普請初之儀、当年は相延、来年正月ゝ可被仰付由、又、御普請衆御暇于今出不申候由、承届候…」	江戸城普請

469	大日本近世史料 細川家史料二十 細川忠利文書十三	3205	20	169	(寛永十三年)九月四日	九月四日松平直政宛書状	(細川忠利)	松出羽(松平直政)	「…其元御普請初り、九月中ニ西丸へ被為移、御本丸御天王・御殿など御こほち被成候由、上方・三河御譜代衆手伝之由…」	江戸城普請
470	大日本近世史料 細川家史料二十 細川忠利文書十三	3208	20	174	(寛永十三年)九月四日	九月四日田中吉官宛書状	(細川忠利)	田主殿(田中吉官)	「…御本丸御作事弥来年被仰付之由…」	江戸城普請
471	大日本近世史料 細川家史料二十 細川忠利文書十三	3226	20	194	(寛永十三年)九月十三日	九月十三日烏丸光賢宛書状	(細川忠利)	烏丸中納言様(光賢)人々御中	「…江戸屋敷作事も出来ニ付…」	細川家江戸屋敷の作事
472	大日本近世史料 細川家史料二十 細川忠利文書十三	3257	20	224	(寛永十三年)十月十日	十月十日土井利勝宛書状	(細川忠利)	土井大炊頭(利勝)	「…当年は其元御普請并日光御普請迄、被 思召俣ニ相調…」	江戸城普請、日光東照宮の普請
473	大日本近世史料 細川家史料二十 細川忠利文書十三	3258	20	225	(寛永十三年)十月十日	十月十日酒井忠勝宛書状	(細川忠利)	酒井讃岐守様(忠勝)人々御中	「…当年は其元之御普請并日光之御普請迄も思召俣ニ相調…」	江戸城普請、日光東照宮の普請
474	大日本近世史料 細川家史料二十 細川忠利文書十三	3260	20	227	(寛永十三年)十月十日	十月十日堀田正盛宛書状	(細川忠利)	堀田加賀守様(正盛)人々御中	「…当年は其元御普請并日光御普請迄も思召俣ニ相調…」	江戸城普請、日光東照宮の普請
475	大日本近世史料 細川家史料二十 細川忠利文書十三	3276	20	240	(寛永十三年)十月十日	十月十日春日局宛書状	(細川忠利)	かすかさま(春日局)にて誰にても申給へ	「…当年は江戸の御ふしん・日光までもおほしめすまゝにおほせ付られ…」	江戸城普請、日光東照宮の普請
476	大日本近世史料 細川家史料二十 細川忠利文書十三	3298	20	260	(寛永十三年)十月廿七日	十月廿七日井伊直孝并伊丹康勝銘々宛書状	(細川忠利)	井伊掃様(直孝)・伊丹播磨守様(康勝)人々御中	「…当年者其表御普請并日光御普請迄も思召俣ニ相調…」	江戸城普請、日光東照宮の普請
477	大日本近世史料 細川家史料二十 細川忠利文書十三	3309	20	268	(寛永十三年)十一月二日	十一月二日小笠原忠真宛書状	(細川忠利)	小右近(小笠原忠真)	「…来年御本丸石垣御普請…石・栗石ハ従公儀被仰付候間…」	江戸城普請
478	大日本近世史料 細川家史料二十 細川忠利文書十三	3322	20	283	(寛永十三年)霜月七日	十一月七日蜂須賀家政宛書状	(細川忠利)	蓬庵(蜂須賀家政)	「…去年以来大普請を被仰付…」	江戸城普請
479	大日本近世史料 細川家史料二十 細川忠利文書十三	3354	20	311	(寛永十三年)十一月十日	十一月十日酒井忠勝宛書状	(細川忠利)	酒讃岐様(酒井忠勝)人々御中	「…貴様御普請も出来仕由、又、江戸御普請之□□城御請取候段…」	小浜城普請、江戸城普請
480	大日本近世史料 細川家史料二十 細川忠利文書十三	3364	20	320	(寛永十三年)十一月十日	十一月十日立花宗茂宛書状	(細川忠利)	立飛驒(立花宗茂)	「…貴様御下屋敷御作事出来仕…」	柳川藩江戸屋敷の普請
481	大日本近世史料 細川家史料二十 細川忠利文書十三	3436	20	377	(寛永十三年)十一月廿九日	十一月廿九日堀直寄宛書状	(細川忠利)	堀丹後(直寄)	「…来年者御本丸御作事可有御座由…」	江戸城普請
482	大日本近世史料 細川家史料二十 細川忠利文書十三	3448	20	388	(寛永十三年十一月廿九日)	(十一月廿九日)某宛書状	(細川忠利)		「…如申入江戸御普請一まきは万事家中之者ニかまはせず我等申付候間…」	江戸城普請
483	大日本近世史料 細川家史料二十 細川忠利文書十三	3470	20	405	(寛永十三年)十一月廿九日	十一月廿九日烏丸光広宛書状	(細川忠利)	烏丸大納言様(光広)人々御中	「…江戸御屋敷見事ニ御作事出来申候由…」	烏丸光広の江戸屋敷の普請
484	大日本近世史料 細川家史料二十 細川忠利文書十三	3507	20	432	(寛永十三年)十二月十五日	十二月十五日烏丸光広宛書状	(細川忠利)	烏丸大納言様(光広)人々御中	「…御屋敷之御作事従 上様(徳川家光)被仰付之由…」	烏丸光広の江戸屋敷の普請
485	大日本近世史料 細川家史料二十一 細川忠利文書十四	3555	21	9	(寛永十四年)正月五日	正月五日本多政朝宛書状	(細川忠利)	本甲州様(本多政朝)人々御中	「…御普請場に召候御道服之儀被仰越候…」	江戸城普請
486	大日本近世史料 細川家史料二十一 細川忠利文書十四	3561	21	15	(寛永十四年)正月五日	正月五日小笠原忠真宛書状	(細川忠利)	小笠原右近大夫様(忠真)人々御中	「…貴様など弥被成御普請候哉…」	江戸城普請

487	大日本近世史料 細川家史料二十一 細川忠利文書十四	3565	21	19	(寛永十四年)正月七日	正月七日京極忠高宛書状	(細川忠利)	京若州(京極忠高)	「…公儀御普請之事于今不申来候は…」	江戸城普請
488	大日本近世史料 細川家史料二十一 細川忠利文書十四	3570	21	28	(寛永十四年)正月十日	正月十日柳生宗矩宛書状	(細川忠利)	柳生但馬守(宗矩)	「…今 方 江戸御普請に付而材木・石など被上候衆御座候由…」	江戸城普請
489	大日本近世史料 細川家史料二十一 細川忠利文書十四	3592	21	47	(寛永十四年)正月十七日	正月十七日久留島通春宛書状	(細川忠利)	久留丹波(久留島通春)	「…江戸は春早々 方 御普請之由候、大名衆は思々石・材木など進上と申候…」	江戸城普請
490	大日本近世史料 細川家史料二十一 細川忠利文書十四	3604	21	58	(寛永十四年)正月廿六日	正月廿六日曾我古祐宛書状	(細川忠利)	曾又左(曾我古祐)	「…江戸何もかも高直に御座候由…御普請・御作事ことすみ候は…」	江戸城普請
491	大日本近世史料 細川家史料二十一 細川忠利文書十四	3616	21	69	(寛永十四年)二月七日	二月七日立花宗茂宛書状	(細川忠利)	立飛驒(立花宗茂)	「…御本丸之御普請衆も罷下由…」	江戸城普請
492	大日本近世史料 細川家史料二十一 細川忠利文書十四	3618	21	71	(寛永十四年)二月七日	二月七日本多忠義宛書状	(細川忠利)	本能登様(本多忠義)人々御中	「…最早其元御普請も初り…打続永々被在江戸…」	江戸城普請
493	大日本近世史料 細川家史料二十一 細川忠利文書十四	3619	21	72	(寛永十四年)二月七日	二月七日小笠原忠真宛書状	(細川忠利)	小右近(小笠原忠真)	「…最早御普請も初り…打続永々御在江戸御苦労無申計候…」	江戸城普請
494	大日本近世史料 細川家史料二十一 細川忠利文書十四	3620	21	73	(寛永十四年)二月七日	二月七日松平重直宛書状	(細川忠利)	松平丹後守(重直)	「…御本丸御普請に貴様なども被成御役候由…」	江戸城普請
495	大日本近世史料 細川家史料二十一 細川忠利文書十四	3626	21	78	(寛永十四年)二月七日	二月七日榊原職直宛書状	(細川忠利)	榊飛驒(榊原職直)	「…御本丸御作事に付西丸へ被成御移候由…」	江戸城普請
496	大日本近世史料 細川家史料二十一 細川忠利文書十四	3628	21	81	(寛永十四年)二月七日	二月七日本多政勝宛書状	(細川忠利)	本内記(本多政勝)	「…御普請もはや初り可申と存候…貴様永々被成御詰御苦労無申計候…」	江戸城普請
497	大日本近世史料 細川家史料二十一 細川忠利文書十四	3631	21	83	(寛永十四年)二月七日	二月七日小笠原長次宛書状	(細川忠利)	小笠原信濃守(長次)	「…貴様なども御本丸御普請に最早被成御取懸候哉…」	江戸城普請
498	大日本近世史料 細川家史料二十一 細川忠利文書十四	3632	21	84	(寛永十四年)二月七日	二月七日酒井忠知宛書状	(細川忠利)	酒因幡守様(酒井忠知)人々御中	「…我等かんき石置場之儀御肝煎之由…」	江戸城普請
499	大日本近世史料 細川家史料二十一 細川忠利文書十四	3684	21	140	(寛永十四年)二月十九日	二月十九日酒井忠勝宛書状	(細川忠利)	酒讃岐守様(酒井忠勝)人々御中	「…貴様御普請はか参候哉…」	江戸城普請
500	大日本近世史料 細川家史料二十一 細川忠利文書十四	3687	21	143	(寛永十四年)二月十九日	二月十九日日根野吉明宛書状	(細川忠利)	日根野織部(吉明)	「…貴様も御本丸御作事に付而 御役被仰付候由…中御門あたり讃州(酒井忠勝)御つき候由…」	江戸城普請
501	大日本近世史料 細川家史料二十一 細川忠利文書十四	3704	21	159	(寛永十四年)三月三日	三月三日榊原職直宛書状	(細川忠利)	榊飛驒(榊原職直)	「…其元御作事御座候之由…」	江戸城普請
502	大日本近世史料 細川家史料二十一 細川忠利文書十四	3722	21	177	(寛永十四年)三月九日	三月九日京極忠高宛書状	(細川忠利)	京極若狭守(忠高)	「…貴様公儀御普請之儀…」	江戸城普請
503	大日本近世史料 細川家史料二十一 細川忠利文書十四	3733	21	191	(寛永十四年)三月廿一日	三月廿一日酒井忠勝宛書状	(細川忠利)	酒讃岐様(酒井忠勝)人々御中	「…貴様御普請御手廻能大石もはし 方 御引入被成候由…」	江戸城普請
504	大日本近世史料 細川家史料二十一 細川忠利文書十四	3762	21	216	(寛永十四年)閏三月廿五日	閏三月廿五日曾我古祐宛書状	(細川忠利)	曾又左様(曾我古祐)人々御中	「…御本丸御普請はか参候由候…」	江戸城普請

505	大日本近世史料 細川家史料二十一 細川忠利文書十四	3785	21	240	(寛永十四年)五月廿五日	五月廿五日小笠原忠真宛書状	(細川忠利)	小右近様(小笠原忠真)人々御中	「…石貴様之衆へ渡可申候…進上之石に…御用になき石も目録之内は一ツに被成…」	江戸城普請
506	大日本近世史料 細川家史料二十一 細川忠利文書十四	3829	21	290	(寛永十四年)九月七日	九月七日豊永賢斎宛書状	(細川忠利)	豊永堅〔賢〕斎	「…御本丸…俄之御普請に候…」	江戸城普請
507	大日本近世史料 細川家史料二十一 細川忠利文書十四	3837	21	301	(寛永十四年)十月七日	十月七日池田由成宛書状	(細川忠利)	池田出羽(由成)	「…然は上方近所に而石場望に存付…先年宮内殿(池田忠雄)より加藤左馬殿(嘉明)へ被借置候石場、可有御借と之儀御座候…」	江戸城普請
508	大日本近世史料 細川家史料二十二 細川忠利文書十五	3956	22	18	(寛永十五年)二月六日	二月六日川勝広綱并佐々長次宛書状	(細川忠利)	川勝丹波様(広綱)・佐々権兵衛様(長次)人々御中	「…日々普請城内に仕候間…」	島原の乱
509	大日本近世史料 細川家史料二十二 細川忠利文書十五	3957	22	20	(寛永十五年)二月六日	二月六日日根野吉明宛書状	(細川忠利)	日根野織部様(吉明)人々御中	「…其上我等手之城内は于今日々普請仕候間…」	島原の乱
510	大日本近世史料 細川家史料二十二 細川忠利文書十五	3962	22	29	(寛永十五年)二月五日	二月五日島津家久宛書状	(細川忠利)	松大隅守様(島津家久)人々御中	「…城内に毎日普請仕候…」	島原の乱
511	大日本近世史料 細川家史料二十二 細川忠利文書十五	3973	22	43	(寛永十五年)二月九日	二月九日堀直寄宛書状	(細川忠利)	堀丹後様(直寄)人々御中	「…其上我等手の城内は、日々普請仕候間…」	島原の乱
512	大日本近世史料 細川家史料二十二 細川忠利文書十五	3978	22	54	(寛永十五年)二月十四日	二月十四日土井利勝外三名并永井直清并城信茂外一名并久貝正俊外一名并細川忠興銘々宛書状	(細川忠利)	土井大炊頭様(利勝)・酒井讃岐守(忠勝)・阿部豊後守(忠秋)・堀田加賀守(正盛)・永井日向守(直清)・城野織部(信茂)・小幡孫市(直之)・久貝因幡守(正俊)・曾我又左衛門(古祐)・三斎(細川忠興)	「…日々土普請内に仕候…」	島原の乱
513	大日本近世史料 細川家史料二十二 細川忠利文書十五	3990	22	67	(寛永十五年)二月十六日	二月十六日城信茂宛書状	(細川忠利)	城織部(信茂)	「…切ほりの普請…堀へ差付候而の普請にて御座候故…普請むつかしく候…」	島原の乱
514	大日本近世史料 細川家史料二十二 細川忠利文書十五	4001	22	82	(寛永十五年)二月十六日	二月十六日酒井忠知宛書状	(細川忠利)	酒因幡様(酒井忠知)人々御中	「…切堀之普請十五日より取付申候…堀へさし付候而の普請に而御座候故…普請むつかしく候故…」	島原の乱
515	大日本近世史料 細川家史料二十二 細川忠利文書十五	4010	22	91	(寛永十五年)二月十七日	二月十七日曾我古祐宛書状	(細川忠利)	曾又左(曾我古祐)	「…城へ近普請に而候故…」	島原の乱
516	大日本近世史料 細川家史料二十二 細川忠利文書十五	4025	22	106	(寛永十五年)二月廿日	二月廿日川勝広綱并佐々長次宛書状	(細川忠利)	川勝丹波(広綱)・佐々権兵衛(長次)	「…今日廿日に城之堀八分目へ土俵にてつみあげさせ、普請出来仕候…」	島原の乱
517	大日本近世史料 細川家史料二十二 細川忠利文書十五	4027	22	108	(寛永十五年)二月廿日	二月廿日日根野吉明宛書状	(細川忠利)	日根織部(日根野吉明)	「…只今迄之普請…未勢楼・築山など土之不自由成手は出来不申候…」	島原の乱
518	大日本近世史料 細川家史料二十二 細川忠利文書十五	4045	22	122	(寛永十五年)二月廿二日	二月廿二日永井直清宛書状	(細川忠利)	永日向(永井直清)	「…普請出来不申衆候而…」	島原の乱
519	大日本近世史料 細川家史料二十二 細川忠利文書十五	4077	22	153	(寛永十五年)二月廿七日	二月廿七日日根野吉明宛書状	(細川忠利)	日根野織部(吉明)	「…我等手前普請之儀、仕まい申通…」	島原の乱
520	大日本近世史料 細川家史料二十二 細川忠利文書十五	4105	22	183	(寛永十五年)三月五日	三月五日酒井忠勝宛書状	(細川忠利)	酒井讃岐守(忠勝)	「…今度之御陣思召外普請御座候ニ付而…百姓も召寄せ普請申付候故…」	島原の乱

521	大日本近世史料 細川家史料二十二 細川忠利文書十五	4162	22	250	(寛永十五年)三月九日	三月九日阿部正次宛書状	(細川忠利)	阿部備中守(正次)	「…今度有馬之城之儀、思召外大キなる普請何も仕候…普請之段は、三浦志摩守殿(正次)、何も普請以下ほねをおり候由被仰聞…右のことく百姓あまた普請ニ参候間…」	島原の乱
522	大日本近世史料 細川家史料二十二 細川忠利文書十五	4188	22	278	(寛永十五年)三月十二日	三月十二日伊達忠宗宛書状	(細川忠利)	松平越前(伊達忠宗)	「…今度は仕寄ニ色々普請多御座候故…百姓多召寄普請仕候間…」	島原の乱
523	大日本近世史料 細川家史料二十三 細川忠利文書十六	4361	23	96	(寛永十五年)四月三日	四月三日阿部忠秋并酒井忠勝銘々宛書状	(細川忠利)	阿部豊後守様・酒井讃岐様(忠勝)人々御中	「…仍熊本普請之儀…此比は有馬之儀に付而、普請も不仕候ツる間…少つゝ右之普請可申付と存候…」	熊本城普請
524	大日本近世史料 細川家史料二十四 細川忠利文書十七	4746	24	24	(寛永十五年)八月六日	八月六日立花忠茂宛書状	(細川忠利)	立左近(忠茂)	「…熊本普請申付度事共御座候へ共…頃普請仕候様にと被仰出候間、少々普請申付事御座候…」	熊本城普請
525	大日本近世史料 細川家史料二十四 細川忠利文書十七	4752	24	31	(寛永十五年)八月七日	八月七日阿部忠秋宛書状	(細川忠利)	阿部豊後守(忠秋)	「…然は熊本城普請之儀…今程普請申付事如何可有御座哉と申入候処…」	熊本城普請
526	大日本近世史料 細川家史料二十四 細川忠利文書十七	4753	24	32	(寛永十五年)八月七日	八月七日酒井忠勝宛書状	(細川忠利)	酒井讃岐守(忠勝)	「…然は熊本普請之儀…普請可仕由從豊後殿も被仰越…」	熊本城普請
527	大日本近世史料 細川家史料二十四 細川忠利文書十七	4774	24	52	(寛永十五年)八月十日	八月十日日根野吉明宛書状	(細川忠利)	日根野織部様(吉明)人々御中	「…然は内々貴様へも申入候ツる熊本城廻普請仕度所之儀…頃而普請に取替可申と存候条…」	熊本城普請
528	大日本近世史料 細川家史料二十四 細川忠利文書十七	4775	24	53	(寛永十五年)八月十六日	八月十六日能勢頼重并大久保正信宛書状	(細川忠利)	能瀬〔勢〕次左衛門様(頼重)・大久保権右衛門様(正信)人々御中	「…然は熊本城廻土居・堀・石垣など仕度所御座候故…」	熊本城普請
529	大日本近世史料 細川家史料二十四 細川忠利文書十七	4779	24	56	(寛永十五年)八月十七日	八月十七日有馬豊氏宛書状	(細川忠利)	有玄番〔蕃〕(有馬豊氏)	「…我々城、堀・石かきなど右方普請の事申上候ツる…」	熊本城普請
530	大日本近世史料 細川家史料二十四 細川忠利文書十七	4783	24	60	(寛永十五年)八月十九日	八月十九日小笠原忠知宛書状	(細川忠利)	小壺岐(小笠原忠知)	「…其元御作事被仰付之由…我等も数寄屋申付、出来仕…」	小倉城作事力
531	大日本近世史料 細川家史料二十四 細川忠利文書十七	4806	24	83	(寛永十五年)八月廿四日	八月廿四日有馬豊氏宛書状	(細川忠利)	有玄番〔蕃〕(有馬豊氏)	「…爰元普請申付候に付而…」	熊本城普請
532	大日本近世史料 細川家史料二十四 細川忠利文書十七	4823	24	103	(寛永十五年)八月廿八日	八月廿八日山崎家治宛書状	(細川忠利)	山甲斐様(山崎家治)人々御中	「…其元御普請之由…」「…爰元も普請可仕由御老中の方申来、石かき・土井〔居〕など少つゝ申付候…」	富岡城普請、熊本城普請
533	大日本近世史料 細川家史料二十四 細川忠利文書十七	4829	24	109	(寛永十五年)九月五日	九月五日小笠原忠真宛書状	(細川忠利)	小右近様(小笠原忠真)人々御中	「…熊本堀・石垣・矢倉など普請之儀…」	熊本城普請
534	大日本近世史料 細川家史料二十四 細川忠利文書十七	4913	24	186	(寛永十五年)九月廿六日	九月廿六日山崎家治宛書状	(細川忠利)	山甲斐様(山崎家治)人々御中	「…今程其元御普請被仰付候由承候…」	富岡城普請
535	大日本近世史料 細川家史料二十四 細川忠利文書十七	4937	24	208	(寛永十五年)十月五日	十月五日有馬豊氏宛書状	(細川忠利)	有玄番〔蕃〕(有馬豊氏)	「…熊本の普請未以絵図得 御意置候所数々御座候へ共、川手の土手筑後口の堀うまり候をさらへ…いまた普請数々残申候へ共、連々以可仕由に付而…」	熊本城普請
536	大日本近世史料 細川家史料二十四 細川忠利文書十七	4938	24	209	(寛永十五年)十月七日	十月七日日根野吉明宛書状	(細川忠利)	日根野織部(吉明)	「…爰元普請も川尻口・筑後口計之土手堀仕…」	熊本城普請
537	大日本近世史料 細川家史料二十四 細川忠利文書十七	4970	24	237	(寛永十五年)十月十七日	十月十七日永井直清宛書状	(細川忠利)	永日向様(永井直清)人々御中	「…爰元普請も不罷成候…」	熊本城普請
538	大日本近世史料 細川家史料二十四 細川忠利文書十七	4976	24	241	(寛永十五年)十月廿日	十月廿日山崎家治宛書状	(細川忠利)	山甲斐様(山崎家治)人々御中	「…其元御普請被仰付…」	富岡城普請

539	大日本近世史料 細川家史料二十四 細川忠利文書十七	5020	24	281	(寛永十五年)十一月五日	十一月五日榊原職直宛書状	(細川忠利)	榊飛州様(榊原職直)人々御中	「…熊本之普請も差置…」	熊本城普請
540	大日本近世史料 細川家史料二十四 細川忠利文書十七	5062	24	327	(寛永十五年)十一月廿七日	十一月廿七日山崎家治宛書状	(細川忠利)	山甲州様(山崎家治)人々御中	「…御普請之はか参間敷と存候…」	富岡城普請
541	大日本近世史料 細川家史料二十四 細川忠利文書十七	5065	24	331	(寛永十五年)十一月廿七日	十一月廿七日久貝正俊宛書状	(細川忠利)	久因幡様(久貝正俊)人々御中	「…品川筋沢庵(宗彭)之寺屋敷に御数寄屋、小堀遠州(政一)・佐久間将監殿(実勝)に被仰付…緩々と作事可仕之由被仰出候旨申来由候事…」	
542	大日本近世史料 細川家史料二十五 細川忠利文書十八	5094	25	26	(寛永十五年)極月十日	十二月十日日根野吉明宛書状	(細川忠利)	日根織部様(日根野吉明)人々御中	「…我等城門、又は矢倉など誘置候を春立申候…未堀・石垣も所々残申候へ共…」	熊本城普請
543	大日本近世史料 細川家史料二十五 細川忠利文書十八	5133	25	61	(寛永十五年)十二月廿七日	十二月十日一尾通尚宛書状	(細川忠利)	一伊織(一尾通尚)	「…御屋敷長屋作事之儀付而…」	
544	大日本近世史料 細川家史料二十五 細川忠利文書十八	5188	25	110	(寛永十六年)正月十七日	正月十七日山崎家治宛書状	(細川忠利)	山甲斐(山崎家治)	「…旧冬江戸御老中より其元御城へ御定米可被為詰之間…重而御城御普請丈夫に被成候而以後、御米可被成御預り由被仰遣段…」	富岡城普請
545	大日本近世史料 細川家史料二十五 細川忠利文書十八	5261	25	171	(寛永十六年)二月九日	二月九日山崎家治宛書状	(細川忠利)	山崎甲斐守様(家治)人々御中	「…其元御普請之様子などはか参候哉…御普請旁御用しけく候はん間…」	富岡城普請
546	大日本近世史料 細川家史料二十五 細川忠利文書十八	5336	25	225	(寛永十六年)卯月廿七日	四月廿七日山崎家治宛書状	(細川忠利)	山崎甲斐守(家治)	「…其元御普請如何被成候哉…」「我等熊本仕さしの普請の事も…」	天草の普請、熊本城普請
547	大日本近世史料 細川家史料二十五 細川忠利文書十八	5337	25	227	(寛永十六年)卯月廿七日	四月廿七日斎藤利政并三宅重吉銘々宛書状	(細川忠利)	斎藤左源太(利政)・三宅半七(重吉)	「…此前より度々得御意置候熊本普請之儀…」	熊本城普請
548	大日本近世史料 細川家史料二十五 細川忠利文書十八	5338	25	228	(寛永十六年)卯月廿七日	四月廿七日高力忠房宛書状	(細川忠利)	高摂津守様(高力忠房)人々御中	「…其元御普請被成候哉…」「…熊本普請度々得 御意候所…」	島原城普請、熊本城普請
549	大日本近世史料 細川家史料二十五 細川忠利文書十八	5353	25	243	(寛永十六年)六月朔日	六月朔日山崎家治宛書状	(細川忠利)	山崎甲斐守様(家治)人々御中	「…其元御普請はや御仕廻被成候哉…」	富岡城普請
550	大日本近世史料 細川家史料二十五 細川忠利文書十八	5362	25	249	(寛永十六年)六月六日	六月六日山崎家治宛書状	(細川忠利)	山甲州(山崎家治)	「…其元御普請もはか不参候由…」	富岡城普請
551	大日本近世史料 細川家史料二十五 細川忠利文書十八	5363	25	250	(寛永十六年)六月六日	六月六日日根野吉明宛書状	(細川忠利)	日根野織部(吉明)	「…熊本普請之儀、此度も御老中へ伺候へは…」	熊本城普請
552	大日本近世史料 細川家史料二十五 細川忠利文書十八	5364	25	251	(寛永十六年)六月六日	六月六日高力忠房宛書状	(細川忠利)	高力摂津守(忠房)	「…山甲斐殿(山崎家治)普請未出来不申…」	富岡城普請
553	大日本近世史料 細川家史料二十五 細川忠利文書十八	5399	25	284	(寛永十六年)六月廿八日	六月廿八日賢盛宛書状	(細川忠利)	正源院(賢盛)	「…今は下屋敷之家普請申付候事…」	細川家江戸屋敷の普請
554	大日本近世史料 細川家史料二十五 細川忠利文書十八	5436	25	318	(寛永十六年)八月十三日	八月十三日朝比奈正重并柘植正時銘々宛書状	(細川忠利)	朝比奈源六様(正重)・柘植平右衛門様(正時)人々御中	「…今度之火事付而方々御普請可有御座候、左候へは、西之丸築直シ之石垣御近習衆被仕候へ共、又御本丸之御用繁可有之候、左候而西之丸御丁場明申候は…」	江戸城本丸の火災に伴う普請
555	大日本近世史料 細川家史料二十五 細川忠利文書十八	5437	25	319	(寛永十六年)八月十七日	八月十七日伊丹康勝宛書状	(細川忠利)	伊順斎様(伊丹康勝)人々御中	「…早々石・栗石今日にも上可然之由…右御普請之儀に望申候時、石・くり石は手前にさのみ無御座候間、公儀之御石・くり石にて可仕之由申入候ツる、伊豆に石も栗石も持候もの御座候…」	江戸城本丸の火災に伴う普請
556	大日本近世史料 細川家史料二十五 細川忠利文書十八	5439	25	321	(寛永十六年)八月十八日	八月十八日小堀政一宛書状	(細川忠利)	小遠州(小堀政一)	「…爰元は火事に付…手前なども御ふしん被仰付候様にと申上候…西之丸もさんく 御石垣くるい候て大方なをり申候、御本丸もうは(石)やけ候て役に立不申候…」	江戸城本丸の火災に伴う普請

557	大日本近世史料 細川家史料二十五 細川忠利文書十八	5441	25	323	(寛永十六年)八月十九日	八月十九日山中由宗宛書状	(細川忠利)	山中泉斎老(由宗)御宿所	「…仍西之丸之御普請…今程は御本丸御普請被成候由承候に付…我等なども屋敷之人にて成共御普請に被加候はゞ…」	江戸城本丸の火災に伴う普請
558	大日本近世史料 細川家史料二十五 細川忠利文書十八	5476	25	355	(寛永十六年)十月十四日	十月十四日山崎家治宛書状	(細川忠利)	山崎甲斐守(家治)	「…其元御普請思召俣にはか不参候由…」	富岡城普請
559	大日本近世史料 細川家史料二十五 細川忠利文書十八	5495	25	372	(寛永十六年)霜月廿四日	十一月廿四日日根野吉明宛書状	(細川忠利)	日根織部様(日根野吉明)人々御中	「…江戸別条無御座候、今程御普請半にて御座候…」	江戸城本丸の火災に伴う普請
560	大日本近世史料 細川家史料二十五 細川忠利文書十八	5497	25	374	(寛永十六年)十一月廿四日	十一月廿四日曾我古祐宛書状	(細川忠利)	曾我丹波守様(古祐)人々御中	「…江戸相替儀も無御座、今程御作事半に而御座候…」	江戸城本丸の火災に伴う普請
561	大日本近世史料 細川家史料二十六 細川忠利文書十九	5521	26	1	(寛永十七年)正月七日	正月七日松前公広宛書状	(細川忠利)	松志摩(公広)	「…今程御本丸御作事半にて御座候…」	江戸城本丸の火災に伴う普請
562	大日本近世史料 細川家史料二十六 細川忠利文書十九	5528	26	10	(寛永十七年)正月廿日	正月廿日岡田義政宛書状	(細川忠利)	岡田将監様(義政)人々御中	「…御本丸御作事も頓而出来申様に申候…」	江戸城本丸の火災に伴う普請
563	大日本近世史料 細川家史料二十六 細川忠利文書十九	5777	26	276	(寛永十七年)八月十七日	八月十七日有馬豊氏宛書状	(細川忠利)	有玄番(有馬豊氏)	「…如仰存之外長雨、其元御普請之つかへに可罷成と存候、八代なども本丸石垣ふくれ出、はやくつれそうに御座候由に候…」	久留米城普請
564	大日本近世史料 細川家史料二十六 細川忠利文書十九	5777(附)	26	277	(寛永十七年)八月十七日	八月十七日土井利勝并酒井忠勝并堀田正盛銘々宛細川忠興書状	三斎宗立	土井大炊様・酒井讃岐様・堀田加賀様人々御中	「…八代御普請之儀に付而…八代之本丸北之方之石垣…はやくつれ申体に御座候…事之外大そう成普請に罷成候間…」	八代城普請
565	大日本近世史料 細川家史料二十六 細川忠利文書十九	5778	26	279	(寛永十七年)八月十八日	八月十八日松平信綱并阿部忠秋并阿部重次宛書状	(細川忠利)	松平伊豆様(信綱)・阿部豊後様(忠秋)・阿部対馬様(重次)人々御中	「…八代本丸北之方石垣…はやくすれかゝり申候…事之外手間入普請に而御座候…」	八代城普請
566	大日本近世史料 細川家史料二十六 細川忠利文書十九	5779	26	280	(寛永十七年)八月十八日	八月十八日土井利勝并酒井忠勝并堀田正盛宛書状	(細川忠利)	土井大炊様(利勝)・酒井讃岐様(忠勝)・堀田加賀様(正盛)人々御中	「…八代之本丸北之方石垣、堀の方へおし出シ、ならし石なども内へ少ころひ申候…大そう成普請に罷成候間…」	八代城普請
567	大日本近世史料 細川家史料二十六 細川忠利文書十九	5784	26	288	(寛永十七年)八月廿三日	八月廿三日有馬豊氏宛書状	(細川忠利)	有玄番〔蕃〕様(有馬豊氏)人々御中	「…其元御普請はか参間敷と無御心元存候…」	久留米城普請
568	大日本近世史料 細川家史料二十七 細川忠利文書二十	5822	27	27	(寛永十七年)九月十日	九月十日有馬豊氏宛書状	(細川忠利)	有玄番〔蕃〕様(有馬豊氏)人々御中	「其元御普請何比出来申候哉、以上」	久留米城普請
569	大日本近世史料 細川家史料二十七 細川忠利文書二十	5846	27	59	(寛永十七年)九月十八日	九月十八日有馬豊氏宛書状	(細川忠利)	有玄番〔蕃〕様(有馬豊氏)人々御中	「一、八代・熊本石垣之ふくれの事、江戸へ申進候へハ、可申付由奉書参、可申付由ニ候間、三斎(細川忠興)所へも普請之者遣申候事」	八代城・熊本城普請
570	大日本近世史料 細川家史料二十七 細川忠利文書二十	5851	27	65	(寛永十七年)九月廿二日	九月廿二日酒井忠勝宛書状	(細川忠利)	酒井讃岐守様人々御中	「八代本丸石垣修復、熊本捨石之儀ニ貴様へも、御老中へも、以書状申入候処ニ、御報忝存候…」	八代城・熊本城普請
571	大日本近世史料 細川家史料二十七 細川忠利文書二十	5852	27	66	(寛永十七年)九月廿二日	九月廿二日松平信綱并阿部重次并阿部忠秋宛書状	(細川忠利)	松平伊豆守様(信綱)・松平対馬守様(重次)・阿部豊後守様(忠秋)人々御中	「熊本・八代石垣之儀ニ、以書状申入候処ニ、御用繁中、早々三斎・我等所へも被下御奉書、八代本丸石垣修復・熊本本丸捨石普請之儀、可申付之段被仰越…」	八代城・熊本城普請
572	大日本近世史料 細川家史料二十七 細川忠利文書二十	5859	27	74	(寛永十七年)九月廿三日	九月廿三日有馬豊氏宛書状	(細川忠利)	有玄番〔蕃〕様(有馬豊氏)人々御中	「一、如仰、来廿七日八代ニ而口切可仕之由被申越候、如仰、普請之者少遣、そろそろ石・栗石寄せ申候、つきなおし候時者、わるき石を取のけ、急ニ不仕候者、脇くすれ可申と存候事」	八代城普請
573	大日本近世史料 細川家史料二十七 細川忠利文書二十	5864	27	79	(寛永十七年)九月廿九日	九月廿日有馬豊氏宛書状	(細川忠利)	有玄番〔蕃〕様(有馬豊氏)人々御中	「一、八代石垣も余石ちいさく候故、此中石を寄、晦日ゝふくれ候石を取のけ、其ままつき上様ニ申付参候間、十月四日五日之比ハ出来可申候事」「一、其元御普請如何被成候哉」	八代城普請、久留米城普請
574	大日本近世史料 細川家史料二十七 細川忠利文書二十	5865	27	81	(寛永十七年)九月晦日	九月晦日松平信綱并阿部重次并阿部忠秋宛書状	(細川忠利)	松平伊豆守様(信綱)・松平対馬守様(重次)・阿部豊後守様(忠秋)人々御中	「三斎方々今度八代石垣之儀申上候処ニ、早々奉書被成下、忝存之由被申、使者を各様迄差上被申候、石垣もはや少つき上させ申候、頓而出来可仕候…」	八代城普請

575	大日本近世史料 細川家史料二十七 細川忠利文書二十	5878	27	94	(寛永十七年)十月六日	十月六日京極高知宛書状	(細川忠利)	京刑部様(京極高知)人々御中	「…おらんだ平戸ニ石垣之蔵、其外家居、事之外結構ニ仕候を、御耳ニ立、御くづし候由申来候…」	平戸オランダ人屋敷の破却
576	大日本近世史料 細川家史料二十七 細川忠利文書二十	5919	27	135	(寛永十七年)十月十八日	十月十八日高力忠房宛書状	(細川忠利)	高力摂津守様(忠房)人々御中	「一、当夏之長雨ニ八代石垣もふくれ出申ニ方、得御意つき直シ申候、熊本本丸も石垣ふくれ出申候へ共、是ハ塀無御座所ニ付而、先くつれ次第と存、是又得御意、捨石丈夫ニ仕事候、切々普請之儀、得御意御奉書を被下、忝儀共存候事」	八代城・熊本城普請
577	大日本近世史料 細川家史料二十七 細川忠利文書二十	6014	27	229	(寛永十八年)正月五日	正月五日湘雪守沅宛書状	(細川忠利)	沅西堂(湘雪守沅)御報	「一、佐々九郎兵衛(光長)在京被申、今度刑部(京極高知)殿作事ニ付而、色々手廻之由…」	京極家江戸屋敷の作事
578	大日本近世史料 細川家史料二十七 細川忠利文書二十	6033	27	250	(寛永十八年)二月六日	二月六日曾我古祐宛書状	(細川忠利)	曾我丹波守様(古祐)人々御中	「一、二ノ丸御作事御座候而、御殿之手伝酒井河内(忠清)殿…被仰付由、御堀を埋候所、又石垣之御普請ハ堀田加賀(正盛)殿…被仰付候…」	江戸城二ノ丸作事・普請
579	大日本近世史料 細川家史料二十七 細川忠利文書二十	6053	27	271	(寛永十八年)二月廿八日	二月廿八日酒井忠勝宛書状	(細川忠利)	酒井讃岐守様(忠勝)貴報	「…今度之火事ニ付、御二ノ丸御作事も少相のひ候由…」	江戸城二ノ丸作事の延期
580	大日本近世史料 細川家史料二十七 細川忠利文書二十	6078	27	301	(寛永十一年)八月十五日	八月十五日土井利勝外四名宛請書	(細川忠利)	土井大炊頭殿(利勝)・酒井讃岐殿(忠勝)・堀田加賀守殿(正盛)・松平伊豆守殿(信綱)・阿部豊後守殿(忠秋)御報	「熊本普請之儀付而、御奉書拝見仕候…」	熊本城普請
581	大日本近世史料 細川家史料二十七 細川忠利文書二十	6081	27	304	(寛永十一年)十一月晦日	十一月晦日土井利勝外三名宛請書	(細川忠利)	土井大炊頭殿(利勝)・松平伊豆守殿(信綱)・安〔阿〕部豊後守殿(忠秋)・堀田加賀守殿(正盛)御報	「…来々年江戸御普請可被仰付旨、奉得御意候、私など石垣御普請たるへく候間、江戸・伊豆両所之石場者割符にて可有御座由…」	江戸城普請
582	大日本近世史料 細川家史料二十七 細川忠利文書二十	6082	27	305	(寛永十一年)十二月廿四日	十二月廿四日柳生宗矩并加々爪忠澄并堀直之并佐久間実勝宛請書	(細川忠利)	柳生但馬守殿(宗矩)・加々爪民部少輔殿(忠澄)・堀式部少輔殿(直之)・佐久間将監殿(実勝)御報	「…来々年御普請ニ付、下奉行進上可仕由、御用可有御座哉と、はや進上仕候、定而参着可仕候…」	江戸城普請
583	大日本近世史料 細川家史料二十七 細川忠利文書二十	6092	27	315	(寛永十三年)正月八日	正月八日土井利勝外三名宛請書	(細川忠利)	土井大炊頭殿(利勝)・酒井讃岐殿(忠勝)・松平伊豆守殿(信綱)・阿部豊後守殿(忠秋)御報	「今日御普請初被仰付候处、天气能、御機嫌之通目出奉存候…」	江戸城普請
584	大日本近世史料 細川家史料二十七 細川忠利文書二十	6093	27	315	(寛永十三年)正月廿一日	正月廿一日土井利勝外三名宛請書	(細川忠利)	土井大炊頭殿(利勝)・酒井讃岐殿(忠勝)・松平伊豆守殿(信綱)・阿部豊後守殿(忠秋)御報	「拙者丁場、夜前石垣崩申儀、達御耳候处、従前廉地心惡通被聞召候条、氣遣ニ不奉存、天气晴次第築直可申旨…」	江戸城普請
585	大日本近世史料 細川家史料二十七 細川忠利文書二十	6098	27	320	(寛永十四年)閏三月十七日	閏三月十八日土井利勝外三名宛請書	(細川忠利)	土井大炊頭殿(利勝)・酒井讃岐殿(忠勝)・松平伊豆守殿(信綱)・堀田加賀守殿(正盛)御報	「…御本丸御普請ニ付而、階石五百進上仕候处…」	江戸城普請
586	大日本近世史料 細川家史料二十七 細川忠利文書二十	6134	27	349	(寛永十七年)七月十二日	七月十二日松平信綱外二名宛請書	(細川忠利)	松平伊豆守殿(信綱)・安部対馬守殿(重次)・阿部豊後守殿(忠秋)御報	「…従熊本之城川尻迄之船通、坪井川砂常々取申儀ニ付而、絵図并以覚書申上候处ニ…」	熊本城下川普請